（日刊）　（第三種郵便物認可）

滿洲日報

夕刊

九月二十五日

發行所　大連市東公園町三十一番地　株式會社滿洲日報社

アメリカ、日支兩國に軍事行動中止を要望

條約には觸れず抽象的

【ワシントン廿四日發】スチムソン長官は二十四日日支兩國の軍事行動の速かなる中止を要望する通牒を作成しこれを日支兩國駐在米大公使に電送し兩國政府にそれぞれ傳達するやう命令し別にその寫しを駐米日本大使及支那代理公使に送達した、その正文は日支共同文のもので豫想された不戰條約及九ヶ國條約なる語は一も含まれて居らず抽象的なものである

米政府通牒の內容

【ワシントン二十四日發】日支兩國へのアメリカ政府の通牒內容左の如し

アメリカ政府及び人民は滿洲において過去數日間に發生せる諸事件につき如何の狀を重大なる關心を以つて注視し來れり、右事件は數個の關係條約存在しアメリカ自身その若干個に加盟し居る事につき日支兩政府において**注意を喚起せられん事を希望す、**これ等諸條約は紛爭を干戈に據る事なく妥當に處置する目的を以つて作られたるものなるを以つてアメリカの希望を述べ**兩國がその軍隊をして一層大なる軍事行動に出づる事なからしめ且つその武力をして國際法規及び國際協定を滿足せしめ又穩和手段によつて達成し得べき紛爭處理を困難ならしむる惧れある如き行動を執る事なからしむるやう適宜の處置を執られん事を期待する**旨表明するはアメリカ政府として是認せらるべきものと思ふ

聯盟の調査に不參加

ス長官、出淵大使に言明

【東京特電二十五日發】國際聯盟理事會は滿洲事變の調査のため**在支米國武官を調査委員としたいとの提議**につき出淵大使は二十三日午後スチムソン氏と會見の際米國政府の意向を質した處スチムソン氏は國際聯盟より非公式相談を受けたが**自分は滿洲における日支間の實情を熟知し居るから斯かる提議は不適當と信ずる**と述べたので出淵大使は更に今回の事件は全く事變にして**第三國の干涉には絕對反對する**旨を敷衍した處スチムソン氏も之を諒とした

經過說明

【ワシントン二十四日發】出淵駐米大使は二十四日重ねて米國務長官スチムソン氏を訪ひ滿洲事件の經過を說明した

日本軍の行動に關し種々虛說が傳へられてゐるが日本軍は決して長春以北に進みたることなく滿洲の秩序回復と共に近く原駐地へ歸還するはずである、なほ滿洲の事態はその後に程緩和したと信ずる

第十六聯隊吉林へ

步兵第十六聯隊は二十五日午前八時三十五分列車で吉林警備のため長春を出發した【長春電話】

聯盟理事會への回答

わが軍の行動は自衞の程度　出動部隊概れ附屬地に復歸

＝けふ外務省公表＝

【東京特電廿五日發】外務省公表九月二十三日東京に到着せる國際聯盟理事會議長より通告に對する回答として帝國政府は九月二十四日在ジュネーヴ帝國全權を經て左の通り理事會議長に申し送りたり

一、理事會議長通告の第一點に關しては事變發生當初より**わが軍隊はその行動を居留民の安全、鐵道の保護及び軍隊自體の安固に局限してをり、また政府としても終始事態の惡化擴大を防ぐ方針を堅く持しをる**とともに、日支兩國間における交涉により本件の平和的解決を一日も速かにせんことを專念しをり、今後もこの方針を變更する意思毫末もなし

二、なほ通告第二點は日本軍隊は現在[illegible]鐵道附屬地內に復歸しをり鐵道附屬地外としては警戒の必要上吉林並に奉天城內に多少の部隊及び數ケ地點に兵員を止めをるも右は何れも軍事占領にはあらず、即ち右は**在留邦人の安全及び鐵道保護の必要範圍內の最大限度にまで撤退しをるものにして**事態今後の改善に伴ひ更に能ふ限り鐵道附屬地に復歸せしむる方針なるを以て右日本政府の誠意ある回答を信頼ありたし

聯盟との關係上勸告

米國務長官が諒解を求む

【東京二十五日發】出淵大使より外務省への公電によればスチムソン米國務長官は二十三日午後出淵大使の來訪を求め只今ジュネーヴの聯盟理事會よりアメリカ政府も日支兩國に對し理事會と同樣の勸告をなされたいとの要請を受けた、**アメリカとしては斯る公式の行爲は差し控へたいが**聯盟との關係上且つ勸告は日支双方になされるもので**日本の面目を潰すといふ譯でもないから右勸告をなす事にするがアメリカの意のある處を誤解されぬやうされたい**勸告文は目下起草中だが理事會と同趣旨であつてアメリカは日本の立場を考慮し用語等にも愼重注意してゐる勸告文は二十四日中に手交するであらうと述べて出淵大使の諒解を求めたので出淵大使はこれを諒とし、進んで第三國の駐支武官を以て實地調査委員會を作るとの案には絕對反對であると述べて會見を終つた

わが聲明を聖上陛下に奏上

【東京二十五日發】滿洲事變に對する帝國政府の中外に發する聲明書は二十四日夜の閣議にて決定したるにつき政府は取敢ず侍從長を經て聖上陛下に奏上するところあつた

事變の實情を通牒

芳澤大使がけふ聯盟に

【ジュネーヴ廿四日發】芳澤大使は本日午後聯盟に通牒を送り誇大に傳へられてゐる滿洲事變につきその實情を明かにした

一、日本が青島、芝罘を占領したとの噂は事實無根

二、日本海兵の支那領土に上陸した事實なし

三、在留日本人の保護につき支那官憲に請ひつゝあるも萬一に備へ南京在留日本婦女子に對しては上海に引揚準備中

四、日本軍が無數の都市を占領したとあるは虛報で日本軍は長春以北に進出せず又滿鐵防備上必要とする吉林派兵も同地平靜に歸すれば長春に歸還し日本軍は全く滿鐵沿線に集中されてゐるその總兵員は一萬五千名にして條約の規定を些かも越ゆるものに非ず

五、奉天市政管理は一時的のものである、沿線都市は支那當局が日本軍司令官と圓滿な關係を保つて市政に當つてゐる

六、事態平靜に歸せば緊急措置を解除す、蓋し支那側の妨げなき限り速かに原狀に復せんことを期す

七、いづれにも軍政を布いたことなし

米長官覺書眞意

わが政府の解釋決定

【東京二十五日發】アメリカ國務長官スチムソン氏より出淵大使に手交した滿洲事變に關する書附（非公式覺書）に關して二十四日夜の臨時閣議にて幣原外相より報告あり意見交換の結果右書附の內容「今後事態を如何に導き如何に淸算するかは重に日本政府の責任なり」とあるは『**事態を淸算するは日本政府も責任あり**』といふのであり「兩國の實力行使の結果生じたる事態により特殊の目的達成に利用する意思なきことを希望す」とあるは日本政府としては自我野心のなきやう希望せるもので若し滿洲問題解決をこの點に含めたものとすれば滿蒙問題は條約上又は他の正當なる權利義務の間に起つたのでこの點につき特にスチムソン氏が意見を挿むべきはずはないが滿蒙問題の解決を本事件に依つて行はんとすることに一旦反對せる如く誤解される虞あり該問題の眞意は帝國政府の自我的野心即ち領土的野心についてスチムソン氏が意見を發表したものと解するに意見一致した

連日臨時閣議

【東京二十五日發】政府は滿洲事變に關する國際聯盟の動き並にこれが善後策が漸次重大となつて來たので二十五日の定例閣議に引續き二十六日以後も每日閣議を續開しこの重大時局に處する萬全の策を講ずることゝなつた

地方問題として交涉

張學良氏側近要人の意見

【北平二十四日發】張學良氏の側近者は左の如く語つた

學良氏は滿洲事件を飽まで奉天政府の地方的問題として北平で解決せんとの意志を有し既に顧維鈞、湯爾和、曹汝霖氏等の東北外交委員會委員にその準備を內命した、しかし一方昨日萬福麟氏を南京に派し蔣介石氏に學良氏の意志を傳へ出來れば王正廷氏の來平を請ふたが蔣介石氏はこれを婉曲に謝絕した模樣で萬福麟氏は蔣氏の隔意なき意見を聽取して今廿日午後三時よりこれを中心に重要會議が開かれてゐる

香港英官憲警戒

【香港廿四日發】支那暴民三百名の日本商人襲擊事件は總領事館より英官憲の取締を要求した結果目下は表面平靜を保つてゐるが、何時暴動再發するやも知れぬので當分日本小學校、休校するに決定した

立、監兩院會議

決議十四項を可決

【上海特電二十五日發】立法、監察兩院は二十四日連席會議を開き

一、南京、廣東兩當局協議の上、上海に緊急救國會議を開く事

一、事變關係の外交官懲罰

一、黨務に關する紛糾解決

一、政治會議を取消し中央執行委員會が政權を行使する事

其他蔣介石氏政府牽制の決議等十四項を通過したが廣東との妥協は漸く現實の道程に上つて來た

重慶沙市兩地形勢惡化

【上海廿五日發】某所着電によれば重慶の形勢惡化し在留民は軍艦比良に避難した沙市でも軍艦堅田に避難準備中我當局では兩地の形勢緩和せずば居留民は漢口に引揚げしめ同地で保護する方針に決定した

上海各團體の反日ぶり

【上海特電廿五日發】滿洲事變の逆宣傳に呼應して地方各團體の對日宣戰布告を主張した向ふ見ずの宣言通電が續々發表されてゐるが當地抗日救國會は二十四日の會議で經濟絕交徹底につき協議し市黨部も日本軍驅逐請願、全黨員義勇軍參加、現地交涉反對等三十餘案を決議し、全國商會聯合會も所屬團體の對日絕交を決議し又大學救國會、中等學校學生救國會も滿洲動員に男女學生は鐵砲と繃帶を持つて參加を決定、國貨維持會其他各同業組合も宣言通電を發表新聞を賑はしてゐる、尙海軍部上海兵工廠も日本品買ひ入れ停止を發表した

守備第六大隊鄭家屯へ

長春にありし獨立守備隊第六大隊は洮南方面危機迫るの報頻りに到り二十五日午前二時四平街に到着直に四洮線に乘りかへ鄭家屯へ向つた【四平街電話】

森司令官はけふ四平街へ

獨立守備隊司令官森中將は幕僚とともに二十五日午前八時三十分發急行で四平街へ向つた【長春電話】

滿鐵現業員を四洮線に派遣

長春にて命を待ちつゝあつた滿鐵々道部現業員中三名は二十五日四洮線派遣を命ぜられ午前八時三十分發急行列車で任地に向つた【長春電話】

遼寧省政府を錦州臨時設置する

張學良氏から命令

【北平二十五日發】張學良氏は二十四日附を以て東北邊防軍司令長官公署及び遼寧省政府を臨時錦州に設置すべく命令を發した

日本の爆彈で米人慘死

支那側捏造宣傳

【サンフランシスコ廿三日發】ベルリン着電として當地へ達した報道に、日本軍が投じた爆彈でアメリカ人三名が奉天で慘死したとありアメリカ各地の新聞にれいれいしく報道してゐる、右は米人の對日感情を惡化せしむるためになした支那側の宣傳と觀らる

事變調査の米國武官歸津

日支衝突事件調査の爲め去る二十日入港の貴州丸にて天津より來連した米國武官ウエセルズ、コルビー兩大尉は二十一日出帆の天潮丸にて安東に赴き同地の日支衝突狀況觀察の上再び二十五日午前五時入港の天潮丸にて大連へ戾つたが兩大尉は直に大房身に赴き我が軍の兵舍を視察した、二十六日午後四時出帆の天潮丸にて歸津の筈である

人事

▲棟居俊一氏（拓務省殖產局事務官）二十五日午前八時入港のばいかる丸にて來連

▲日下辰太氏（關東廳殖產課長）同上歸連

▲龜本莊一氏（三井物產大連支店員）家族同伴來連

▲石光眞臣氏（豫備陸軍中將）吉井淸春氏同伴同上來連ヤマトホテル宿泊

▲今井裕氏（大連醫院病理科長）同上歸連

▲ボナビタ中佐（佛國北平公使館附武官）二十五日午前十一時半入港の盛京丸にて天津より歸連

▲ワエスチ航空少佐（佛國公使館附武官）同上

▲金丸富八郎氏（奉天信託專務）新任挨拶のため二十五日市內關係方面歷訪

▲柳生龜吉氏（東亞土木專務）同上

蔣の外交失敗が滿洲事變の主因

廣東、孫科氏の聲明

【廣東廿四日發】廣東政府孫科氏は滿洲事件につき左の聲明を發表した

和平は吾人の最も望むところだが蔣介石の下野が絕對的條件だ滿洲事件は列强の支那侵略政策に因るものだが**蔣介石の外交失敗が主因**である蔣介石は表面日本に好意を示しながら一方記念週では日本打倒を數回に亘つて叫び往年軍隊編遣に際しても「余が十箇師の兵を持てば日本を擊つに充分だ」など、閻錫山、馮玉祥及我等に廣告したことあり、一國の元首として正氣の沙汰とは思はれぬことを平氣で廣言してゐる、日本擊つべしといふ思想や言動はとうの昔日本に見ぬかれてゐる**蔣介石が國政に參與する間日支の融和出來ぬことは斷言出來る、滿洲における張學良の排日政策も實は蔣介石の煽動指揮に因る**ものである、蔣介石に盲從した張學良にも罪がある支那を危機に導いた元凶は蔣介石その人だ、故に我等は**蔣介石を除外した擧國一致政府を造つて滿洲事件の後始末をなし國を救はねばならぬ**

支那各學校開校要請

全遼寧省教育廳長は支那の各學校の急速なる開校を認し且つ金融狀態等と詐りねが市政籌辦に要請するところあつたが教科書その他の教材中に多數の排日的資料あり右根本方策確立するまで回答を保留する模樣である【奉天電話】

寫眞說明

（1）廿四日滿鐵線路爆破現場視察の外人記者團（2）同上日本記者團（3）爆破されたレールの破片（4）爆破犯人死體處置に關する軍司令官の告示

洮南居留民の危急迫り 刻々惡化し死の覺悟

賊團は滿鐵公所附近を包圍中 四平街に救援電話

洮南支那側有力者は日本軍の入城を滿鐵公所に對し懇請したが、滿鐵洮南公所は目下支那側の暴擧に對し自衞的態度を持するため準備中である、河野洮南公所長は電話を以て四平街憲兵分隊長に對し洮南居留民の危急をつげ左の如く悲壯な決意を示した

今や賊團は公所附近を取り圍み形勢刻々惡化し公所に集合せる邦人は何れも死を覺悟してゐる【四平街電話】

屯墾軍の兵變

洮南では興安屯墾軍に兵變起り在留邦人の危險が迫つて居る【四平街電話】寫眞は洮南滿鐵公所

羽山支隊洮南を占領

今曉二時鄭家屯を出發した羽山支隊は午前九時四十分洮南を占領した（四平街電通）

東支西部線の邦人は敗殘兵を極力警戒

札免公司の婦人六名死を決し殘留

【ハルビン特電廿五日發】滿洲里ハイラル方面の邦人は今の處は安全なるも屯墾軍が潰走せば何時如何なる敗兵の掠奪あるやさへ不明に戰々兢々としてゐる、札免公司には婦人一團六名の邦人が今尙時局を外にしてそのまゝ住み着し暴民のため慘殺されるもこれが運命だと悲壯の覺悟をなし殘留せる有樣で西部戰線異狀なしとはいはれぬ狀態にあり、チチハル在留邦人は支那官憲と連絡をとり萬一の場合に對する善後策を樹てゝ居るも危險は洮南方面における敗殘兵の處置を如何にするかにある

馬賊に怯えて地方民避難

長春附屬地に入込む

長春を中心として附近一帶は仲秋一節を迎へる準備のため馬賊の大襲擊が豫想され人心恟々として豪農その他地方支那人で附屬地内に引上げるものは少くなかつたが日支衝突のため軍憲の移動及び警戒が嚴重を極めたため流石の馬賊も附屬地及び鐵道沿線附近から伊通縣その他の遠隔の地方に逃走姿を消した、しかし收入のなかつた彼等

暹羅兩陛下明日御來朝

【東京二十五日發】暹羅皇帝、皇后兩陛下には米國よりの御歸途二十六日朝横濱入港のエムカナダ號で再び御來朝同夜箱根宮ノ下富士屋ホテルに御一泊二十七日名古屋日暹寺に御參拜の上御歸途御覽次いで京都の秋色を愛でさせられ二十八日夕刻神戸發のカナダ號で御歸國の途に就かれる御豫定である

內地の輿論は益々强硬だ

對支國民同志會の石光中將けさ來連

對支外交强硬論者として對支國民同志會をつくり各地に遊說中の豫備陸軍中將石光眞臣男は吉井清春氏を同伴二十五日午前十一時入港のばいかる丸にて來連したが船內に訪へば語る

總理大臣に會ふため一船遲れて了つた、最初のプランはハルビン間島まで行くつもりだが、時局が突然變化したから豫定通り巡ろかどうか分らない、內地における對支外交輿論は衝突前から頗る强硬であつたが、僕等の同志會も他の同志團體と聯合會を造つて西に東に說いて廻つた一般言論機關も擧げて目下强硬論を說いてゐるが十八日に大阪で對支外交座談會を催した時には今まで該問題に比較的無關心な態度をとつてゐた大朝まで出席し盛んに强硬論を主張し朝日の紙面も最近は俄然强硬論に傾いたらう、僕等の主張はこの時局に際して變ることなく今後も益々論旨を强調する筈で衝突の現場を詳細調査して歸るつもりだ、大連には二日滯在の豫定で關東長官、滿鐵總裁を訪問する

六時三十六分着列車で避難して來たものは引續き八時三十分發列車で更に南下したが大部分は大連經由內地に向ふもの、如くである【長春電話】

撫順の鮮農鏖殺計畫

守備隊急行

撫順炭礦搭連のすぐ近く小甲邦部落から遙か張家旬子部落一帶の支那部落民が今回の日支衝突事件の報復手段として槍その他兇器を準備大集團を組織各所に潜伏せる一方逃亡兵と氣脈を通 撫順縣下各所に散在する鮮農鏖殺計畫を巧なる方法を以て進めつゝありとの情報達し撫順守備隊では廿四日午後零時三十分中島曹長は兵三十名を引率現場に急行したがその成行は頗る注目されてゐる【撫順電話】

は極度に手元不如意のため高粱刈入、後いはゆる市內潛入後の活動が思ひやられる、從つてこの冬など日支人の最も警戒を要することだらうと豫想されてゐる【長春電話】

敗兵討伐懇請

武裝の儘逃走した吉林兵の一部は吉長線の九站驛の下流に現はれ掠奪や婦人への暴行等を恣にしてゐるため二十四日當地方住民よりこれら逃亡兵士の討伐方をわが軍に懇請して來た【長春電話】

新臺子に鮮人多數避難

新臺子附近には朝鮮人が相當避難して居る模樣である【奉天電話】

事變の調査に佛國武官來連

日支衝突事件を調査すべき要件を帶びて佛國公使館附武官ボナリタ中佐、フエスチ航空少佐の兩氏は廿五日午前十一時入港の盛京丸にて天津より來連したがボナリタ中佐は船中にて語る

調査の職務を以て來ましたので御訊れの日支衝突について何等意見を發表出來ないのは遺憾です私共兩名とも昨年十月赴任した許りで支那事情は詳しく知りません今晚九時半發列車で奉天へ行き關東軍司令官に會つた上行動を決定しますが今のところ何處まで行くか判りません、旅順も都合によつては見物してみやうと思ひます

哈市避難者續々南下

けさ長春通過

廿四日二回に亙つてハルビンより避難して來たもの及び廿五日午前

安東から支那人避難し來る

日支衝突事件のため鮮人の襲擊を怖れた安東在住の支那人百二十五名は二十五日午前五時入港の天潮丸にて大連へ避難して來た、一行は婦女子が大部分で便船で天津へ歸るものであるが、稅關吏三家族

陣中の閑日月

コスモス咲く裏庭で日燒した頭に剃刀

朗らかに明けた吉林の朝

【吉林特電廿四日發】二十三日朝吉林を大丈夫と見て長春に引返した記者（五百旗頭特派員）は形勢惡化せりとの本社の電命で休む暇もなく、そのまゝ午後二時長春發列車で再び吉林の地を踏んだ、幸か不幸か遂に砲聲を聞くこともなく、外面的な平穩さのうちに其日は暮れた、無氣味な緊張味は街一杯に溢れてゐた、本社への通信を終へて午前一時に寢に就いたのは三時であつた、犬の遠吠えの聲にねむり取ることの出來た安眠であつた、午前七時に起床十八日以來甫めて同夜の兵士も漸く常の氣持に返つたかコスモスの咲き亂れた裏には戰友互に援け合つて日燒けした髭に洋剃刀を當て合つてゐる、松花江から吹き來る風と溫かな秋の太陽が兵士の身體一杯に降りそゝいでゐる、何處から來たのか一、二人の支那人散髮屋がやつて來た、支關權の部屋で二十名餘りの兵士達がその支那人に理髮をさせた、チヤリ〳〵と支那人のの手がスラ〳〵と運ぶ、思はぬ儲けに床屋の顏も晴れやかだ、事件突發以來不眠不休の活動を續けてゐた、宿舍の主人濱田滿鐵公所長も「昨夜やつと甫めて靜かに五時間餘り眠れた」と朗かに語り乍ら洗面所にやつて來た「ホツト一息」それが二十四日朝の吉林での或風景であつたが、しかし武裝解除は完全には終了してゐない、前途の樂觀は未だ許されたものではなく、無氣味な殺氣未だ去りやらぬ在留邦人は軍隊の駐屯を心から熱望してゐる【廿四日吉林滿鐵公所長宅にて】

天津平穩

巡警は自發的武裝解除

二十五日午前十一時、天津より入港の盛京丸にて來連した在天津內外化學肥料公司員中條浩造氏の談によれば目下天津は至つて平穩で在留邦人は頗る落ちついてゐる、寧ろ支那側で事件勃發をおそれて廿三日日本租界に接した處にある支那巡警に對して公安局より全部銃器彈藥を取り上げ自發的に武裝解除をなして彼等の輕擧を戒めて居る有樣である

始め大部分は瘉人家族である

大連中等學校聯合體育會

廿六、七兩日に擧行

廿三、四兩日大連及び旅順にて擧行する筈であつた關東廳州內中等學校體育大會は時局のため中止したが大連市內にある大連一中、大連二中、大連商業、大連商工の四校では廿六日午前九時より大連運動場（陸上競技、蹴球、排球、籠球）及び二中（庭球）で二十七日午前九時より一中道場（武道）で聯合體育大會を擧行することゝなつた

けふ招魂祭

忠靈塔前で執行

大連中央公園內忠靈塔の秋季招魂祭は廿五日午前十時三十分より執行された、境內には紅白の長旗五色の吹流しなど空高くへんぽんと飜へり祭壇には辛島民政署長、永井市長代理、在鄕軍人分會、傷兵會寄贈の幟、その他供物が供へられ式は修祓より始まり水野齋主の祝詞に次いで永井祭典委員長、辛島民政署長、山西滿鐵總裁代理、遺族總代、その他の玉串奉獻あり、田中前大連市長、村井商工會議所會頭、各中等小學校生徒、警察、消防、在鄕軍人等多數の參拜もあつて非常に賑はつた【寫眞は式場】

馬賊克戎拿捕

營口、田庄臺を襲擊した馬賊は牛頭の支那媽媽四五名を拉致して逃走したが、遼河の上流河口子に於ては七十名の馬賊戎克四十隻を拿捕し戎克の航行の咽喉をやくして居る【營口電話】

きを得難く從來からの給與又は安價のため何れも義眉を開いたが、大西門外の放張作業の遺れる三番櫓はこれ等の膏血を絞つて多年築き上げたるものなれば同所の貯藏米を解放施與すべしと執拗き當局に强要しつゝある【奉天電話】

巨流河驛襲擊

北寧線巨流河驛附近を廿四日朝五十名の敗殘兵が驛を襲擊し旅客の金品を强奪した旅客の大半は奉天に引返した【奉天電話】

慰安車を改造し中間驛巡廻

滿鐵の秋季慰安車は時局の爲め十八日以來公、休息停めてあつたが中間驛の物資不圓滑で從業員家族が不便を忍んでゐるのに鑑みて慰安車を改造し活動寫眞其他の娛樂機關を一切中止し白米罐詰其他の必需品、積込み物資配給車として先づ奉天以南から始めて各中間驛を巡廻させることゝなりこれが爲め消費組合から木村理事が二十五日急行した

沙河口工場で慰問袋を發送

沙河口鐵道工場內在鄕軍人團、社員會、靑年聯盟、修養團、かすみ會外各種團體は慰問袋蒐集に奔走せる結果豫期以上の成績を擧げて二十四日午後十時混保貨物として二十四個を整へ各團體代表者十餘名これに携行して奉天に向け出發した

天津まで遡航

大連汽船會社の天潮丸は從來天津行の場合も白河の航行不便のため塘沽まで航行するのみであつたが天津總領事の希望を容れ、來る十月二日、同六日の二航海から時局がら危險ではあるが、試驗的に天津まで遡航することになつた

●●●●日吉の値下斷行 市內浪速町日吉商店では創業二十六年來の大値下を斷行し去る二十日から三十日まで靴鞄の賣出中であるが思ひ切つた値下で賣行頗る良好であると

●●●●甘栗の一粒撰 甘栗太郎本支店では今年の一粒撰新栗を例年の通り賣出を開始し同時に內地方面への小包送りも引受けてゐるが土産には好適品として好評を博してゐる

不逞鮮人投獄

撫順の檢擧

わが軍が吉林占領以來在吉不逞鮮人の根本的撲滅を期するため檢擧を續けてゐたことは既報の如くであるが二十四日までに約二十五名を逮捕支那監獄に投獄した、但し頭目と稱せられる連中はいち早く逃走した模樣である【長春電話】

破獄强盜射殺

二十五日午前六時奉天監獄在監中の强盜犯人二十六名破獄し護衞巡警の携帶せる銃二挺と彈藥四十發を奪取逃走した、わが警備隊は直に追跡九名を射殺し殘餘は目下搜査中【奉天電話】

糧棧解放强要

奉天省城內外の貧民は市政公署並に總商會等の民間團體の處置宜し

二十六日 南西の風（晴）一時曇

各地溫度

	廿五日午前十一時	廿四日最高
大連	二五、五	二三、九
旅順	二五、三	二六、二
營口	二六、〇	二五、五
奉天	二九、〇	二五、四
長春	一八、二	二六、二

滿潮 午前十一時三十分 午後十一時

干潮 午前三時五十五分 午後四時三十分

けふの小洋相場（正午） 金百圓は一三八圓一五錢

滿日婦人團員へ

慰問袋街頭募集今夜限り奮つてお參加下さい

舊市內は午後七時本社參集

沙河口は同七時市場前參集

暗流阿修羅館 (195)

生田蝶介
挿書 藤井耕達

水路（七）

「それはめづらしい」
奉行はつくづく新左衛門の顔を見て
「實は私も久方ぶりに行つた」
「話には聞いて居りましたが、あれほどまでによいところとは思ひませんでした」
「氣に入りましたか」
新左衛門は一寸眩げにして、笑つて
「あれなれば、また行つて見たくなります」
「さうであらう、誰も同じぢや、どうですな、これから一緒に數寄屋橋まで來ませんか」
「別にこれといふ用事もありませんから、御奉行さへ何でしたら、お邪魔いたしませう。この頃は、しかし、いろいろの事件で御多忙と聞きましたが」
舟は並びながら兩國橋をくゞつた。すぐ左手に見えるのが一ツ目の水口、その彼方が御舟藏の長屋根。
「何、澤山あるやうに見えてゐるが、根は一つ、或は、二つ」
奉行は云ひながら、また、新左衛門の瞳を見た。
「それでは、大方、目當はついて居りますでせうか」
「ついて居りますか」
「まづ、あらかた」
新左衛門、熱心にきいて
「それはお目出度い」
と云つた。
「多忙と云へば何時も多忙、ひまと云へば、何時もひまな役でござる。かういふ偶然の機會でもなければ貴殿にお目にかゝるなどいふことも滅多にはない、一緒に參りませう、お疲れでござらうが」
と一寸笑つて
「お茶をいれさせませうから、話しておいで下さい」
二つの舟の船頭同志は、舟を並べて漕ぎながら、この二人の話をきいてゐた。きいてゐながら、一人が南町奉行であり、若い方の一人がそれに匹敵する程の侍であることを知つた。そして、顔を見合せた。
と、同時に
（どうも）
と思つた。
（見れば見るほど）
と思つた。
（確にこれが、とかここがとか云つて掴めてゐるのではないが（どうも、三河大盡のやうな氣がする）
と、三吉は幾度も、漕ぎながら頭をひねつた。
（これが三河大盡とすると、先刻の新町橋の方へ逃げて行つた怪しい猪牙の覆面の人は？）
三河大盡ではなかつたのであらうか、勿論、あれとこれとは着物も何もかもすつかり變つてゐる。變裝が巧で、同じ風をしてゐる時は一度も無い、と云はれてゐる三河大盡。或は、一人の人でなく三河大盡の名のもとに出沒してゐる數人の人が、三河大盡の名のもとに出沒してゐるのであるかも知れぬ。
わけても單純な船頭の頭では、そのやうなことはわかりつこなかつた。
二人の船頭は、新左衛門の顔を、うしろから見ては、瞳を見合せた。
舟は一度、川口に出て、外波にゆられてから、稻荷橋の方へ入つた。
稻荷橋から、中の橋。京橋の橋たもとで舟を捨てゝ、京橋の大街を歩いた。
この邊になると、さすがに、ほとんどが奉行の顔を知つてゐた。遭ふ人ごとに挨拶をしてすぎた。遠山は、笑顔で挨拶の代りにした。
四丁目へ折れやうとした時、背後から由比が走つて來た。

キネマと演藝

慰問義捐の映畫會 今夜から沙河口劇場で

沙河口劇場では二十五日より二十八日迄四日間午後六時より大連新聞沙河口支局及び滿洲日報西部大連支局後援で軍隊慰問義捐映畫會を擧行し收益の一部を軍隊慰問費として寄附することになつたが廿五、六日は日活、廿七八日は松竹映畫を上映する
日活現代映畫 岡田時彦、高木永二、酒井米子、梅村蓉子、夏川靜江共演、外日活現代劇部オールスターキャスト「日本橋」▲日活特作時代映畫 楠英二郎、辻峰子、櫻井京子主演「松平長七郎」▲松竹現代超特作映畫 鈴木傳明、田中絹代主演、外オールスターキャスト「若者よなぜ泣くか」▲松竹時代映畫 月形龍之助、千早晶子主演「劍道見世物師」▲松竹現代コメディー「美人暴力團」因に入場料は三十錢（滿日及大連新聞讀者は二十錢）割引券は各新聞販賣店より配達する

熱情こめて唄ふ照井氏が 帝國軍人へ贈る 「吾等日の本の民」

近代フランス歌謠歌者の第一人者照井詠三氏の義捐獨唱會は愈々明廿六日午後七時半より協和會館に開催されるが、當夜最後に唄ふ番外歌曲として時局に鑑み帝國軍人のために唄ふ石森延男氏作詩、村岡樂童氏作曲の「われら日の本の民」歌詞は左の如し

一、碧空に輝く　日輪のごと
光りあまねく　尊き歴史
われら日の本の民
正しくあれや
正しくあれや

二、四方に漂ふ　海原
濤に嵐に　育ちし島根
われら日の本の民
雄々しくあれや
雄々しくあれや

三、ともに手をとれ　同胞
いざやこぞれよ　同胞すべて
われら日の本の民
まもれよ皇國
まもれよ皇國

觀世會月次會

觀世會々員前田仲五郎氏今般歸國さるゝ事となつたので同氏送別を兼ね月次會を來る二十六日午後七時より薩摩町八三觀世會にて左記番組に依り開催すと
△素謠 鶴龜、熊坂、[illegible]丸、小督、天鼓、外獨吟、仕舞

本社特選 新棋戰（其二）

香落 四段 △坂口允彦
二段 ▲毛利勝喜

【圖は三二玉迄の局面】
▲毛利氏 持駒ナシ

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
v香	v桂		v金		v金	v銀	v桂	v香	一
	v飛		v銀			v玉	v角		二
		v歩	v歩	v歩	v歩		v歩	v歩	三
						v歩			四
v歩	v歩	歩							五
		銀	歩						六
歩	歩	角		歩	歩	歩	歩	歩	七
			飛						八
	桂		金	玉	金	銀	桂	香	九

△坂口氏 持駒ナシ

△四八玉 ▲五二金
△三八玉 ▲一四歩
△[illegible] ▲六四歩
△二[illegible]玉 ▲六五歩
△同銀 ▲九六歩
△同歩 ▲同香
△七六銀 ▲九七歩
△九九歩 ▲九二飛

【土居八段講評】△坂口君は敵の六四歩に對し普通は五八金左と締める所であるが、廣く變化を求める意味で二八玉と寄つたのは實戰に適した巧みな戰法である▲其時毛利君はグズ〳〵しては敵陣が整ひ機會を逸する惧れあるを以て六五歩と開戰したのは至當の對策であるだが折角九二飛と利用を圖つても敵金が六九に居る中は效果ない　此處は五四歩、五八金左と上るを待つて九二飛と始めて寄れば威力が強い。

【萩原六段解説】坂口氏三八玉と自玉を安全な處に移し、然して毛利氏一四歩と端の位を取らんとせし時一六歩と受けたのは、此處迄は普通で別に大いしたことのない處である。毛利氏の六四歩も敵が七六銀の構へ故、九筋を攻めても即ち九六歩、同歩、同香、九七歩、同香成、同桂、九六歩、八五桂の順や又、八五桂で九八飛と廻られても七六銀の働きがあつて不利であるから、六筋より牽制して、然して端を攻める意味に六四歩も當然の指手である。坂口氏の七六銀は餘り穩かである此處は九四歩と打ち下手八四飛、そこで七六銀と引いて下手九七歩、上手七四歩と指して六五歩突の變化を求めてもよい處である。

寛壽郎と澄子の握手

新興帝キネとタイアップ成るや洛西双ヶ丘に一黨を引具して木の香も芳しい「嵐寛壽郎プロダクション」の看板を掲げた寛壽郎が新生第一回の大作として着手した「戸並長八郎」の相手役には太秦からエロ姐御鈴木澄子がピックアップされた、寫眞は二人の固い固い握手

滿鐵商事部に於る職制改正と人事異動
一兩日中に正式發表

滿鐵商事部の不況對應策としての販賣機關の充實確立のため一部職制の改正並にこれに伴ふ本社、現場機關を通じての人事異動は時局のため發表が非常に遲延したが愈々一兩日中に正式に社報を以て小川前次長の後任として撫順炭販賣會社專務谷川善次郎氏、新設の地賣課の課長として前三井物產本店無煙炭係主任田上智川氏及主任級販賣事務所長等の數名の異動が發表される筈で、この陣容一新を待つて目前の本年度賣需期に活躍を期することゝなつたが、田上氏は去る廿二日ほんこん丸にて既に着連し取敢ず商事部附として庶務課に出勤してゐる

東西株市場立會を休止

【東京廿五日發】東株では廿三日立會開始に於て諸株暴落した爲め取引員客筋の決濟困難となり此の儘繼續は不可能となつたので協議の結果廿五日立會は臨時休會に決した

此の際假令早受渡した要するものありとしても一般諸株の休會中に立會を行ふ事は不穩當なりとの意見生じ協議の結果立會は續休となつた

【大阪廿五日發】大株は協議の結果長短期とも本日は休會と決定した、當市場は何等懸念すべきものはない樣であるが他市場が休んでゐる際當市場のみ立會へば環境が面白くないので賣物嵩み徒らに値を崩れさせる懼れあり遂に休會と決定したものである

【東京廿五日發】東株市場早受渡しを行ふべき長期四十餘種銘柄の前場立會を開始の豫定であつたが

五品も前場立會中止

東株市場は應急對策として五百萬圓の借款交渉中であるが未だ纏まらないので二十五日は公債と繰上げ受渡を爲す株式のみ立會ひ其他は休會することに決定し大株市場もこれにつれて臨時休業したので五品市場も二十五日前場立會を中止した

對外輸出悲觀で綿糸は續落

二十五日大阪三品市場における綿糸市況は前場寄當限三圓二十錢安乃至三圓擴み安先物一、二圓安と就中大豆は十三錢乃至八錢方の暴落を呈し、豆粕も相伴れて軟調と入れ豆油は低落、高粱又十三錢乃至八錢方の暴落を遮り取引高に從つて多く大豆五百二十一車、豆粕一萬八千枚、豆油一萬五千五百箱、高粱九十五車の出來高で異常活氣を呈した、目先尚軟弱た豫されてゐる

事變以來の大豆相場
大體に平調

日支事變の突發以來出廻り懸念や英國の金本位制停止による買氣杜絶等で當地の大豆相場は暴騰、暴落と起伏離狀を呈したが、今事變勃發の十九日前後一週中における九月末日限大豆公定相場を金に換算すれば左の如くである、即ち事變突發の十九日迄は二圓六十錢前後であつたが二十日は二圓九十錢を突破し約三十錢方の大暴騰をみたわけであるが、二十日前後に狀態は金換算にすれば大體平調を示してゐる

大豆公定相場（單位銀錢）

十四日五、八三、十五日五、八五
十六日五、七二、十七日五、八六
十八日五、七六、十九日五、七四
二十日五、八七、廿一日五、七六
廿二日五、六九、廿三日休
廿四日五、六〇

銀現物相場

十四日	四五、一二
十五日	四四、六三
十六日	四四、六四
十七日	四四、六六
十八日	四四、二三
十九日	四五、二九
二十日	四九、六四
廿一日	五一、九一
廿二日	五〇、一二

大豆金換算相場

十四日二、六三、十五日二、六一
十六日二、五五、十七日二、六一
十八日二、五五、十九日二、六〇
二十日二、九一、廿一日二、九九
廿二日二、八五

中央卸賣市場の卸賣人辭退問題
委員をあげて更らに研究
成り行き注目さる

過般來大連市設中央卸賣市場の卸賣人組合が經營負擔に堪へぬので市場を解散し新たに賃貸借契約を結んで市場建物と敷地を使用したいと要請したるも、市當局より社會事業委員會の決議に基き拒絶されたのは既報の通りである、これに對し組合側では直に役員會を開き卸賣人を辭退することにより市場を

脱退する

こととし申合せ、二十二日總會を開いて諮つたところ、卸賣人辭退には大體異論なかつたが、元來支那人側は現市場敷地を利用せざれば商賣立ち行かぬ事情があるので、この市場利用に關する諒解を得ることを主張して話纏まらなかつた、そこで翌二十三日總會を再開したが前日と同樣に意見の一致をみるに至らず結局役員十名のほか日本人側、支那人側より各三名都合十六名の委員をあげて「卸賣人辭退後における市場敷地使用に關すること」に

研究を重

ねることゝなつた、而して右委員において具體案を得次第近く總會に諮る筈でその成行は注目されてゐる

三四日中に具體案を總會にかける

右について濱部組合長は語る

御承知の通り組合は金に詰つてゐるのに、今後も賣上げが益々減り毎期赤字を出すことが確實に見込まれるので我々は卸賣人をやめるほかないといふ結論に達したのです、そこで一昨々日總會で相談したところ、支部人側に代理出席が多くて纏めたのち市場敷地を利用出來るかどうかといふことにつき歸つて相談したいといふことでした、然し一昨日の總會でも右の點で纏まらず、結局十六名の委員をあげて研究して貰ふことになつたがいづれ三四日中に總會に具體案をかける運びになるでせう

なほ卸賣人をやめたるのち市當局が市營單一制を實施する場合、現卸賣人の卸賣人營業補償に對する態度につき質したところ左の如く語つた

我々がやめたのち市營單一制になつても補償して頂きたいといふやうなとは問題にしてゐません、やめる以上は斷念してゐます、尤もその場合、場外で卸行爲を行つてゐる我々の營業をも市が差止め得るかどうかといふやうなことは別問題だと思ひます

個人所得税は實情を調査して
關東廳税調委員會出席の爲
棟居拓務書記官來連語る

二十六日より開催される關東廳税制調査委員會に出席する拓務省殖產局第二課長棟居俊一氏は二十五日午前八時入港のばいかる丸にて來連したが船中にて語る

税制會議は二十六日から五日間開かれるさうですが、法制局の佐藤氏、大藏省から石渡國税課長が此の會議に

出席の

筈でしたが時局勃發の爲め兩氏とも間際になつて來られず内地からは私一人になりました、關東廳の税制について會議に臨んだ上色々話を聞かなければ何も判りませんが問題となる個人所得税は現在朝鮮のほかは臺灣、樺太、北海道全部施行してゐます、外國も税制は個人所得税が中心となり消費、交通兩税が兩脇になるやうになつてゐます、併し關東州については又此處の實情について考慮しなければならないでせう、鹽務會議は各植民地關係者が集つてやつたのでしたが非常に收穫がありました、植民地及び日本內地の鹽の需給調節を圖るといふのが目的ですが關東州鹽が

青島鹽

を除いては一番安いのですから將來これを工業鹽として利用の途を講ずべく研究致しました、現在日本の外國鹽輸入は年四億斤で其の內一億斤は青島鹽ですが青島は昭和十二年までは厄介な協定で縛られて居り今俄かに輸入中止するわけにいかず十二年後には關東州鹽を以て青島鹽に代へまた進んで外國鹽輸入を止め鹽の自給自足を圖るべく申合せました、これについては將來關東州鹽の工業用鹽としての品質改良に努め又運輸の方法も研究しなければならないでせう

大豆關税引揚已むを得ぬ
日下課長歸任談

鹽務會議及び關税調査委員幹事會に出席のため上京中であつた關東廳日下殖產課長も棟居拓務省事務官と同船ばいかる丸にて歸連したが船中に訪へば語る

關税會議では大豆、落花生、高粱等農產物の關税引上の問題がありましたがこの會議では結局あの問題については大連商議から引上げることに決議しました、引上げ阻止の陳情もあり滿洲側の反對も聞きましたが農村保護の爲めに副產業として內地において大豆、落花生等の栽培を奬勵する爲めに關税引上は必要だらうと云ふことになつたのです併しこの會議で定まつてもなほ税制整理委員會にもかけねばならず議會に於いても果して如何に決するか未だ判らず税率なんかもこの會議では定まつてゐません、鹽務會議については棟居さんの方が詳しいから訊いて下さい

棟居拓務事務官大連商議で招待

大連商工會議所では二十五日來連した棟居拓務省事務官を午前十一時半よりヤマトホテルの午餐會に招待し村井會頭を首め役員多數參會し税制整理に關する懇談會を催した

國際監査役に三輪環氏

國際運輸會社監査役西田猪之助氏は先般滿鐵監理部考査課長となつたので二十五日午前十時より國際本社に於て監査役更迭の臨時總會を開催し西田氏は辭任し後任監査役に監理部の三輪環氏が就任した

經濟絶交で工場閉鎖
職工排日に利用

【上海廿四日發】反日會の看板を塗り替へた抗日救國會は本日の會議で從業失業基金（大番物一梱につき七兩半、細番十兩）の徵收によつて輸入を許してゐた日本綿糸の輸入を絶對禁止するに決しその旨發令し失業基金制を廢止した、これがため日本綿糸が絶對的原料とする支那側メリヤス工場などは閉鎖の已むなきに至つたが、救國會は職工には賃銀を支拂はず食料のみを與へてこれを排日運動に使用すると命令し工場側でも已むなくこれに應じた

安東の錢莊開店

銀行の營業開始と同時に二十五日午前八時より支那街は錢莊を始め休業中の各商店は開店した、之は日本側の周到なる警備の結果今後の治安十分に保持されることを認めたことゝ東邊實業銀行を始め各銀行が營業を開始せることゝ及び仲秋節の決濟のためと觀らる【安東電話】

特產各品一齊下落
目先尚軟弱

日支交戰以來北滿貨物の出廻りが懸念され當地市場における特產物の相場は一時的に奔騰したが時日の經過と共にその懸念も薄らぎ漸次軟化の一途を辿つてゐるが、殊に英國の金本位制停止の報を入れて各方面とも買氣の杜絶を招來し一層惡化せしむるに至り殊に二十五日前場の市場では差當り時局の支障もなく出廻りも順調となり加ふるに買氣消失と相俟つて銀安も無關心、各品とも一齊に下落した

移植民奬勵に拓務省力瘤
日本青年會館に於て來月下旬講習會を

拓務省に於ては既定方針により、いよいよ移植民の奬勵に力を注ぎ南米行移民に對する渡航奬勵金の交付を始めとして各地方における移植民奬勵の講演會或は各種印刷物の配付等間接直接に之が奬勵の實際化に努めてゐる、海外渡航者の數も最近に於ては漸次增加の傾向にあるが、一層此の

氣運を

促進せしむる必要上、十月廿六日より卅一日迄、東京明治神宮外苑の日本青年館に於て、大々的の移植民講習會を開催する事となつた。其聽講者は道府縣移植民事務關係職員、職業紹介事務局、職業紹介所職員、市町村吏員、移住組合、海外協會及び實業學校（農學校、商業學校、工業學校、實業補習學校、小學校等）の職員にして、講習日割及び講師は左記の通り決定した

▲第一日（二十六日）「挨拶」若槻拓務大臣「移植民政に就て」拓務省拓務局長郡山智氏「列強の海外發展」東京日日副社長岡實氏「我國に於ける海外移民の沿革」海外興業社長井上雅二氏「南米事情」大使館一等書記官野田良治氏

▲第二日（二十七日）「我國に於ける人口問題」東京朝日副社長法學博士下村宏氏「國內移住問題」農學博士那須皓氏「最近ブラジル移民の實生活」總領事中島清一郎氏「南洋事情」拓務技師仁瓶平二氏、活動寫眞ブラジル事情映寫

▲第三日（二十八日）「渡航奬勵事務一般」拓務局第一課長杉田芳郎氏「旅券事務一般」外務省通商局坂本龍起氏「海外拓殖事業奬勵事務一般」拓務局第三課長一番ケ瀨佳雄氏、協議會

▲第四日（二十九日）横濱埠頭集合、南米航路船リオデジヤネイロ丸乘船、神戸に向ひ出帆「移民輸送に關する一般狀況」大阪商船東京支店長美濃部（？）郎氏、移植民に關する映畫會

▲第五日（三十日）神戸着直ちに移民收容所見學「移民收容と海外移住者の保健問題」移民收容所長岡田良一氏

▲第六日（三十一日）移民船リオデジヤネイロ丸の出帆を見送り散會

デンマーク金輸出禁止

【東京二十五日發】外務省入電によればデンマークは金輸出を禁止した

明日仲秋節で各市場休會

明二十六日は仲秋節につき特產錢鈔商品各市場は一齊休會する尚支那側各銀行も休業する

物價評
呉服類

今秋の呉服類は一般に昨秋に比し一割以上の安値であるが、これは原糸の低落並に需給關係によるものですなはち縮緬類は昨秋に比し、一割丸帶地は二割、羽二重一割、木綿類一割乃至五割安であり銘仙類のみは五分高であるがこれは原糸たる絹紡糸の昂騰によるものである、而して一般狀勢を見るに織屋並に卸小賣商店とも非常の犧牲を拂つてゐる實狀にあるので今後これ以上の低落はどうかと考へられる程度にあるが、ただ絹紡糸の割高なるは關係工場の生產制限に依るものであるから低落の可能性十分ありと見られてゐる、今期仕入物の當市小賣値左の如し（三越呉服店調べ、單位一反當圓）

品名	値
銘仙縞標準物	三、五〇
同メ切絣同	三、八〇
模樣銘仙同	三、八〇
お召縞同	九、〇〇
同絣同	一〇、八〇
小紋錦紗同	九、五〇
モスリン同	三、〇〇—三、八〇
綾糸織同	五、八〇
綿ネル白同（大巾一尺）	〇、一〇—〇、〇八
富士絹同（同）	〇、三四
丸帶染物同	九、五〇
同織物（唐織）同	二五、〇〇
色紋金波同	七、八〇
木綿物模樣同	一、〇〇
羽二重地標準物（百匁）	一二、〇〇
縮緬生地同（同）	一〇、〇〇
絹生地同（同）	一一、五〇

黄塵

◇…株式市場が財界のバロメーターと言はれるのは常に現實の事象よりも前途の可能事を見越して動くからである。

◇…今次の英國金本位制停止に關しても井上藏相の如きは株式市場を動搖せしめるやうな影響はないと言つてゐるが一昨日當明した市場は再び混亂に陷り休市の已むなきに至つた。

◇…米日爲替も表面平靜ではあるが強ち樂觀許りも出來まい。

◇…財界の尖端を行く株式界の動搖によつて示された事態が近い將來において起らないものとは誰が保證し得やう。

◇…今後の推移を見るに國際爲替の變化に深甚の注意を拂ふ必要があらう。

市場電報
銀塊及爲替

倫敦銀塊	一五片八分七
同　先物	一六片〇分〇
紐育銀塊	二九仙八分一
孟買銀塊	—
スチール	七五弗〇分〇
アナコンダ	一五弗四分一
英米爲替	三弗八〇仙二分一
米日爲替	四九弗三七仙
米支爲替	三一弗八分五

棉花

●米棉

現物	六仙三五
十月	六仙三〇
十二月	六仙四三
一月	六仙四五
三月	六仙六四
五月	六仙八二
七月	七仙一〇

●印棉

ベンゴール	一三五留比
ブローチ	一六七留比

市況（廿五日）
特產
出廻り順調で大豆暴落

今朝の定期は時局も小康を得出廻り順調を豫想され且つ爲替安で大豆は暴落を呈し高粱は暴騰し豆粕は低落を呈し高粱は暴騰を

◇定期前場

錢鈔
人氣弱く當市軟調

今朝海外銀塊は倫敦近物十六片四分の七（二分の一高）目先物十六片丁度（二分の一高）紐育二十九仙八分の一（二分の一高）を報じたるも上海大市保合にて當市の人氣弱く軟調を呈した、鈔票は七十二兩丁度、大洋票…英米クロス三弗八十四仙二分の五…

◇定期前場

株式
內地市場休業

滿鐵株

當市も休市

商品
麻袋弱含
綿糸續落

爲替相場

手形交換高

各地特產發送高

大連埠頭在庫貨物

（九月十八日）

滿洲日報

ハルビンにまた爆彈 邦人家屋を爆破

一兩日來稍々落著いた邦人 再び不安に襲はる

【ハルビン特電廿五日發】二十五日午後八時共産黨員らしき若い支那人がモストワヤ街邦人飲食店「布袋」の裏空地に爆藥を裝塡し爆破したため家屋一戸倒壞し圖書館の窓硝子は全部粉碎した、また文化協會表玄關にも强烈な爆彈を投げたので入口は破壞され慘澹たる光景を呈してゐる、なほ滿鐵公所にも投下したが幸に不發に終つた模樣である、人畜には別に被害なかつた、晝間わが飛行機が飛來したので邦人一同は多少安堵してゐたがこの爆彈騷ぎで再び極度の不安に襲はれ婦女子等は定められた箇所に避難した、日一日と危機迫り支那暴民の騷擾にに不安がられてゐる

犯人直ちに逮捕さる 支那側我當局に報告

【ハルビン廿五日發】支那側第二區警察署長は二十五日午後八時四十五分日本警察を訪問し今夜の爆彈投下の犯人を數名逮捕目下取調中であると報告した

支那官憲極度に狼狽

【ハルビン廿五日發】突然の爆音に各國人總立となり支那官憲は狼狽し午後八時から市內要所に張番し右往左往して通行人の國籍を問はず誰何し返答遲れるときはピストルを突きつけてゐるまた支那側は愈よ今夜新聞記者の市中往來を夜間禁止することゝなつた

北滿電氣爆破の陰謀

【ハルビン二十五日發】爆彈騷ぎと同時に大橋總領事以下館員、警察署員總動員で居留民保護に當つてゐるが在鄕軍人も直ちに總出動し不眠不休で邦人保護に當ることゝなつた、支那共産黨はハルビンに於ける邦人經營の電燈會社北滿電氣會社を爆破すべく隱密の計畫を進めつゝあり、邦人は極度に緊張しつゝあり

東支沿線の邦人引揚

【ハルビン廿五日發】今日までの引揚邦人婦女子約七百名に達す

【ハルビン二十五日發】東鐵沿線邦人は續々引揚準備中

【綏芬河二十五日發】當地の邦人は引揚準備中

【滿洲里二十五日發】萬一の場合邦人は露領に引揚準備中

哈市支那兵 應戰すと敦圍く

【ハルビン特電廿五日發】張特別區行政長官は二十四日午前八時歸哈し午後一時から長官公署で時局に關する幹部會議をなし哈市の治安維持に關し說明したが當市南方における支那軍隊は幹部の意思に反し日本軍の襲來には應戰すると敦圍いてゐる

南下の護路軍引返す

【ハルビン特電廿五日發】當地は本日も引續き平穩で多少滿方面に南下した護路軍も既に當地に引返した

在留邦人決意

【ハルビン特電廿五日發】大橋總領事は事態惡變すれば死あるのみと悲壯な決心を語り在留民は既に覺悟を定めて居ることゝて案外落ちついてゐると語つた

邦人を袋叩き

【ハルビン特電廿五日發】二十五日午前十時五分モストワヤ街にて支那の號外を買ひ集めつゝあつた喜井德一は支那學生五名のため袋叩きにされ命からがら逃げ出すや

皇軍の威力 (上)四平街上空を飛翔の偵察機(下)鄭家屯に向け出動した長春部隊 ー何れも廿四日山口特派員撮影ー

露國航空隊 飛行機集中

支那群衆は喝采してゐた

【ハルビン廿五日發】ザバイカルの露國航空隊はダアリヤに集中しつゝありその數は五十臺に達してゐると云はれてゐるが原因は不明である

札免公司の邦人引揚

昨報の札免公司東支西部沿線現場にあつて生死の程を氣づかはれてゐた邦人婦人一團六名は廿五日無事ハルビンに歸着した旨滿鐵本社農務課に入電があつた

ハルビン上空で宣傳ビラ撒布 我飛行機長春から飛び

【ハルビン特電廿五日發】不安に襲はれてゐる邦人の狀況偵察のためわが飛行機は午後三時突如市の上空に勇姿を現はし數回旋回し宣傳ビラを二回撒布して長春方面へ去つた、邦人は皆屋上に出て日の丸の旗をかざし萬歲の歡聲を送つた、支那側はこれより如何なる積極的行動に出づるか兩三日中が問題である、わが飛行機の撒布せる宣傳ビラの內容は軍司令官の名に於て今回日本軍行動の原因を的確に說明し敵對行爲が支那軍閥により計畫的に行はれたるに始まるを述べ、我が軍は敵對的行動が計畫的に行はれたる時に於てのみ、我が權利と威信を確保するため積極的行動に出るので、軍閥の治下に苦みつゝある人民には深き同情を有するが故に各自その業に安んぜよといふにある

飛行理由照會

【ハルビン廿五日發】我が飛行機飛來ビラ撒布に對し國民政府外交代表鍾毓氏は大橋總領事に對しその理由を問合せて來た

香港の反日機運激化 邦人多數を虐殺

市中は恰も無警察狀態

【香港廿五日發】香港支那人の反日機運は昨日來頓みに惡化したが、二十五日市民大會が行はれるやその絕頂に達し會合會衆は崩雪を打つて街路を行進し警察の嚴戒を尻目に邦人密集區域初め市內各所の邦人家屋、日本商品販賣支那商店等に闖入暴行した上通行の邦人を襲ひ狼籍致らざるなく邦人死傷者多數を出し駈附けた英國警官水兵等まで卷添を喰ひ亂打される等恰も無警察狀態となり居留邦人は戰々兢々悉く門戸を鎖し一齊休業狀態に陷つた、英國駐屯軍の二個中隊は遂に午後四時出動市內各要所を固めて鎭壓に努めてゐる

漢口の排日惡化し 我租界を經濟封鎖

二十五日より邦貨を沒收し始む 當局、取締困難を洩す

【上海特電二十五日發】漢口支那當局は各反動團體の策動を恐れ反日運動彈壓の方針だつたが軍官學校學生及び兵隊約千名二十四日過激な宣傳ビラを持ち民衆を煽動し且つ黨部も熾烈な決議をしてゐるので最早取締困難と洩した人心漸く惡化し反日會は資金に當てる爲め二十五日より日貨を沒收し日本租界を經濟封鎖する旨を決議形勢は憂慮さる尙何成濬氏は各地當局に邦人保護方を命じた

我軍艦出動 佐世保は異常に緊張

【佐世保廿五日發】日支衝突に刺戟され支那各地に排日氣配の惡化に處するため佐世保海軍では軍艦○○外驅逐艦六隻を去る十九日出動準備し待命中二十五日夕突如出動命令ありしものか出動艦と目さるゝ○○は俄に緊張し折柄の豪雨の中を陸上との往來頻繁を極めてゐるが、軍艦○○は二十五日夜中○○に出動すべしと見らる

谷口軍令部長急遽歸京

【東京二十五日發】今回の事變に伴ひ南支方面排日氣分濃厚となり形勢漸次惡化の兆見えるので目下九州有明灣附近に於て行はれつゝある秋期海軍小演習統監中の谷口軍令部長を東京に歸つて貰ふことは時局に處する上極めて緊要であり殊に陸軍とも共通の立場から打合せをなす必要上安保海相は急遽演習統監を更迭するを決意し二十五日午後二時參內統監更迭を內奏軍事參議官加藤寬治大將を後任統監として奏請御裁可を得たので直に電報した依つて加藤大將は今夜七時半東京發西下し、谷口軍令部長は加藤大將の演習地到着と共に歸京することゝなつた

神戸で引繼ぎ

【東京廿五日發】海軍小演習統監更迭に依り歸京する谷口軍令部長は二十五日演習地發驅逐艦浦風に便乘して二十六日神戸入港午後四時五十五分歸京に決した加藤大將は二十六日神戸で谷口軍令部長と事務引繼ぎを終り浦風に便乘演習地に向ふはずである

對馬出動決定

【佐世保二十五日發】軍艦對馬は二十六日午前四時長江警備のため出動することに決定した

全支の學生に對し絕對的排日を命令

義勇軍組織法發布

【南京二十五日發】國民政府は中央黨部の議定した義勇軍組織法を政府令として本日發布し政府は自ら全各學生生徒に絕對的排日を命令するに至つた

命令の要項

【南京二十五日發】國民政府は全國大學及び地方政府教育廳に左の排日運動參加を命じた

一、學生は演說隊を組織し日支問題の宣傳をなすべし
二、排日運動に職員引率の上參加すべし
三、軍事教練を擴大充實し何時にても軍事に參加し得る準備せよ
四、學生の行動は國民政府より隨時支持す

對日經濟絕交を全國に通電

全支商會聯合會が

【上海特電二十五日發】全國商會聯合會は二十四日緊急執監會議を開いて左の諸項を決議した

一、全國省市縣商會に對し各團體と聯合して國民大會を開き共に國難を救へと通電す
二、政府を督促して實力を集中し日本に對する有効な方略宣布を請ふ
三、所屬各團體に軍事訓練を行はしむ
四、對日絕交を全國に通電する

南京、上海の猛烈なる排日氣勢に影響を受け人心俄然險惡化し明日の市民大會の結果事態憂慮さるゝに至つた、目下在留邦人引揚準備中である

南支各地狀勢

【上海特電廿五日發】各地反日狀勢左の如し

重慶 清野重慶領事は二十三日劉湘氏に居留民の保護を申出た劉氏は民衆を取締りつゝあり目下平穩

長沙、宜昌 婦女子は引揚準備中尙ほ大したこともなく

鎭江 公安局巡警が邦人住宅を保護中なるも形勢漸次惡化の模樣で婦女子は日清ハルクに避難し男子も準備警戒中

芝罘 新聞記事、ポスター等現れたが公安局取締嚴重で市中變りなし

福州 二十三日の大會は雨の爲め氣勢揚らず市黨部は宣戰布告國交斷絕を叫び學生の遊行等あれど當局取締嚴重で邦人無事

鄭州邦人引揚

【上海特電二十五日發】鄭州邦人婦女子數名は二十四日漢口に避難して來た

溫州邦人引揚

【溫州廿五日發】當地の邦人十四名は引揚げた

排日はあつても反動に期待

商工省勝部課長談

【東京特電二十五日發】滿洲における日支兵の衝突事變から早くも上海南京を始め全支的に猛烈な排日排貨運動がまき起されんとしてゐるがこれらの情勢及び今後わが對支取引關係の上に及ぼす影響等に關し商工省勝部貿易課長は次の如く語つた

今回の日支衝突事變により南支一帶の日貨排斥はいよいよ猛烈になつた、取引きは殆んど停頓の狀態だが從來の經驗に徵すればこの日貨排斥後に來る反動的好況がかならずあるもの故現在では當業者は寧ろ樂觀してゐる滿洲向きのものは大體邦人の手を介するもの多く今度の事件により一時的打擊はあつても先行き有望と見て差支へない、とにかく對支外交によつて從來はあまり支那側の擅橫を默認し過ぎたきらひがあり、何れは一度衝突して我が國の實力を示す時が必要であつた、結局今度の事件も次に來る外交々涉如何によつては對支經濟問題は非常に有利に轉換して行くものと思つてゐる

青島支那紙の捏造宣傳に警告

【青島特電廿四日發】支那新聞は日本海軍の葫蘆島占領、龍口に陸戰隊上陸等の誇大なる記事報道に對し日本官憲から直に警告を發した處支那側は直に取締方を嚴命した

學生救國會動員令請願

【上海特電二十五日發】大學校救國會は昨日の會議で國民政府に動員令を下すやう代表を派して請願する事、其他を決議したが中等學校學生の抗日救國聯合會も昨日成立、男學生は軍事訓練を受け抗日の準備を爲し女學生は看護婦の實習を爲し救國基金を募集して日貨檢査を嚴行する事に決した、向ふ見ずの學生の宣傳は執拗に民衆を激昂させるであらう、尙赴京請願團はその諸願を爲す筈

一、東北失職長官、外交官を嚴懲する
一、對日秘密條約の締結を爲さゞる事
一、地方問題として解決するを得ず
一、出兵を請願し學生之に武裝參加す

蘇州排日險惡

【蘇州二十五日發】當地の排日も

米政府の覺書全文

きのふ外務省で發表

【東京特電二十五日發】米國政府の日支兩國に對する覺書は二十五日午後七時卅分外務省より發表された

覺書

米政府及び國民は過去數日間に滿洲に於て發生したる事件を遺憾とし大いに憂慮し居るものなり國際關係に於て平和の原則と手段とがなはるべしとの當國の熱心なる希望に鑑み又た國際間の紛爭を武力に訴へる事なくして折衝する事を目的とする諸條約存在しその或るものに就いては米國が統治國たるに鑑み米政府は日支兩國政府が各自國軍隊をして之れ以上敵對行爲を爲す事を差控へしめ且國際法及び國際協定の要求を滿す樣その軍隊を措置し且又兩國間の紛爭を有効的手段に依り調節する事を害するが如き行動を差控へん事を兩國政府に希望し得るものと思考す

一九三一年九月二十四日 ワシントン國務省

無遠慮な處置は軍縮機構を破壞

聯盟の調査委員案に 石井子憤然と語る

【東京二十五日發】國際聯盟協會名譽會長石井菊次郎子は國際聯盟理事會の滿洲事變共同調査委員會設置說に對し二十五日左の如き意見を發表した

米國務長官はみぎ提議に不贊成の意を表したと云ふがかゝる提案は日本政府の嚴肅な聲明に對し疑惑を有すればこそ起るものである聯盟加入國間の信賴は相互的のものであるに聯盟が斯く日本に信賴を缺くは聯盟の理解者であり熱心な同情者たる日本に極めて有害な影響を與へやう聯盟が日本に不必要な疑ひを掛け不遠慮極まる措置を取つたことに依り軍縮に關する全機構は崩壞するに至らう

威嚇的訓令

【南京二十五日發】施肇基氏は外交部に宛聯盟理事會に於ける形勢は有利なるも充分なる結果を擧げ得るや否や疑問であると報告し來つた、これに對し國民政府飽くまで聯盟が干涉するやう努力し若し有耶無耶にする時は支那は聯盟を脫退すると威嚇的訓令を發したなほ蔣介石は聯盟が行動せぬ時は對日宣戰を布告する決意を固めてゐると豪語してゐる

步哨中兵士戰死す

奉天兵工廠構內にて 武裝敗兵に襲擊さる

駐奉步兵第七十八聯隊第一中隊一等卒小山寅右衞門は二十四日の深更、兵工廠構內を遊動步哨として服務中多數の武裝敗兵に襲はれ格鬪の後名譽の戰死を遂ぐ、尙小山一等卒の身體には多數の銃傷を受けてゐたと【奉天電話】

『縣長は體面を思へ 日本人を入らしめるな』

張氏各縣長に訓令

張學良氏は東三省各縣長に對し左の如き訓令を發した

縣長は重要なる地位なりその重要任務を守る縣長が自分の體面も顧みずして日本人を歡迎し、自分の縣に入らしめる如きは他日、日本側に有力なる口實を與ふることゝなるべし、故にこれを入るべきに非ず【奉天電話】

政友會の聲明書

【東京二十五日發】政友會は二十五日滿洲事變に關し秋田總務談の形式を以て左の如き聲明書を發表した

政府が二十四日發した滿洲事變に關する聲明書は時機遲れの非難を免れぬ、その內容に至りては毫も積極的氣魄を認めず、恰も申譯これ努むる如き態度なるは啻に**帝國**の威信を失墜するのみならず將來の禍根を一層深からしめ却つて問題の解決を困難に導くものならざるやを虞れる、國際聯盟が滿洲事變に對し正當な認識を缺いてゐることは頗る遺憾の事態で帝國としては先づこの蒙を啓くを先決問題とする、國際聯盟が事變を單なる獨立國家間の紛爭の如く卽斷し日支を平等の立場に置き勸告する如きは輕率たるを免れぬ、これ聯盟の對支諒解なきのみならず日本の**滿蒙** その歷史的沿革を全く無視するために外ならぬ、今次滿洲事變の原因は支那の國際信義無視卽ち條約不履行、排日侮日的暴戾、不遜の態度を取つたゝめである、率直に云へば支那は國際聯盟を背後に頼み萬一の際その支援を受け得ると考へてゐることは明かな事實である、故に聯盟が國際正義を樹立せんとせば先づ支那の非違を正すため支那の反省を促さねばならぬ、然るに支那の宣傳に乘ぜられ斷的勸告をなしたるは却つて國際不正義を助ける憾みなきを得ぬ、これ聯盟本來の**使命**に反するところなかるべきか、政府の聲明はこの點につき一籌を輸したるものあり、政府がこの大本を忘るゝ以上滿蒙問題の根本解決は木に緣り魚を求むるの比類である、今日までの陸軍の態度は帝國の威信を保ち滿蒙權益を擁護し國民の信賴を博したものであるが政府の聲明を通覽し軍部がこれに滿足せるものならば將來のこと眞に懸念に堪へざるところである

中村大尉昇敍

【東京特電二十五日發】滿洲で虐殺された中村大尉に對し二十五日、遺族の六月二十七日附で左の如く昇敍の御沙汰があつた

參謀本部員 步兵大尉正七位勳五等 中村震太郎
任少佐 敍從六位

尙中村氏には更に二十六日勳四等旭日章井杉氏には勳八等白色桐葉章を御下賜の筈

蔣公使挨拶

【東京廿五日發】新任駐日公使蔣作賓氏は二十五日午後三時官邸に若槻首相を訪問し新任の挨拶を述べた

蔣公使首相と意見交換

【東京二十五日發】駐日支那公使蔣作賓氏は二十五日午後三時若槻首相を訪ひ新任挨拶後約三十分滿洲事變につき意見を交換したが若槻首相は二十四日政府の聲明した方針に基き帝國の態度を述べ特に國民政府の反省を求めたと

若槻首相參內 諸般の事情奏上

【東京二十五日發】若槻首相は二十五日午前九時五十分參內天皇陛下に拜謁仰付けられ二十四日臨時閣議にて決定した政府の決定書並に國際聯盟理事會代表芳澤大使訓令案を上奏し國際聯盟の要請を容れたアメリカ政府よりの正式勸告及びアメリカ國務長官スチムソン氏の出淵大使に對する希望申入れたにつき御下問に奉答十時二十二分退下臨時閣議に出席した

駐兵費未決定

【東京二十五日發】本日の臨時閣議は午前十一時開催井上藏相より駐兵費に關し報告ありたるも決定を見ず明日更に閣議續會に決定し零時三十分散會した、尙席上安保海相より芝罘、漢口の保護狀況に就き報告する處あつた

織田萬博士

【東京廿五日發】新任勅選議員織田萬博士は二十五日同和會に入會した

府縣議當選數

【東京廿五日發】二十五日午後四時現在府縣會議員總選擧の結果は左の如し

黨派	數	黨派	數
民政黨	一五四	民政系	五
政友會	一三〇	政友系	二
社民黨	一	全勞黨	一
中立	二		

卽ち民政黨は政友會を二十四名凌駕す

社説

第二段の問題 重大期と我官民の靜思

日本が自衛上採つた今回の武力行爲は、先づこれで第一段を告げたといつてい丶、殘された問題は斯うした武力行爲を餘儀なくせしめた原因の根本解決如何にある。東北省當局者が果して誠を披瀝してこれに當るか將た又た荏苒彌久、その慣用手段たる不得要領的態度を以てするかにあつて、この見定めのつかぬ限りは輕々しく進退を決する譯には行かない。

◇

唯この際吾人が我が當局者並に同胞に警告したいことは、それは時局が今や最も重大な時機に這入つたといふことである、言ふまでもなく今次の原因は東北省爲政者の失態にあるので、吾人の親しむべき民衆には無い故に自衛的占據の公布されて以來軍當局も特に此の點に留意し民衆の保護と安寧秩序とを念とした、而して徐ろに事件解決の時機を促進するに力めてゐる、吾人の最も憂慮する所は東省主腦者が、我が當局の深意を掬まず、徒らに一部過激論者に禍ひさるゝことである、彼等は毎に排外熱を煽動し、一切の條約權を無視し、啻に國交の障碍を增加したのみでなく、遂に自國民衆を不安の境に導いたのである

◇

近時我國論が殊に硬化したのも實に因を茲に發した、今やこれ等の過激的、支那を亡國に導く論者の傳染は南にも及ばんとして居る、輕率なる南方の主腦者は常に彼らに媚び、過まれる民衆の力を利用して自己建設の基礎とした、如何に我が軍が公正な襟度を以て和平の終局を希望しても、勢の激する所、遂に如何の險相を勃發さすに至るかを保し難い、果して然らば第一段の消極的なる自衞出兵は、遂に第二段の積極的自衞策を生み互に國を擧げて排擊するの不幸を見るに至らぬとも限らない。

◇

當初より日本の聲明した所は既得權の承認である、故らに武力を衒して快を一時に誇らんとするものではない、如斯は兩國大衆のために甚しき謬見であるのみならず、世界の趨勢に逆行するものである、吾人は多年に亘つて一向に條約の履行を要望して來た、その間自から盡すべき開發上の義務と、文化上の責任を果し、その恵澤の多くを主權國民衆に寄與し得たことを誇りともして居る、而して條約上の既得權の承認なるものも、云はゞ恵澤を擴大し、兩國民相共にその慶に頼らんと欲するに過ぎない、吾人の忠實なる此の希望が故なくして東北省當局者に蔑視され、既存の利益をさへ侵害されんとしつゝある現狀、之憤の發する所、國論の硬化を見るに至つたのも亦已むを得ない、即ち今次不祥事の主因も概ねこの點に存し、必しも區々たる最近の突發事件のみに因を置かないのである。

◇

これを要するに日本の要求する所は既得權に對する誠意にある、口舌上のそれでなく實行にある、爾後東北省當局がこれを如何に取扱ふかに依つて、第二段の方針が決定さるゝのである同時に事件は或は國際化するかも知れない、船は已に山に登つたのである、船を山に登したことの是非責任を論ずべき秋ではない、我等は異常の覺悟をなすべき重大なる第二期に入つた、從つて輕擧盲動を愼しみ、國家を本位とし、國家の公明正大を內外に宣揚すべきである。

◇

吾人は勿論何等領土的野心を有するものでなく、主權國民に對して毫も隔の意を有するものでもない、依然滿洲における共存共榮主義を確保して讓らぬもので、この事實を無視した官行は內外を問はず排斥せねばならぬ、爭ひは爭をもたらし、動もすればその眞目的を忘れ、爭ふ爲めの爭ひになりやすい、支那爲政家の不誠實と不信に對して、已むなく採つた第一段の自衞策の根本義を忘れず、第二段の重大期に善處することを我官民共に靜思すべきである。

日華實業協會遂に起つ 「わが國に對する挑戰的態度 到底默過し難し」と決議

【東京特電廿五日發】日華實業協會にては二十五日正午緊急幹部會を開き正金兒玉、三井、安川、三菱三宅川ほか十數氏出席のうへ三時間に亘り意見の交換をなし左記の如き強硬なる決議をなしたが、平素穩健なる親民國派なる一流實業團がかくも硬化したる以上各方面に相當強き反響を起すものと見られてゐる

決議

支那官民の我が國に對する言動は逐年著しく常軌を逸し友交國として恕すべからざるものあり絶えず國民に排日の思想を鼓吹し甚しきは多年國民教育教科書をもつて排日思想を涵養し全支に亘り不法なる排日排貨を行ひ或ば暴力をもつて日貨を掠奪し或は邦人の生命に危害を加へその他あらゆる不法暴戻の行爲を敢てし、遂には經濟上の絶交を標榜するに至り明白なる敵對的行爲をもつて挑戰的態度に出で丶顧みず、今や我が國に對する權益の侵害、名譽の毀損はその極點に達したり、就中支那政府の首班者が排日思想の主なる煽動者たるのみならず我が國に對し侮蔑または挑戰的の態度をなすに至つては到底默過し難きところなり殊に滿洲地方においては我が權益の侵害、在留邦人の生命財産の不安日を追つて增大したるにかゝはらず我が國の上下は常に善隣の誼みを旨とし寬容をもつてこれに臨みたることは、たまたまもつて彼等の侮慢を增長せしめ遂に今回南滿鐵道線路破壞および襲擊の如き暴擧を敢てするに至らしめたり、此處においてか我が國は條約上當然の權益を獲得するため自衞的應急手段を取りたるは當然の措置なりと信ずる、吾人は當面の時局が支那の反省により兩國間直接の折衝をもつて一日も早く收拾せられんことを望むと雖もこの際、

多年兩國間に山積せる諸懸案を徹底的に解決するは勿論、排日行爲、排日思想を根絶するの方法を講じ以て將來永久の平和を獲得するは絶對的に必要なりと痛感す、これがため對支關係事業及び貿易等の上に蒙る犠牲はもとよりこれを忍ぶの覺悟を有するものなり

俄にわが實業界の對支態度硬化す

【東京廿五日發】支那の暴狀に對する本邦實業界の態度は俄に硬化し別項の如く對支關係最も深き有力團體なる日華實業協會が強硬な聲明を發し、更に各地商工會議所及び在支邦人商業會議所全部を網羅する日本商工會議所は來る廿八日支那問題委員會を開き強硬意見の發表をなし同日大阪商工會議所、紡績聯合會、在華紡績同業會、日華經濟協會等十六團體も大阪商工會議所に聯合協議會を開き支那糺彈の氣勢を擧げるはずで、この外各地事業家も同一步調に出で全國商工業者は對支強硬擧國一致態度に出るはずである

支那問題委員會 東京で開催 開期に間に合はず 大連商議は不參加

日本商工會議所にては刻下の時局問題を協議するため來る廿八日東京にて支那問題委員會を開催する事に決し大連商工會議所にも照會して來たが何分時日切迫して會期に間に合はず開期も延期されないので大連會議所は參加し得ぬこととなつた依つて取り敢ず左記の如く打電するところあつた

滿蒙盛衰消長に重大關係を有する今次事變に際し特に委員會開催の趣極めて機宜に適する處置として滿腔の謝意を表す、唯だ其招集が餘りに急迫なりしを以て一兩日延期を乞ひたるも容れられず出席の餘裕なきを遺憾とす委員各位にこの旨傳達を乞ふ

奉天市政 改善方針

奉天市政公所の行政權限は從來通り奉天省城內及び商埠地に限られてゐるが今回の事變に依り省政府縣政府の行政が一時消失したから場合に依つては市政公所の權限を城外にまで及ぼすことになるかも知れないまた衛生行政は從來撒水掃除のみに限られてゐたが今後は根本的に方針を建直しそれ以上に日本側同樣諸般の衛生施設を完備せしむる筈【奉天電話】

支那店舗開店 五分の一に上る

奉天省城內の支那銀行は二十五日までには開店せるもの一行もないが二十六日から中國銀行交通銀行等は開業する筈である、なほ目下支那商舗の開店せるものは五分の一に過ぎない【奉天電話】

第二師團司令部

わが第二師團司令部は廿五日午後二時長春に歸着した【長春電話】

全滿商議聯合會 來る廿八日奉天で開く

本月二十一日奉天に於て催さるる豫定だつた全滿商工會議所聯合會は事變勃發により無期延期されてゐたが、來る廿八日奉天にて催さるゝに決定した、依つて篠崎書記長は廿六日、村井會頭は廿七日赴奉する筈

滿蒙研究會が要路に打電 滿洲事變に關して

滿蒙研究會は時局の趨勢に鑑み廿五日緊急理事會を開き左記決議をなし若槻首相ほか各大臣、金谷參謀總長、橋本長官、本庄關東軍司令官、森獨立守備隊司令官、宇垣總督、林朝鮮軍司令官、林總領事等二十五ケ所に打電した

滿蒙研究會は左記決議す政府は速に之を實行すべし

一、滿蒙問題の根本解決を見るまで保障占領を繼續すべし

二、滿蒙在住同胞を現地保護する爲め危險の虞ある地方は更に軍を出動すべし

三、事變の解決に關しては第三國の干涉を絶對に排除すべし

地方維持委員會佈告

為佈告事現經組織地方維持委員會專為維持地方秩序所有金融商業諸事照常並設警察自衛稍任治安關於以上事宜均由本會接洽辦理爾地方商民毋得無故驚擾切切此佈

委員 袁金鎧 孫祖昌 于冲漢 張成箕 闞朝璽 金梁 李友蘭 丁鑑修 佟兆元

中華民國二十年九月二十五日

地方維持委員會きのふ佈告

本庄關東軍司令官は廿四日左記九氏を奉天地方維持委員に任命、奉天城內市民の復活治安維持に當るべく依囑したが、右委員會は二十五日寫眞の如く地方維持の佈告をなした

袁金鎧(東北政務委員長)于冲漢(前官銀號總辦)李友蘭(元本溪湖煤鑛公司總辦)張成箕(前奉天省教育廳長)丁鑑修(前奉天交涉署長)闞朝璽(前東陵東洮遼鎮守使)孫祖昌(奉天紡績會社々長)金梁(前奉天省政務廳長現博物館々長)【奉天電話】

『榮臻氏はかく語る』 奉天を共に脱出せる一支那人の齎らした逆宣傳混りの所謂直話 奉天脱出前後の模樣

今回の事變の責任者東北軍參謀長榮臻氏は今なほ商埠地に在るといひ、あるひは大連の隱れ家に潛伏してゐるとか傳へあるひはまた既に變裝して北平に逃走したとも噂せられその行方は目下興味の中心となつてゐるが今榮臻氏と二十日奉天を共に脱出せる一支那人の情報として其の脱出前後の模樣を榮氏の直話として傳へてゐるが多分に逆宣傳を含んだ自己辯明のものである、榮氏のいふところなるものに曰く

◇

十八日午後十時砲聲とも銃聲ともつかぬ音響をきいたが間もなく北大營から日本軍が同兵營附近滿鐵線を爆破した上わが軍の所爲だといつてゐるとてその處置方を尋ねて來たので絶對無抵抗にて入城せしめ日本軍の欲するまゝにさせよと命じた、日本軍の砲擊の始まつた後二三分を經、余は電話で日本の領事に對し二十五分以內に砲擊を停止されたい、さもなくば城內の日本居留民の生命危險ならんと告げたところ領事は十分經てば砲擊は止めるとのことであつた、しかし十二時になる止まないので總領事にまたも電話をしたところ副領事が出て總領事は附屬地へ交涉に行つたとのことで程なく日本軍は瀋海鐵道から入城した、[illegible]では日本軍入城と同時に處理方の指示を乞ふて來たので門を開けて入れよと命じた

◇

かくて日本軍は開門と同時に發砲せるため逃げ遲れしもの數人射殺された、日本軍は衛隊に對し開戰はわが方の引き起せるところなるを承認せしむべくこれが捺印を迫つたが衛隊はこれを拒絶した、余は再び總領事に電話せるところ外交官は軍人の行動に干涉出來ぬからとのことであつた、それから十九日正午本庄軍司令官の來奉を待てとのことであつた、それで本庄軍司令官の歸奉を待ち交涉せるところ軍事會議後回答すべしとのことで午後六時使者を派遣せるところ本庄軍司令官は支那の官憲は交涉の資格なきにより法團と協議して治安を維持すべく交涉前の我行動は自由なりとの事であつた

◇

後日本人某臧式毅氏に對し李瀋陽縣長に自衞團六百人の組織を許可した、瀋陽を六區に分ち一區百人とし自衞團費を貰ふて治安の維持に當る、警察の武裝解除後日本軍に各軍政巨頭の私邸家宅搜索を初め余は最も注視された、十七日は恰度父の誕生日なりしため十八、十九の兩日は來賀の客の宿泊せるもの八人あり何れも逮捕された八人とは余の實弟榮圻、榮際、北寧鐵路局材料課員[illegible]、長官公署秘書[illegible]、前京奉鐵路局長[illegible]、衛隊旅軍法處長劉仁甫、北寧鐵路局員王貿田、河北鐵路事務所課長[illegible]であつた余の寫眞も持ち去られた父は城を乘り越えて逃れ余も亦逃れ出で臧主席に電話せるところ速かに脱出すべしとのことであつた

◇

この時日本軍は兵工廠、迫擊砲廠、彈藥庫を砲擊し無電臺を占領した、次で前京奉鐵路司令[illegible]及び子息衛隊某逮捕され迫擊砲廠長は殺された、各軍事機關また占領され日本の國旗が揭げられた各官衙書類は燒却された、兵工廠また日本軍侵入し彈藥兵車持ち去られ工廠爆破されんとする際アメリカ領事が機械未收を理由に阻止せるため中止された

◇

余は事茲に到つては如何ともすべからず廿日午後變裝して小東門を脱出した、當時日本側では軍事機關の首腦者が商工人に變裝して脱走すると見て長衣を着せる余を見逃したので檢査を逃れ皇姑屯驛に辿り着き六時乘車錦州に到り張作相氏を訪れ[illegible]張學良氏に報告のため北平に急いだ【奉天電話】

內地各商議あてに對時局の意思表示 きのふの應急常議員會で決議 大連商議から打電

大連商工會議所時局對策應急常議員會は二十五日午後三時より出席議員三十一名といふ近來になき盛會裡に開催された、すなはち同會議所として時局發生以來何等か意志表示をなす必要に迫られてなり且つまた來る二十八日奉天に於て急遽開催に決定したる全滿商工會議所聯合會に對する當會議所の緊急態度なども併せて決定するを主眼としたが右協議の結果、時局應急策としては關稅並に滿洲商工界並に滿鐵根本振作等の具體案件に關しては追つて政府の交涉進捗をまつて機宜意志表示をなすこととし、取敢へず左記總括的電文を日本商議、東京、神戸、名古屋、京都、横濱、函館、廣島、博多、大阪、新潟の各商議にそれぞれ打電した、また奉天聯合會に對しては時局を主眼として協議するやう別稿の如く直に打電した、なほ議員の提案に依り滿場一致を以て戰線に苦鬪を續くるわが將卒に對する慰勞電を關東軍司令官、多門第二師團長、森獨立守備隊司令官宛打電するに決した

意見一致

輓近滿蒙に於ける支那の態度は貴重なる我が歴史上の權益を侵犯し條約を蹂躙し國際信義を無視して事端を繁からしめ交涉案件は二三百有餘に及ぶ這次支那軍隊の滿鐵線爆破と我が守備隊襲擊は暴戻其極に達し我軍をして決然自衛行動に出づるの止むを得ざるに至らしめたり想ふに支那の態度斯の如きは一部軍憲と官僚者流の所爲にして國民の總意に非ざるは今次の事變に際し一般良民に不安焦慮の色なく經濟界に著しき變調を見ざるに徵して明かなり、滿蒙に於ける日支兩國商民の利害は恰も車の兩輪の如し吾人は兩者の關係を益緊密ならしめ平和的境地の建設に全力を傾注するを惜まざるものなり抑も滿蒙に於ける我が權益は我國自然の必要に基き多大の犠牲を拂ひて贏ち得たるもの今其危機に際し我軍敢然蹶起し事態既に茲に到りたる以上[illegible]せざるに於ては却て禍を後日に貽すものたるや瞭然たり我等は之を以て第二の山東事件たらしむるなく此際國論を統一し外に對しては我軍の公正なる行動と我國の立場を宣明し內に向つては國民的大決意を以て條約上の權益は徹底的に之を確保すると同時に邦人の正當なる行動と經濟的發展を暴壓せんとする從來の[illegible]爲に對し充分保障せしめ其共存共榮を期せざるべからず敢て貴所の御賢慮と御後援を冀ふ

戰線將卒へ 慰問電

大連商工會議所常議員會決議に基く戰線將卒慰問電は廿五日夜左記の如く本庄關東軍司令官、多門第二師團長、森獨立守備隊司令官宛打電した

閣下並に閣下の部下諸將士が國權防衛のため決然奮起暴戻なる支那兵を擊破し邦家のため日夜奮鬪を續けらるるは本所の衷心より感謝に堪へざる所なり冀くば益々御自重御健鬪あらんことを謹んで御慰問申上ぐ

我軍規の嚴肅さに 支那住民漸く安堵 武裝解除も着々進む 吉林その後の情況

吉林は日本軍隊にとつて始めての土地だけに最初は危惧の念を抱いてゐた支那人もその迅速なる行動と支那側軍隊とは比較にならぬ軍規の嚴肅さに、すつかり安堵の胸を撫で下してゐるが中には日本軍隊に占領さるゝことを希望する向もある殆ど神の如き素速さで吉林を占據した師團司令部は二十五日有力なる部隊を殘し吉林に引揚げたが同地の治安は目下の處安全である、支那側では吉林に新たに吉林省政府を作り、日本軍の監視下に着々統治の實を擧げてゐる、日本軍もそれに對しては誠意を以て當つてをり支那側銀行差押へは二十四日より解除した

四日より解除した奥地に逃亡した吉林軍に對する武裝解除は熙參謀長の責任ある言葉でぼつ〳〵武器の提供を見てゐるが二十四日も小銃三百挺、機關銃二十一挺の提供をみた、尚奥地に逃げた殘兵は日を經るにつれ如何なる態度をとるか懸念されるので殘留第十五旅團では武裝解除に徹底を期してゐる、目下我が軍の武裝解除は千六百挺を逐次增加の見込で本日吉林を離れ二十里附近山中に殘兵らしきもの集合の報に我が偵察機は地上部隊と共に聯絡をとり機關銃で頻りに射擊效果を收めてゐる

吉林軍武裝解除 こゝ數日後完了 長谷部第三旅團長談

第十五旅團と交代のため吉林より歸還、長春駐在第三旅團司令部及び第四聯隊は二十四日午後六時十五分着臨時列車で歸長したが長谷部第三旅團長は語る

私の部隊が長春に歸つたといつても吉林における我軍の勢力が減退したわけではない、私の部隊は天野旅團と交代したに過ぎない、天野旅團は午後二時長春出發したが途中で行き違つて長春に着いた筈である、熙參謀長は目下逃走中の吉林軍の武裝解除に努力して居り吉林軍の武裝解除を終るは數日後であらう、吉林においては武力を用ゐてゐない關係上支那人間には可成り我に對し侮蔑的氣分のあることを見逃がせない、熙參謀長は責任者だから行動を注意して居る、今日まで武器引渡し二千五百挺に過ぎないが彼等が武裝は遠からず解除することだけは疑ひない【長春電話】

省城の金融機關 けふから復活 下級官吏の給料も支拂

奉天市政公所の土肥原市長以下各課長は金融經濟的機關の復活を始め食糧、交通、衛生等の各般に亘り具體的方針を決定すべく協議してゐるが先づ市政公所事務員、工事員を二十五日より支拂ふと共に支那主要銀行も二十六日より開業せしむることゝなり同時に支那側下級官吏の給料も支拂ひを開始し人心の安定を圖ることになつた【奉天電話】

屯墾軍掠奪

洮南に於ては張海鵬軍撤退しかはりに屯墾軍來り掠奪を恣にしてゐる

逃れた學生軍 續々奉天歸來

撫順北方に逃れた東北講武學堂の學生軍約二千名の內の大部分は携帶の銃器彈藥及び軍服等を部落民に賣却若しくは交換して平服を纏ひ二十四日夕刻から續々奉天に歸來しつゝある【奉天電話】

北平の空氣 閻氏に傾く

【北平特電二十五日發】北平においては今回の奉天事變に關する責任問題から二三日前より俄に燃え出しいはゆる張學良氏の將來に關する悲觀的諸言が多く行はれ一般の空氣は漸次閻錫山氏に有利に傾きつゝある

張作相氏 生活の窮乏

錦州より避難來奉した某氏の談によれば張作相氏は今なほ同所の自邸に隱匿してゐるが氏が吉林の自邸に隱匿した約四百萬元の現金は部下に奪取されたので今や生活困難を感じ多數の使用人を養ふ[illegible]となつたので二十四日衛隊及び使用人を全部解[illegible]

辭令

辭令【東京二十五日】

關東廳觀測所技師 草間

兼任氣象臺技師(四等) 關東廳理事官 大和

命中央氣象臺勤務

關東廳辭令(十九)

附岡山高等學校教諭 大塚

任關東州公立高等女學校教諭

支那側の武裝解除 洮南に向つた羽山支隊

洮南に向ひたる羽山支隊は二十五日午後三時四十分頃無抵抗裡に支那側の武裝解除した【長春電話】

沿線一般支人は我軍の駐屯希望 苛政と兵變無きため

南滿最北端における排日侮日の本據は長春、吉林の兩市であつた、殊に長春の支那軍隊は大正八年の寬城子事件、高士賓事件等常に我軍に敵對行動をとり不祥事件を續發させてゐただけに今回の事變にも最も猛烈に抵抗し、事件をして大ならしめたが事件後、我憲兵分隊指揮の下に城內の治安維持を行ふやうになつてからは陰慘な一般であつた城內も明るくなつて一般支那人は頗る喜んでゐる、排日侮日の首謀者はその全部が學生乃至官吏で、これ等非生産者が排日侮日を利用して無辜の良民を虐め拔いてゐた事情があつたため一般支那人は寸毫も背きない軍規の下にある我軍を心から歡迎し日本治下にあることをむしろ喜ぶことは皮相の觀察ではない、馬賊と馬賊以上の軍憲との兩虐に苦しんでゐた彼等が安んじて正業についてゐることは日本軍のためだといふことも今度は非常によく了解し、支那軍憲の再度來らざることを希望してゐる【長春電話】

人事

◆小野六郎氏(郵船埠頭出入主任) 最愛逝去のため歸鄕中の所二十五日ベイカル丸で歸連

第二の反抗(41) 三宅やす子 阿部金剛畫

戀ごゝろ(七)

「あなたに笑はれることだから云へないよ」

寮一は苦笑した。

「笑はない」

「下らないことだから」

「私には秘密のことなの?」

秘密といはれて、一寸彼はギクッとしたやうに——でもすぐにさりげなく

「こんなところで云ふこともぢやない」

「ぢや、降りてから、きかせて」

「ひどく追及するんだな」

「えゝ、追及することよ。話さないうちは、あたし、いつまでだつて眠らないことよ」

「大變なことになつた」

寮一ははぐらかせて

「お嬢さんの聞くとでないから」

[illegible]そんなに子供扱ひにし[illegible]

[illegible]あなたに知られたく[illegible]

[illegible]默つてしまつた。

[illegible]、彼に何か秘密なことして心配事がはじまつ[illegible]の秘密は——女性のことに違ひない[illegible]の一擧一動に注意を[illegible]來なくなつて來た佐枝[illegible]が、ひとりでに暗くな[illegible]

[illegible]の?默つてしまつて」

[illegible]ないの」

[illegible]總として默つて、膝を[illegible]みつめてゐる。

「怒つたの?」

「イ、エ」

「怒つてるね。困つたなあ」

「ぢやあ」

彼女は顏を上げて

「何でも私に話すつて、約束して頂戴」

「佐枝子さんには、今までだつて何でも筒拔けだ」

「今度に限つて秘密なの?」

「イヤ、さういふわけではない」

彼はますく默つて

「心配つていふのはね、下らないことなんだよ。一寸した、ある人のことでね」

「ある人?」

彼女は、豫期した悲しみを、う[illegible]ちつけられるやうに、問ひ返した。

「大變不幸な人間がある。その人に僕は同情してしまつた」

「人間なんて言葉使はないで、女の人つて訂正して頂戴」

「訂正してよければ」

「いけない筈がないわ」

「よし。佐枝ちやんに聽いて貰はう」

彼は思ひ切つて云つた。

「少し前から知り合つた少女だ。やつぱりあなたのやうに、好ましくない縁談になやまされて居る。しかも、それは彼女の家庭の死活の問題で——あなたの場合よりはせつぱつまつて居る」

「……で?」

佐枝子は、胸を激しい鼓動に打たせて、そのさきを早くきかうとするのだ。

市況(廿五日)

株式 後場(立會中止)

特産 人氣引立ず 一般軟弱

後場の定期は依然として買氣引立ず一般に乘氣薄で各品共氣配軟弱裡に大引した

◇定期後場(錢建)

▲大豆(軟調)單位屯

限月	寄付	高値	安値	大引
九月來	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月來	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月來	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月來	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月來	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 百三十八車

▲普通大豆 出來不申

▲豆粕(軟調)單位屯

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 四萬枚

▲豆油(保合)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 三千箱

▲高粱(軟調)單位屯

限月	寄付	高値	安値	大引
九月來	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月來	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月來	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月來	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月來	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 五十六車

▲包米(出來不申)

◇現物後場(銀建)

	寄付	大引
混保大豆(袋込)	五六二〇	五六四〇
大豆(裸物)	—	—
出來高	五車	
普通大豆(袋物)	五四七〇	五四九〇
大豆(裸物)	—	—
出來高	五車	
豆粕	一八一〇	一八〇五
出來高	二萬八千枚	
豆油	一五三〇	一五三五
出來高	一千九百箱	
高粱	(出來不申)	
包米	(出來不申)	

錢鈔 標金保合 當市不變

上海標金の保合を傳へ當市變らず

◇定期取引(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
近期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	—	—	—	—

出來高(期近 百八十四萬圓 遠期 —)

◇現物取引(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(銀對金 五萬二千圓 銀對洋 二萬九千圓)

商品 麻袋變らず 綿糸見送る

●綿糸 大阪三品大引は前場寄に比し當限一圓五十錢安、先物一圓四五十錢高と區々な入れ當市は氣迷ひ見送る

●麻袋

銘柄	約定期	値段	枚數
鐘紡	十月限	二〇二	一〇
同	十一月限	二〇〇	二〇

出來高 三萬枚

市場電報

神戸特産

大豆現物 豆粕先物 豆粕現物 滿洲小麥 豆油現物 [illegible]

大阪綿糸

限	後場寄	後場引
九月	九二一〇	九一六〇
十月	九一四〇	九〇四〇
十一月	九〇七〇	九〇四〇
十二月	九〇六〇	九〇八〇
一月	九一九〇	九〇〇〇
二月	九二六〇	九二九〇
三月	九三〇〇	九三〇〇

横濱生糸

限	後場一節	後場二節
九月	五六〇〇	五五四〇
十月	五六〇〇	五五七〇
十一月	五六一〇	五五八〇
十二月	五六四〇	五六〇〇
一月	五六六〇	五六四〇
二月	五六九〇	五六五〇

大阪期米

限	後場寄	後場引
九月	一八二〇	一八一三
十月	一八九〇	一八八一
十一月	一九三二	一九三六

東京期米

限	後場寄	後場引
九月	一八三四	一八三七
十月	一八八〇	一八八一
十一月	一九三〇	一九二四

神戸期米

限	後場寄	後場引
九月	一八三五	一八三〇
十月	一九〇四	一八九七
十一月	一九四五	一九三七

家庭

慰問袋受付けに 本部は大多忙

二十四日までに集った個數ご 應募者の氏名

さきに滿日婦人團慰問袋募集が發表されるさ同時に早くも申込が殺到して袋の發送に配布に係員は轉手古舞を續けてゐますが、去る二十四日迄に本社滿日婦人團本部まで慰問袋を届けられた人及團體の數は百五十四、慰問袋數は五百七十七個の多數に上り、本部では受付に大多忙を極めてゐます、應募者及個數は次の通りです

廿三日 一個宛林清、中村福一、中田義一大平氏、山口二三子、片岡秀子、小松不二子、古賀ヨシ、瀧川スヤ、奥川ヨシ、川野涙子、豐原千鶴、堤田光江、西村玲子、西村晴夫、堤田タキ▲二個宛石出庄一、阿部トク、加藤シヅエ、伊藤ヤス、川島義次▲五個宛福永かめ、遠藤眞▲七個川本和子▲九個無名氏▲十個石川萬次郎▲十一個宛大連藝女生、石田氏▲十三個山本靜江▲二十二個北村席▲五十個國柱會婦人部

二十四日 一個宛無名氏、尾關房子、神谷菊子、今村氏、肥後花江、中西義夫、曾和弘明、曾和公、池見正信、山田節子、藤田太郎、大瀬木富子、佐藤光子、大瀬木新藏、戸田秀雄、山本氏、長谷川新作、松村隆雄、森リウ、前澤龍子、前澤誠一、杉浦三次、古賀元、由良支太郎、江森レイ、山本氏、森寅二、永田雅男、直塚ステ、西川マス、川上シヅエ、村角イク、中澤ミヨ、吉村氏、高梨氏、永田俊夫、飯野曉子、金井クラ、金井ミエ、山本恒喜、大塚平八郎、小林フミ、小林順之助、落合美枝子、落合靜子、淺野洋服店、久保芳子、國光はる、地田正之助、大橋ヨノ、海津八重子、長谷川タツ、長倉末吉、西尾キク、國光スミエ、國子ユク、菊野もり、瓶子萬龜、木村耐七、入江スグ子、鈴木セキ、齋藤吉子、川邊セキ子、齋藤康信、齋藤一信、滋野カノ、山口一夫、川邊春美、山崎誠六、福山尋、栗栖義和、倉重忠弘、倉重照子、西山幹治、峰乘子、西岡秀、武末つる子、永田徳次郎、和田萱、恒吉悦子、波城運次、鹿島澤子、鈴木好夫、尾道友吉、津山氏、直井睦子、近藤イサ、光井佐和乃、中西輝子、淺井セキ、原田芳江、園田淨子、鶴田川子▲二個宛鎌田トミ、外山ノシ、河井幸子、小村ハル、植田春枝、南極屋、中川テル、山崎卯助、辻利ユリ、尾崎氏、西堀正、塚本典正、吉川氏、古賀ふじえ、古賀トシ子、金森氏、高見千代子、朝長忠太郎、土方鈴代、花澤儀助、土師正治、倉田忠夫、藤田重利▲三個宛池田菊枝、和田氏▲四個宛淨田一家、藤井秀良▲五個宛高畠正敏、右近熊吉、無名氏、前野そめ、森川さし▲六個鍋田覺治、高桑一家▲七個中村みさ▲十個宛齋藤直枝、滿砂料理店、入江節子、菱川藥房▲十一個伊尾喜健▲十五個横田梅子▲十七個土方給代扱分▲三十個旅順キリスト教婦人會▲百七十九個大連連鎖街パーカフエー組合▲二百個遍照院龍華婦人會▲合計百五十四名、慰問袋五百七十七個

慰問品募集

一、種類 タオル、ハンカチ、石鹸、便箋、鉛筆、切手、はがき、軍手、靴下、煙草、キヤラメル、繪葉書、ちり紙其他腐敗せず歡ばれるもの
一、金額 最低二十錢見當の品物
一、期日 第一回締切九月末日限
一、取扱箇所 大連は滿日社內滿日婦人團本部▲旅順は旅順滿日支社▲金州は滿日金州支局▲普蘭店は滿日普蘭店支局▲貔子窩は滿日貔子窩支局▲周水子は滿日周水子販賣店▲城子疃は滿日城子疃販賣店

附記…慰問袋は前記取扱箇所にありますから御受取り下さい

主催 滿日婦人團
後援 滿洲日報社

寄附金

二十三日夜市內常盤橋、大山通、伊勢町、連鎖商店の街頭に於て滿日婦人團慰問袋募集の際の現金寄附者は左の諸氏です

▲二圓也二宮▲一圓宛永吉フジ、石相田、三木喜三郎、原文江、石本、矢野▲六十錢執行永郎▲五十錢宛石渡繁胤、平川新吉、富江與吉、永田清一、支成澤、日高喜三郎、新村富次郎、个本ヒロ、谷口正一、粉田ヒノ、青木古澤、寺尾、佐藤、菊池、團澤又澤他一名、大樹、西野孫吉▲四十錢田口氏▲三十錢宛雁子カツ子、宮崎、三村、田中ユリ▲二十五錢宛古川初枝、古川作平小森▲二十錢宛山本清一郎、田邊、古賀野、平山純喜、高野みつ、森壽雄、久保井爲定、青山友吉、奥村一雄、水尾、木村、濱田、松尾、大友、市橋トヨ子村山、黒崎しづ子、田中又次▲十錢宛軍艦淀一水兵、坂本、松澤、森澤、時任秀明、山澤進、大連新聞社員、力武、北村▲他に篤志家四十一名分十五圓五錢也▲合計百三名、金額四十圓也

更に慰問袋の作製に……

餘念ない彌生高女生と婦人團員

滿日婦人團慰問袋の應募者は日に日に激增し、本社內婦人團本部には刻々申込みが殺到して去る二十二、三の兩日にわたつて百餘の團員が作製した袋は飛ぶやうに捌けて二十四日朝にはあますところ數百しかなくなつたので急遽附近の婦人團を集めるさ共に午後から大連彌生高女生有志約三十名の應援を得て同日午後五時迄に更に約二千の慰問袋を作製しました【寫眞は彌生高女並に團員の一部が慰問袋作製に餘念ないさころ】

大掃除のときに 姙婦ご用心

殊に流産や早産は 二、三ケ月の方に多い

大掃除の日が近づきますさ平常充分注意して居られても、つひ忙しいため身體を無理するやうになりやすいのです、殊に姙婦の流産や早産は懷姙二、三ケ月に多く、そのころが最も大切なのですから掃除するにしても尻もちついたり、或は高い所に手を延ばして物を下したり、上げたりして無理しない樣に注意して流産早産を未然に防ぎたいものです、この二ケ月三月の頃は羊水が多く從つて

胎兒も 動き易く無理するさ胎兒の位置が轉換したりするので危險です、五ケ月以上になりますさ臍帶がのび(長いのになるさ五十糎もあるのです)姙婦が無理したため胎兒の位置が變りその變る時長い臍帶のため臍帶纒絡さいつて首を捲かれ折角立派に成長してゐた胎兒も死産となることがあるのです、臍帶纒絡さなりましても早くそれが判つてゐるさ出産の場合の手當で死産は免れるのです、この臍帶も一さ卷位のもあれば三廻りも捲けてゐる事もあるのです、又身體を無理し或は

外障は なくさもこの臍帶纒絡さいふのはあつて腕などに捲きついてゐる場合もあるのですたさへ首に捲きついてゐなくさも斯うして纒絡してますさお産が永引くものです、ひどいのになりますさ臨月近くになつて胎盤早期剝離さいつて胎兒出産後に出る筈の胎盤が剝奪され、子宮內出血さなり母子さもに助からぬ事があるのです、これなども餘り身體を無理にしすぎた結果です、これらの危險を防ぐには先づ姙婦は腹帶をして胎兒が動かぬ樣に無理しないさいふことが最も大切です、少しでも

異常ご 感じた場合は産婆なり醫者に早く診察して貰ふことです(大連敷島町佐志産科醫談)

井杉氏弔慰金

早川正雄氏取扱の井杉氏弔慰金はその後左の如く寄附があつた
▲金十圓竹中政一氏▲五圓藤根壽吉氏、竹內精一氏、篠崎嘉郎氏、莊晉一氏、太田信三氏、鈴木兼重氏、莊國四郎氏、鈴木芳太郎氏、山無龜五郎氏、小松圓吉氏、常 隆二氏、首藤定氏、錢、大連神道各教聯合會▲四圓五十錢大連神明高等女學校二年梅組有志▲三圓石田藤八氏、大西清氏▲二圓平田驥一郎氏、秩父固太郎氏、柴田博陽氏▲一圓賞川雄氏▲小計金九十四圓五十錢▲累計金百八十一圓也

恩田家の慶事

前大連市會議長恩田熊藏郎氏次男陽氏は今回坂井慶治氏夫妻の媒妁で實業家伊東三吉氏の長女靜江孃さ婚約整ひ來る二十七日大連神社に於て華燭の典を擧げるさ

童話 鐵砲 (二)

政本いさむ

島主も家來も、あつけにさられてポカンさ立つたきり男の後姿を見てゐました。

男は見物人の間を通つて、いう〳〵さ船の方へ歸りました。見物人は男の顏さ不思議な鐵砲さを見くらべながらきよろ〳〵立つてゐるだけでした。

男の姿が見えなくなつた頃、思ひ出したやうに島主は家來を連れて歸りました。

「ありや何さいふもんだい」
「さあ、えらい恐ろしいもんぢやな。あれでやられた日にや、士もへちまもあつたもんぢやないぜ」

島の人々はわい〳〵いひながらぞろ〳〵島主の後から歸りました

島主は歸るとすぐ一間にさぢこもつてじつさ考へてゐましたが、學好主だつた家來達を集めていろいろ相談するここになりました。家來達は島主のうちのお座敷にずらつさ輪になりました。

「お呼びしたのは外のことでもないが、今日見たあのポルトガル人の鐵砲について方々の考へを承りたい」

島主は家來達を見廻しました。家來は顏を見合せました。

「恐れながら申し上げますが、拙者儀御天致して御座います」
「拙者も」
「拙者も」
「いや、それだけぢやいけない。それをどうしようさいふのか」

さ島主がいひました。家來達は又顏を見合せました。

「あれをごつさり買込んでは如何で御座います」
「それをどうするのぢや」
「戰爭に使ひます。あれを使へば向ふ所敵なしで御座います」
「如何にも左樣ぢや」
「いや拙者は別の考へが御座います」
「何か」
「あれを買込むにしては、とても經濟がつゞくまいさ考へます。それよりも一つあれを造る方法を習つては如何で御座います。かゝる貴重な武器は只我々のみが持つて使用するには、あまりに勿體ないここで御座います。むしろ國家のために致すのが何よりさ考へますが」

一座は靜まり返つてゐました。
「それが何よりだ。左樣取計らふここにしよう」

數日島主は一人の家來を連れてポルトガルの船に行つて船長に、鐵砲を一挺わけて貰ひたい、そしてついでにその造り方を敎へて貰ひたいさ賴みました。

「そんなことは出來ない」

船長はきつぱりことわつてしまひました。

奉行はいろ〳〵賴んでみたが、どうしても駄目なんです。

「それ程ほしいなら、わけてもやらうが、實に高價なものだぞ」
「いくらでもいゝから」
さ島主がいひました。
「二挺で二千兩、如何で御座るか」
「二千兩?」
奉行はあいた口がふさがりませんでした。

滿日各地版

負傷を部下に知らせず奮戰した後藤少尉

撫順北方横道河子附近における わが軍の激戰詳報

【撫順】既電、今回の日支事變突發以來撫順守備隊附にて始めて名譽の負傷をした後藤少尉奮戰の詳細を探聞するに次の如し

偵察の任務を 撫順背後地横道河子（撫順城北方約四里）附近一帶には今回奉軍の逃亡兵蟠據し鮮支農民を苦しめる外何時如何なる事を企つるやも計り難いのでその實狀偵察の任務を帶び後藤少尉は部下八名の騎馬隊を以つて將校斥候隊を組織營門を出たのは二十四日午前七時永安橋撫順城を通過同午前九時二十分撫順北方二里の地點「倭家坟」部落に於て敵將校の引率せる支那側將校斥候二十名の一隊を發見するや敵は突如後藤隊に發砲挑戰せし爲め止むなく應戰立所に是を擊破するや敵は算を亂して「會元堡」方面に潰走した後藤少尉は普通の逃亡兵でなく支那軍亦この附近に將校斥候を以つて偵察せしむる以上同附近に支那逃亡兵の大集團ある事は瞭なりとの見地のもとに危険を犯して尚偵察を續け行く內「會元堡」に至るや支那兵約五十名附近の谷山間等より出現發砲するので茲に亦交戰となり約四十分の

激戰の後 敵陣漸く亂れその本據と思はれる横道河子方面に再び遁走した、吾軍はかうなると是非同地の現況をたしかめる必要あり是を追擊しつゝ撫順北方約三里半の「亂泥窪兒」に至るや銃聲をきゝつけ彼處此處より支那武裝兵約百名現はれ來り横道河子附近に至るや敵兵益々激增茲に於て日軍の僅か八騎なるを侮り逆襲後藤隊を鏖殺の擧に出でた茲に於て後藤少尉は決然少數の部下を激勵眞先にたつて奮戰悲壯なる戰闘は約一時間餘に亘つて續けられた爲に同午前十一時二十分後藤少尉は下半身に盲貫銃創を負ふに至つたが部下の士氣に關するを以つて自ら創口を縛し是を告げず從容追擊亦追擊敵兵約二十名を斃し遂に之を擊破當初目的の横道河子を中心とする

敵狀を 手に取る如く偵察歸還の途についた、その途中流石の鬼少尉も張りつめた氣も漸くゆるみ落馬した際吾が兵卒は洗ふが如き鮮血に軍服を染め打倒れたる同少尉を發見始めてその負傷を知つた、かくて貴重なる報告をもたらし後藤隊の撫順城へ歸着したのは午後二時半、同三時撫順守備隊に還へり同少尉は直に滿鐵醫院に於て內野博士執刀のもとに應急手術を行ひ官民有志多數に送られ軍醫附添の上同三時五十分發列車にて奉天衛戍病院に入院した、同少尉名譽の負傷の報一度傳はるや在撫大衆官民は常に危険なる第一線の奔流に挺じ吾が撫順市民の生命財産を擁護してくれた同少尉の勇敢なる行動に感激してゐる

ズボンの中に鮮血の塊り

感激なくして聞かれぬ 後藤少尉の奮戰談

【撫順】別報撫順獨立守備隊の背後地集團的匪賊殘兵の現狀偵察に赴き車輪輪を進め蟲集する敵兵を克く擊退名譽の負傷したる後藤少尉は岡山の人撫順守備隊にあること既に六年明春二月は中尉に定期昇進する亦劍道の達人目下同隊初年兵教官にあるが廿四日午後六時隊に川上守備隊長を訪へば同大尉は後藤少尉の超人的豪膽さに舌を捲きつゝ語る

第一回の鳩通信のあつたのが二十四日午前十時半、その後是非第二回目の情報がなければならぬに何等の消息がないので敵を追擊餘りに深入し過ぎ後藤隊は全滅したのでないかと氣が氣でなく私は寢食もそこ〳〵撫順へ行つて見た形勢若し非なれば同城にある手兵二十名を引率私自身急行する考へであつた、處が一兵卒が汗馬を走らせ後藤少尉の負傷を傳へ來た、私はすぐ渾河々畔に行くから同少尉にそこで待つやうに命令永安橋北岸に走つた所が後藤少尉は右太腿部に盲貫銃創を受け軍服のズボンは鮮血で洗はれ兩手でも握りきれぬ位の血の塊りでズボン內に出來てゐるにも拘はらず勇敢にも乘馬のまゝやつて來た、後から兵に聽けば撫順城の北一里位の地點まで他の兵は後藤少尉の負傷を知らなかつたとの事だ、平素の少尉に似ず山間岳陵を走る間に四五回落馬しましたその爲め始めて後藤少尉の負傷を發見した少尉の云ふにはあの戰闘の時俺がやられたと云へば吾が隊の士氣に關する故絕對口外しなかつたとの事である、赤渾河北岸で私が他の兵は乘馬のまゝ川を乘きれ（後その他の船通行の爲新設永安橋の一部櫓棧替中の爲）後藤少尉のみは下馬看護卒に護られ橋を渡れ」と云つたが何としても承知せぬ、同じやうに彈丸雨飛のなかをくゞつて來た部下と同じく乘馬のまゝ倒れても川を乘切るとして隊に歸り守備隊長室で貴官に敵狀報告の渡るまでは隊と行動を共にしますと頑張りますので私は傷口に泥水等の這入るのを憂へ一通りでは少尉が承知せぬので聲を勵まし「中隊長命令、後藤少尉は下馬せよ」と命令した所やつと馬から降り看護卒にまもられ橋を渡つた、そこには自動車を用意してあつた直に少尉を乘せてやらうとしたが茲でも「まだ當初の使命たる報告を終るまでは、斥候隊と行動を共にします」と頑として聞かぬ仕方がないから私は又「中隊長命令、後藤少尉は自動車に乘り病院に行けッ報告は病院できく」と私は少尉の馬を奪ひそれに乘つたその時の少尉の恨めしさうな顔相當議論もはく人であるが私が「中隊長命令」とさへ云へば絕對服從する人であるそして休中の內野博士に出て貰ひ西山軍醫と共に診て貰つたが普通のものならすぐその場で倒れて了ふ位の急所の盲貫銃創である爲應急手術後奉天衛戍病院に送つたやうな譯だが私が軍人生活を始めてから是位責任觀念の強い代表的軍人を見た事もなければ後藤少尉位剛膽な古武士そのまゝの將校を見た事もないと

わが軍の占領した撫順城南門

「朝鮮軍」が流言の原因

時局をめぐるナンセンス

【撫順】既報の如く支那街一帶の居住民が鮮人の襲擊の流言の爲風聲鶴唳にもおのゝき騷ぎ我ら日本官憲が諭しても心から安心し得なかつた根強い蜚語の原因が二十四日午前漸く判明したと云ふのは日支兩新聞の大活字で報道されてゐた「朝鮮軍の出動」とか「朝鮮師團の北行」とか記事を見軍隊組織の內容を知らぬ所から右朝鮮軍は鮮人を以て組織する素晴らしい兵力と統率のある軍隊で例の萬寶山事件等の復讐に來征するものと早合點しそんなに強い朝鮮軍の來襲が今日明日の內にあるかの如く次から次へと喧傳された結果であると、時局の產んだナンセンスとしては少し度が強すぎる

日支銀行團協議會（二十四日安東で）

心からの慰問袋 續々募集に應ず

滿日婦人團の活動

【金州】ひと度滿日婦人團主催我社後援の慰問袋募集が發表さるゝや各方面共大喜びでこれに應じて取扱ひを開始した廿四日早々率先ゐるが我が金州でも當支局に於て六袋加世田五南子外五名、五袋本丸昌子外四名、一袋江頭富美子、二袋鹿島藤田の兩氏、二袋岩田磯子同咲子、二十袋金州驛の申込あり尙續々と募集に應ずる機運であるが、滿洲の曠野に不眠不休連日轉戰しつゝある我が軍隊や警察官の勞を慰むる心情が如何に燃えてゐるかと言ふ事がうかがはれるこの心からなる慰問袋の配付を受けた將士はさぞかし喜悅の餘り感涙に咽ぶことだらうと思ふ今後の應募者に對しては纏て發表してある通りであるが特に內容は左の品物に意を置いて貰ひたい、尙慰問袋は當支局に用意してあるから遠慮なく申越をとふさ

△チリ紙△ハンカチ△鉛筆△便箋△封筒△石鹼△タオル△切手△官製はがき△靴下△手袋△キヤラメル△チヨコレート△外腐敗せぬ菓子△飴△繪はがき等△腐敗し易い品物は絕對に避け△特に將士の歡ぶものを選び△現金の應募は絕對にお斷り

因に第一回の締切は今月三十日である

奉天のところ〴〵

火蓋が切られてから早や數日 何處の街々をまはつてみても『もう大丈夫でせう』

【奉天】澄亘つた秋の夜も更けやらんとする頃俄に聞えるドォンの砲聲、續いて起る豆を煎るが如き銃聲、ヤア戰爭が始まつたのだ戰爭だ……とのどこともなく聞え續いてオートバイ、自動車の來往盛になりどの店も申し合せたやうに戶をキッチリ締める街は暗くなるがこの凄い音に市內は愈々動搖し始める續いて聞える砲聲、銃聲……日支兩國の戰ひの火蓋は切られて早數日、もう大丈夫でせうもう大丈夫です……何處へ行つても口眞似のやうな問答をしてホットする樣子

×

奉天小西門內の市政公所では愈市政を布くため日支首腦者相集り協議をなして金融機關の復活、食糧品不足對策……等市政のお膳立ての準備は着々進められる、準備金のない兌換紙幣の價格維持にはカラクリ的な維持方法にたけてゐる流石支那側でさへ困り切つてゐたのに之を引受けてその價格を完全に維持せんとする……その方法たるや支那側以上六ケ敷しい、だがこの方法がつけば始めて從來うるさい程耳にした眞の金融維持が出來る譯なのである

×

城內の物價は殊に騰貴し平常の五倍乃至は十倍……それでも生きんがためには食はなければならぬ、さなくとも疲弊こんぱいしてゐる折柄とて省民の蒙る痛手は容易なものではない、一時戶を堅く締めてゐた城內の各店でも廿一日來ボツリ〳〵開業してゐるその多くは飲食店、雜貨店、理髮店の如きものである、無論貨幣の價格安定がつかぬので大規模な商取引が行はれるやうな道理はない、行商的な小賣りが始まつてゐるまでだ

×

大西門大街、小西門大街……城內等相變らず人通りが多い、商埠地にさへ絕對入れてはならぬと八ケ間敷い問題となつてゐた附屬地內のバスは、今は商埠地のみが城內を氣持よくつきぬけて小東邊門まで往復してゐる、飛行場、北大營までの見物人が絕え間ない、今度憲兵隊側の警備の助力の一として城內で働いてゐた四千名の巡警の中成績の良好なものをピックアップして千二百名を使用し道路の交通整理に當らしめたが廿一日始まつたばかりに廿二日は申し合せたやうにその姿を一人も見せない又同盟罷業かなあ……位に想像されたが實は瀋陽縣長が辭任したことゝ背後にアレコレ云ふものがあつて一齊にやめたのだと云ふのであつたが間もなく暗雲ははれて一齊に働き出した

×

時局で支那側の學校は授業が出來ぬやむを得ないとすればそれまでゝあるがこの絕好シーズンに空しく失はれる貴重な時間はどれほどであらうかと心配してゐるものもある、中國人を教育してゐる南滿中學堂では日支開戰來業を休み生徒を鄕里に歸らし當分授業を見合せてゐる中等學校の生徒だけに之を解し何れも騷がず靜かに成り行きを見てゐる

×

廿二日十三時廿分突然關東軍司令部を訪れた美しい二人の女性があつた何れも驛前朝日軒のウエイトレスで節子に澄子のゴ兩人「これは輕少でお恥しい次第ですが國家のために働いて下さる兵隊さんに……」と大枚十圓差出してしとやかに申出る、軍司令部でもその赤い溫い心を酌み喜んで受け入れる、僅か十圓ではあるがそれは朝日軒の九名の女給さんが少しづゝ貯へた尊いお金、そこにはほんとな心がこもつてゐる

×

奉天で噂の種となつてゐるのは北大營に東大營、北大營も燒き拂はれて學良氏の榮華も今は夢、東大營も兵舍こそあるが營庭に殘された多數の野砲、狼狽して逃走した形跡を如實に物語る兵舍內のチリ〴〵バラ〳〵の現狀……廿一日は眞夜中北大營に敵の大逆襲を受け我が軍は多大の損害を受けたと流言蜚語が飛ぶそれだけ北大營は忘れられぬ記憶の一となつて腦裏に刻み込まれてゐる

大洋票暴騰

【遼陽】奉天事變の突發と母國東京附近に於ける地震の影響で遼陽地方に於ける大洋票相場著るしく騰貴し廿三日は百三十四元を唱へたが午後百六十一二元に騰貴廿四日は更に暴騰して百六十七八元を唱へ居るも錢舖は現物の交換に應ぜず仲秋節後の相場は漸次下向を豫想されてゐる

新義州の警備

【安東】鴨綠江右岸一帶の警備に就ては平北警察部に於て特に警察官の增員を行ひ萬全を期して居るが今日までの所未だ表面的に事故の發生を見ざるも時局の推移に伴ひ對岸支那側では日本軍の侵入せんことを極度に惧れ種々の流言が盛に行はれ官民共に恟々として居る有樣で何時如何なる事件の突發せんやも計り知れざるを以て平北側江岸に於ける警備網は最も至嚴を期する必要があるので平北警察部長は二十二日附江岸第一線に立つ警察官一般に對し大要左の如き意味の訓示を發し督勵を加ふる處があつた

江岸警備に就ては最も秩序ある統制の下に一致協力し緊張事に膺り晝夜嚴重對岸の情勢を監視すると共にその推移如何に依りては躊躇することなく斷乎として（中略）臨機の處置を講じ以て鮮內の治安に些の微動だも及ぼさざる樣十全を期すべし

遼陽城內警備

【遼陽】楊縣長は廿三日午後部下各課長公安局各分局長を召集して旅館等に於て謀議をなし諸員をなす者は之を逮捕し縣政府に引致して軍法に照して處罰すべく尙各商店にして金融紊亂物價吊上げを嚴禁する旨を協議し即日より他の事項と共に實施した

▲來往軍人は人數の多寡に係らず一律に城內立入を禁ず
▲平康里及第一商場並に劇場は當分禁止す
▲各地茶莊等は營業を禁止す
▲旅館、客棧來往客人及現住客人は一律に投宿を禁ず

貴院議員一行

【安東】貴族院議員視察團一行は大久保子爵を團長として廿四日午後七時五十五分安東驛着安義官民の出迎へを受け安東ホテルに投じ午後八時二十分よりホテル食堂における官民合同の茶話會に臨んだがその席上米澤領事より今回の日支衝突より今日までの顚末及び安東の事態勃發以來の狀況報告等あり終つて懇談をなし午後九時解散した

北大營攻擊の苦戰を語る
奉天獨立守備隊の奮戰

【奉天】北大營攻擊で第一線の中央部隊にあつて奮戰をなした奉天獨立守備隊第四中隊長高橋大尉は語る

吾が中隊は北大營西南端の第一步兵舍の外部にある高粱畑より右側より敵の猛射を受けながら腰部の上まで達する深い溝もものかはかき渡り兵舍外にある第一土壁に辿り着いた、その際左側にありし第三中隊も野田中尉の率ゆる一小隊がその兵舍の南端に迂廻し正門に向つたのであるが全く暗中の飛躍でそれさへも判らず野田中尉が行方不明さなつたさいふので一時は何れも心配の色に包まれてゐた、敵は兵舍内より機關銃さ云はず、小銃さいはずあらんかぎりの全力を注いで猛射を試みてゐるので土壁までは辿りついたもの〻一時は惡戰苦鬪に陷つた、上らんさすれば辷り、辷つては上り漸く土壁を乘り越えて兵舍の側にある壁まで來たが敵兵は壁を利用して更に猛烈に射擊を續け容易に內部に入ることを得ず茲に於て手榴彈を以て兵舍に次から次へさ浴びせかけた處流石の敵兵もタヂ〳〵さなつて退いたので第三中隊は第三兵舍方面より吾が中隊は中央より第一中隊は南部より壁を飛び越えて內部に躍り込んだ、かくして第一、二、三兵舍とも完全に占領し東方營庭に出た暗中他中隊との聯絡には隨分苦しみ努力したが努力の割合には仲々その效果が少なかつたやうに思つた、吾が中隊は第一中隊と力を合せ正門から無電臺の方に進み北大營の旅團、聯隊本部を衝き一方第三中隊は同大營の西方より背後をつき之に迫り壯烈な射擊戰を行ひ遂に北大營を十九日朝三時完全に占領することが出來た、この激戰で支那側の多數死傷者を出した事は勿論吾が部下よりも戰死者二名、負傷者十二名を出したのである

占領地を見學

【營口】當地新聞記者は小栗中尉引率の下に目下占領中の續軍營に至り占領當時先頭第一に營內に突入したる勇敢なる古川中尉の占領當時の實地講話並に戰利品の見學及營內に收容中の捕虜二百餘名の營內生活狀態を視察した

四鄭間を管理

【四平街】我軍は去る二十一日午前二時逸早く四洮線占領を宣言しその武裝を解除せしめたる四平街獨立兵分隊長林大尉は將來四平街より鄭家屯に亙る同鐵道を完全に管理し

在鮮支那人動搖
製材工場の從業員等
缺勤して作業は困難

【安東】新義州府內は事變發生以來極めて平穩狀態を維持し治安上何等の異狀を認めなかつたが昨今府內の製材工場に從業する支那人勞働者の間に聊か動搖を始め一昨日頃からそれが稍表面的に現はる〻に至り二十三日午前中の現狀では各工場を通じ支那人從業員の休業するもの二割乃至三割、甚だしきは五割に及んで工場作業の上に著るしき支障を來す事となつた、是等休業者の中には鮮展は變ろ危險につき芝罘方面へ引揚げんとするものもあり家族中これに肯ぜず踏止まらんとするものも大部分は去就に迷つてゐるが兎も角も工場に出て働く事に甚だしき危惧を抱いて居る彼等の中には今回の事變が過般の鮮支人衝突事件と同一の如くに誤信し此際鮮內に居る事が支那地に歸るよりは却つて安全である事に想到しないものか大部分を占めてゐる模樣であるそれのみならず一面に於て流言を放ち彼ら支那人を陰に威嚇するものがあるのではないかと臆測さる〻點もあるので當局は早くも內偵を進めてゐる、右につき新義州製材組合にては二十三日午前急遽役員會を開き之れが善後策として取敢ず警察當局の保護取締りを求むる事に決し横江組合長は正午田中署長を訪ひ懇請する所があつた、仍つて同署に於ては早速警戒班の編成を行ひ工場地帶に之を配備して嚴重なる取締と保護に任じ支那人の動搖防止に努むる事となつたが結氷期を前に控へた製材界の繁忙期に臨んでゐる矢先とて當業者は成行を憂慮してゐる

開原縣長逃亡す
住民に安全だと言ひ置き
何處ともなく姿を消す

【開原】遼寧省中猛烈な排日家佟開原縣長は九月十九日午前八時王通譯を開原警察署に派し叩頭百拜して城內を武力攻擊せざらんことを哀願し同時に尹公安隊長の名を以て開原城內住民に對し

「我國民政府は適當措置を講じ短期間に交涉解決を告げ中日國交は舊狀に復すべきを以て謠言に迷はされず安居樂業せよ」

と通達し翌二十日何處ともなく姿を消したが廿三日は遂に管下住民を置去りにして遠く鐵嶺方面に向つたとの噂あり開原城內外在住華民は縣長が自己の安全を計るが爲め住民保護の責任を擲つて顧みざるを憤慨して居る現下の開原城內は怪縣長尹公安隊長とも所在不明であり附近地周圍に在る約一千名の公安隊員も兒知名を馬賊討伐に藉りて移動せんとする傾向ありて城內住民は不安に驅られ一日も早く日本軍の來駐せんことを希望して居るといふ

慰問袋作製
開原

開原婦人會は同會主催で忠勇なる將士に慰問袋贈呈の計畫ありしところ今回開原全體にて募集することになつたこと聞き同會會員は九月廿四日午前九時より滿鐵俱樂部に集合し慰問袋を作製し應募の準備中尙同會は全市の募集に對し極力應援することにして居る、尙佛教婦人團は大連布教所の慫慂に依り慰問袋を募集しつ〻ありと何れも優しい心盡しである

司令官の謝電

開原邦人大會の決議要旨と死傷將士の慰弔及び勤勞將士の慰問電に對し九月廿三日同司令官より左の謝電が到着した

貴電謝す一同士氣旺盛任務に邁進しあり　森守備隊司令官

講武學堂生

奉天城內講武學堂學生隊は九月十九日より二三十名宛開原縣紫河堡を通過し北山城子に向ひつ〻あるが今日迄の數約百名に達せりとの噂がある

武運長久祈願
四平街

二十四日當四平街神社において國威宣揚祭を擧行し同時に目下出動兵士の武運長久と一般在滿邦人の安泰を祈禱せる由

支那兵の密偵

【鳳凰城】今朝未明當地支那街と附屬地との中間鳳凰川第二鳳凰橋附近に拳銃所持の支那兵密偵六名潛伏しゐるとの情報に接した我が警備隊大村中隊では本田軍曹以下十二名が直に武裝解除に向つたところ、既に支那街方面に潛入した後であつたので、尙引續き搜索中である。右の支那兵六名の後方には相當の部隊があり當地に接近しつ〻あるやうに思はれて居る

理し警備に任じてゐる、在滿同邦は多年の積憤を晴らしたと淚を流して歡喜しつ〻あり尙同鐵道從業員は滿鐵の人員を以て是に當る筈なるも一般の動搖を慮り從來通り四洮局從業員を以て勤務せしめ滿鐵の要人は目下四平街にて待機の姿勢である

旅順
避難者到着

旅順在住者にして奧地方へ出稼中の者は既報の如く廿二日八名の方家屯居住者歸來を始めに廿三日は奉天工廠に稼いでゐた營城子居住の者四名、醫科大學學生三名が歸來した

傳染病發生

▲月見町五六　中村茂(三〇)二十二日赤痢疑似と診斷さる
▲鮫島町一　有馬虎雄(四二)同上
▲敦賀町三二　田中アサ(一四)同上

市中の噂

廿二日昭和園に開催された非常在滿邦人旅順大會は未だかつて見ない白熱的大盛況を呈し既報の紳士以外飛び入りとして更に「保障占領の意義」と題し奧村莊五郞氏「負債返還」と題し中園米吉氏が獅子吼する▲以て如何に市民の間には東北軍に對する蓄積したウップンが深であつたかを證するに餘りある▲岡野榮次郞氏の如きは遂に臨席警察官から注意を與へられると云ふ仕末だ竹中延太郞君が百二十餘度の血壓も顧みず我が既得權益の貫徹を論じ降壇するや白面の一青年が起ち上つて「ヨイショ〳〵」と四股を踏み出す光景▲控へ室はいづれも肩を怒らし意氣軒昂の有樣は市民大會の空氣とは全然別物だそこへ本職ゾッチノケで大連から慰問に押かけたゴルフ服の吟松議伯「奧地の大會と旅順大連の大會は熱度が違ふ……」と如何にも不滿さうに市民は一齊に非難の聲をあげる當夜一青年を拉致した警察の態度も監督官としての立場からは無理からぬとは云へ大會の性質から見て熱狂者の出る事も亦當然？……▲あれが奧地であつたらそれこそ群衆と警官の間に不詳事が突發したかも判らぬ▲當夜の大會がいづれも全支那に對する我が行動に非ずして一部東北軍に對する自衛的手段に他ならぬ事がハッキリと認識されてゐた

西松氏慰靈祭
本溪湖

本溪湖旭町大連新聞支局長西松廣馬氏の長男喬(二三)は所澤陸軍飛行學校機關科主任教官として前途を囑望されたる有爲の青年將校であつたが、去る九月四日高等飛行演習中不幸操縱に故障を生じて墜落重傷を負ひ、其後急遽上京せる父君の手厚き看護も及ばず遂に九月十日午後九時十分あたら惜むべき幾春秋を殘して他界した、危篤の報天聽に達するや陸軍航空兵少佐に昇進從六位勳六等に敍せられ遺骨は二十日市民有志多數の出迎へを受けて父君の手により當地へ到着、二十四日午前十時より小學校講堂に於て慰靈祭が擧行された、官民多數の參列あり一同この有爲なりし青年將校の死を悼んだ

貴院議員一行

廿三日當地視察の豫なりし貴族院議員滿蒙視察團は豫定より遲れ廿五日午前十一時半本溪湖着の奉天行急行にて到着した

戰死者追悼會

曹洞宗太德寺にては二十四日午後一時より時局戰死者追悼法會を執行したが時節柄多數の參會者があつた

安東
軍警巡警慰勞

今度の事變に對し安東に於ける軍警軍必死の活動は實に目覺ましいものがあるが此の勞苦に酬ゆる爲め安東地方事務所では二十三日午後出動せる各團體に對し慰問品を送り其の勞を犒ふ處あつた

祭日の取引所

安東取引所は二十四日は秋季皇靈祭當日にて例休業となつて居るが特に時局の影響を受け相場激動の折柄當日前場第一節だけ開市した

司令部移轉

安東守備司令部は廿四日スミレより驛前安東ホテルに移轉した

遼陽
秋季皇靈祭

遼陽神社では二十四日午前九時から秋季皇靈祭を執行した

秋季招魂祭

遼陽忠魂碑の秋季招魂祭は二十四日午前十時半から碑前に於て嚴肅に執行され官民有志の參拜も多數であつた

營口
新聞記事說明

岩田大隊長は當地の新聞記者を大隊本部に召集し軍隊の行動に關する新聞記事に就き說明を與へ寺尾副官よりは右に關する詳細なる說明あり情報主任小栗中尉及岩本中尉も列席し說明した

大隊長視察

廿三日河北一帶における守備狀況視察のため寺尾副官ほか數名の將校と共に河北を視察即日歸營した獨立守備隊第三大隊長岩田中佐は

情報部を設置

大隊本部にては情報部を編成し小栗中尉主任となり高崎通譯生、內軍曹、田中軍曹、是永書記生、川島梅吉、高橋信次郞其他の諸氏それ〴〵任命された

本日より

大ホール開場御知らせ

大連奥町

ユニオンバー

カフェーリリー

電話三四一六番

モットー

絶對高級親切なる大衆向

女給は絶對純眞なる

日本生娘處女サービス

皆様の御越を

主婦始め卅有餘名の

女給がお待ちしてゐます

眞白なエプロンの子達がいぢらしい

避難者收容所の公學堂を見舞ふ

廿五日長春で　加藤保　特派員

滿蒙の奧地に根强く張られた我が居留邦人も時局の推移に或は東支線により又は吉長、四洮線により續々引き揚げつゝあるが、先づその最初の足溜りである長春は今や全市民をあげてこれ等

避難婦女子の應接に多忙を極めてゐる、記者は一日この避難者の分宿收容所たる長春公學堂に見舞ふ、市中は物々しい軍用トラック、サイドカーが砂塵をまいて疾走し、空には軍用機のプロペラーの爆音が蒼空をふるはして平穩な内にも戰時氣分が濃厚だ、公學堂は四ツの敎室に疊をつられ三十餘家族が屯して居る、滿鐵線長春附近の大屯驛を始め吉林および吉長路沿線の人達だ、永い間の粒々たる辛苦の跡も事變勃發と共に

無殘に踏みにじられた人達だ、無心にキヤラメルをしやぶる子供達、特に眞白なエプロンがいぢらしい「支那と戰爭するんだ、おぢちやん僕兵隊になるの……」匆々のうちにかつぎ込まれた家族道具にかこまれながら乳呑子をかゝへた若い人妻は語る

私達は吉林製材會社員の家族です何にも判らずに戰爭が始まるといふので殆んど着のみ着のまゝで逃げて來ました、私の夫は十三年もゐるが、斯うやつて避難するのは始めてださいつて居ります、折角築きあげた土臺も一晩のうちに

滅茶々々になつてしまひました、今までも逃げなければならないやうな排日等がありましたが今度程ビックリしたことはありません、一番氣の毒なのは小學校の生徒で勉强も手につかず怖ろしさにふるへてゐますこんな事件が子供達に與へる惡影響は大きいものと思ひます、幸に日本の軍隊が出動してあちらの治安が保てたと申しますから許可を得次第吉林に歸らうと思ひます

滿鐵の焚出　飢た子供等と一緒になつて喰べてゐるこれ等の人達の姿はなんとなく淋しい【長春電話】

三千五百名の敗走兵鮮人家屋に放火掠奪

范家溝一帶の暴狀

撫順を去る約十里の地點鐵嶺縣范家溝附近一帶に數日前より約三千五百名の支那敗兵屯し鮮人家屋に放火や掠奪を恣にし內殺害されたものもあり鮮農十二名は廿五日午後六時撫順に避難し來りその實狀を警察署に屆出でたため右事實が判明したわけである因に范家溝には鮮農約百戶五百名位居住してゐる【撫順電話】

支那側の拒絕で水災同情金激減

廿五日募集を締切る

【東京特電廿五日發】中華民國水災同情金募集は突發的滿洲の日支衝突事件で申込み幾分減じ更に民國側の慰問品拒絕以來急轉直下の激減振りで連日七、八十名の寄附者があつた東京商議の同情會本部受付も昨今は僅に一、二名と云ふ有樣だが本部では豫定通り二十五日募集を締切つた二十五日午前中迄の東京本部の同情金總額四十八萬一千餘圓で今後輸送するものを加へると五十萬圓に達する豫想だが更に各府縣等地方商議からのを合せると優に六十萬圓を突破するものと觀られてゐる

慰問船引揚げ

【上海特電二十五日發】天城丸慰問品の受取に就き支那側の回答未だなき爲め明日午後二時門司に向け引揚げに決定、深尾男も明日長崎丸で歸安する筈

大利丸をも支那側拒絕

【上海廿五日發】水災同情會深尾慰問使は慰問品贈呈につき支那側に懇談を盡した勸告をなしたが再度拒絕され二十六日長崎丸で歸國するに決した、慰問品を積んだまゝの天城丸は明日出帆門司に回航するに決した、なほ支那側は滿鐵提供病院船大利丸の引受を拒絕した

書家の贈物も一應問合はせ

【東京特電二十五日發】正木直彥、横山大觀、河合玉堂、竹內栖鳳等畫壇の一流者が發起となり我が國畫家の中折若しくは色紙百五十點を集め上海に送り展覽即賣し其の賣金全部を王一亭氏を通じ中華民國水害救恤に寄附する計畫は既報したが其の後既に七八點を完成されたが慰問品拒絕問題が起つたのでこの贈り物も亦拒絕されてはと執筆畫家の中には書き澁つてゐる人もあり問合せもあつたので事務所では廿四日王一亭氏宛問合せた

奉天電燈廠の委任經營は誤傳

高橋滿電常務歸連談

奉天電燈廠市政移管その他要務につき軍部と打合せのため赴奉中の滿電高橋常務は二十五日朝歸來したが語る

奉天電燈廠を滿電が委任經營するとの新聞記事に間違へて傳へられた爲め奉天市政公所では支那側に氣兼し氣づかつてゐましたが、あれは滿電がやるのでなく軍部の命令で滿電より人を借し現在の市政管理の下に經營する

奉天城外の暴民擊退

守備兵出動

奉天省城內の治安維持は殆んど緒に就いたが城外は殆んど無警察狀態であつて就中兵工廠の居住する大東門外は最も甚だしく暴民中に匪賊や逃亡兵が加はり晝夜の別なく掠奪が行はれてゐるが廿五日朝十時半約三百名の暴民の一隊が省城近くに現れたのでわが守備兵一個中隊急行して之を擊退した【奉天電話】

のです、バス補給の件については目下必要ないと云ふので未だ當方から車臺は送らぬことに決しました、現在城內の治安は保たれてゐますが、支那側金融機關が未だ閉鎖したまゝなので經濟活動の圓滑を期するにはなほ相當の手段を要しませう

奉天各機關に動搖制止布告

今回の事變で支那側各機關の職員は前途を憂ひ漸く人心動搖して來たので土肥原市長は從來通り職員を任用し何等變るところなきを以て安んじて職に就くやう廿五日各機關に佈告するところあつた【奉天電話】

森司令官、記者團と會見　森獨立守備隊司令官、長春特派記者團と會見―二十四日午後長春驛內の司令部にて―

戰跡見物注意

南嶺及び寬城子戰跡を見物希望者は長春憲兵分隊の許可を受けなければ如何なる者も絕對に入れざることゝなつて居るから注意されたしと【長春電話】

地方委員選擧延期を通達

その他はその儘適用

滿鐵沿線各地における地方委員選擧は時局のため延期すべく總裁の決裁を得たので各地に通達することゝなつた、選擧期日は未定であるが選擧權行使に必要なる條件即ち九月二十八日までに戶數割を完納したものに限ることはそのまゝ適用すると

血書血判の手紙で陸相の机は一パイ

各神社に參拜者激增

【東京特電廿五日發】この廿三日以來代々木の明治神宮、赤坂の乃木神社の參拜者が目だしく增加した日露戰爭生き殘りの老勇士達も早朝から明治神宮の社前に額づいて滿洲出動軍の戰勝を祈願してゐた、赤坂の小學生は乃木神社に參拜してゐる、また滿洲事變勃發以來南陸相邸に無名の志士、國士から血書血判の手紙が無數に來てゐるが何れも支那の暴戾と背信とをいきどほり軍部の斷乎たる處置を要望したもので今日に至り陸相の机の二ツの引き出しは血書の手紙で一パイになつた、南陸相は日本國民の意氣は未だおとろへぬ賴もしいものがある、この全國民の應援があればこそ出先き軍人もよくその本分を果し得るのである、實に感銘に堪へぬと語つた

全國から集る激勵の電報

內地各地の輿論湧く

今回の事變に對し內地各地の輿論は頗る硬化し、出動軍隊に對し各種の激勵電が飛び、頻りに士氣を煽つて居る、遠くは北海道、臺灣、朝鮮よりの激勵電もありその數約三百、中には「暴戾不遜の支那兵の膺懲部隊三斗の思ひあり、各位の奮鬪を祈る、滿洲の土地に流された同胞の血潮を忘れるな」軍側は右輿論を各將卒に傳へて士氣を鼓舞した【長春電話】

中國人新醫博

【東京二十五日發】醫學博士を授與された中國人實雨田氏は遼寧省法庫縣の人で今年三十四歲大正十年南滿醫學校を卒業した新進の學者である

大連醫院勤務

【東京特電二十五日發】嘗て東京帝大へ學位論文提出中の中華民國人實雨田氏は二十五日附文部大臣から醫學博士の學位を授與されたが同氏は明治三十一年一月二十一日中華民國遼寧省法庫縣に生れ大正十年南滿醫學堂卒業昭和四年四月大連醫院に勤務

拐帶店員取押

原籍青森縣北津輕郡五所川當時東京市本所區菊川町一丁目材木商久保三郞方店員佐々木憲四郞(二三)は主家の集金六百圓を拐帶して原籍栃木縣那須郡三野村當時東京市本所區柳原三丁目高樂材木商店員藤田晴(二〇)を伴ひ廿五日入港のばいかる丸にて逃亡して來たのを水上署員に差押へられたが藤田は水上署員の取調に對して橫領事件には關係ないと辯してゐる目下照會中

陸上選手權大會無期延期さる

派遣選手は推薦する

滿洲體育協會では來る十月四日午後一時より大連運動場に於て全日本陸上競技選手權及び明治神宮競技大會兩豫選會兼滿洲陸上競技選手權大會を開催する筈であつたが滿洲事件の勃發により關東州外奧地各方面に散在する選手の參加不可能となり全滿洲を包含する同大會所期の目的達成不可能となつたので同協會主事林田學氏は各役員と協議の結果同大會は無期延期となつた、因に神宮大會及び日本選手權大會には協會側で推薦の上派遣されることゝなるであらう

煙草値上は銀高から

暴利ではない

長春では銀の暴騰につれ煙草の値上げをし時節柄非難の聲を浴せられてゐるが、これに對し久米輸入組合理事は語る

英國政府にて去る廿一日突然兌換停止を斷行したため銀の暴騰を來たしこれが影響を蒙るもの少からざるも就中英米トラスト一手販賣の煙草の如きはその實價が銀建なるため華商側は何等の影響なきも邦商の如きはその仕入に金を以てしこれを金建にて販賣するがため結果に於て値上げすることゝなり今回の如きも時局に際し斯る値上げを行ふは如何にも時局に藉口し暴利をむさぼる如く見られる恐れあり、營業者としては甚だ心外に思はれるものである【長春電話】

本年流行の最新型編み物は？

三越、英國屋技藝部外一流大家考案の「新型毛絲編物」極彩色寫眞六十九種入りの美本附錄つき「婦人俱樂部」十月號を御覽下さい。

東西二班に分れ慰問袋募集

團員の熱心に動かされて街頭に應募者多し

滿日婦人團慰問袋の街頭募集第三夜―二十五日は午後七時から舊市內班、沙河口班の二班に別れて一班は伊勢町から大山通に至る浪速町筋を、殘る一班は沙河口市場附近を中心に熱心に募集にあたつたが、熱心さに動かされて一圓札や五十錢銀貨を快く寄附する、一方沙河口方面の一隊は折柄沙河口劇場に開かれてゐた慰問映畫會場に至り

觀客を相手に募集を開始したが、川島編輯局員の十分間に亙る熱辯に忽ち約百枚の袋が配布された、應募者中小學校の二三年生とも見える可愛い坊ちやんがお父さんをすゝめて三枚の袋を應募させたり、大連醫院の附添婦が家族めいくに一枚づゝといつて七枚の袋を受けとりイソくと引揚げ、又沙河口劇場のお菓子達が一人殘らず自發的に袋をもらひたいと申出でたりした事は殊に團員の心をつよく動かした、かうした團員の熱心な涙ぐましい努力と一般の眞心によつてこの夜の慰問袋募集も袋配布數約八百、現金寄附三十四圓八十錢の豐な

收獲を得て午後九時半募集を打ち切つた、かくして慰問袋の申込み多きため今廿六日は午前九時から又約二千袋を調製することになつたから團員諸姉は萬障繰合の上本社講堂にお集り願ひたい

慰問品取扱所

▲沙河口	岡榮新聞店
▲伊勢町	熊井洋行
▲浪速町二丁目	宮崎時計店
▲連鎖街	備後商會

米國在鄕軍人禁酒法反對

【デトロイト二十四日發】本日當地で開かれた米國在鄕軍人會大會で出席代表一同は一齊に我々はビールが欲しいと叫び遂に在鄕軍人會も他の禁酒法改訂要求團體と行動を共にし禁酒法第十八條修正法に關する各州の人民投票を行ふ樣議會に要請する事となつた同時にこの大會は軍人恩給證書金額卽時仕拂ひ要求案を否定したが其理由は身體の利くものが政府に財政的負擔を負はすのは宜しくないといふ所にある

埠頭荷役全休

二十六日は仲秋節で埠頭荷役作業は全休である

苦力負傷

二十五日午前五時五十分埠頭二十一番倉庫東方に鐵道線路東十一番線において寺兒溝苦力宿舍七十號居住苦力劉德補(二七)は貨物列車に刎れ飛ばされ頭部を負傷したが生命に別狀なし

無緣佛供養會

大連市役所では二十六日午後一時から大連共同墓地で無緣佛供養會を執行する

安樂椅子

滿鐵の杉本秘書役、頻々は各方面から集つてくる遠藤宛の機密電報、情報等の翻譯や發信で時局以來大抵毎晩十二時頃までゐるこのごろといふ事務繁忙さで「お疲れだらう」といふと。

……◇……

ナアに君、外務省など比較したら滿鐵なんか呑氣なもんさ、人手にうんと餘裕があるんだからね、今は何うなつてるか知らぬが日露戰爭當時の外務省の仕事なんて忙しかつたものサ、六七人で机上に山と積まれた世界各國から集まる情報、指令の電報を取扱つたもので徹夜なんか二年間程問題でなかつたよ。

……◇……

重要な情報は一々大臣が陛下に上奏するので叮嚀に毛筆で淨書して差出したものだ、そして機密文書等は今日のやうにタイピストに打たせたりしないで一々おれ達が書いたのだがそれに較べると滿鐵なんか機關も人手も揃つて居り有難いものさ。

曙の鐘（60）

倉田潮
河野想多畫

淺草の夜（七）

淺駒と春木とは本當に事務員風の女を一人づゝ與へられて、小部屋に引きあげた。春木の女はまだ子供みたいなよし子といふデパアトに出てゐる女だつた。そのデパアトは上野や本郷邊では可成り有名な大きい店で、女店員も三百人から使つてゐるところだつた。

「私、五十番てのよ。胸に五十番て番號をつけてるから店ではさう呼ぶのよ。今度店へ電話かけて五十番て呼んで下されば何處へでも行くわ」

さよし子は語つた。春木は冗談のやうに訊いて見た。

「何うして君は晝務めをしてるのに、夜までこんなことをして働かうつて氣持になつたんだね」

「面白い上に御金がされるからよ」

「そんなに御金をとつて何うするんだい」

「使ふのよ」

「何に？　御母さんにでもやるのかい」

「ママは國にゐるのよ。私一人で東京に逃げて了つたんだから、家なんか何んな風になつてるか知らないのよ。だから私、家になぞ金をやりはしないわ。自分一人で自分の若さの爲めに使ふのよ」

「若さの爲に金をつかふ――そんなことつまんないぢやないか」

「でも、愉快にいろくな男の人と其の日其の日の戀をして、御金を貰つて歸るんでせう。つまり若さの爲めの不勞利得みたいなものぢやないの。だから私、それを自分の若さの爲にバラまいてやるのよ」

「ぢや、こんなとこへ來ることを少しもいやだとは思はないんだね」

「いやだなんて思ふもんですか。古いわれ、おぢさん。私、これでも震災直後の新しい女性だわよ。古い女はにんじんしてこそ、卑屈なしつこみ思案な人間になつて了つたんぢやないの。だが、僞りながらこの私は、貞操なんてものゝいらない時代に生れついた女なのよ。小蝶のやうに戀をして、小蝶のやうに樂しくいろくの戀をして、小蝶のやうに悔ひもなく死んで行きたい――これが私の考へなのよ。どう、おぢさん、その氣持が解つて」

春木は返事も出來なかつた。初めは誇張して云つてゐるのだらうさ思つてゐたのに、だんくしてゐるさ誇張ではなく地金であるらしいことが解つて來た。この女はたえ子とは反對な女であり、あけみとも大變違つた處があつた。或は新しい日本の地から生れて來た最も新しい女ではないかと春木は考へるのだつた。このよし子から見ればたえ子やあけみなぞは染ふにたへた人間であるかもしれなかつた。しかし、春木から云はせれば彼自身が舊式な人間である爲かもしれないが、貞操の片影をも止めないこのよし子を愛する氣持にはなれなかつた。

朝早くその女達は忙しげに家に歸つて行つた。春木と淺駒とはその家を出てかうしらけた氣持を醉ひにまぎらさうさ、店を開いてゐるバアや小料理を見つけて歩いたが、朝が非常に早いので起きてゐる家は一軒もなかつた。で、吉原歸りの客を相手の丸ぢよう屋に行つて、そこで朝酒をのみ初めた。醉に語つてゐるたきたないやうな氣分が醉ひに洗はれて消えて行くのがよい心持だつた。二人は盃を重ねた。

醉ひが廻つて來るさ、春木は寢不足の爲か妙に狂つたやうな氣持がして來た。昨夜淺駒があんな話をして最後に剛太郎のもとへ訪れて行くさ云つたが、その結果淺駒が剛太郎を殺して了ひはしないかさも彼は思つた。が、すぐ其の變な臆ひすぎを彼は恥じて消して了つた。さ、今度は淺駒でなく自分が大山邸を訪ねて行つて、心ゆくまで怒りを漏らして來たい、己こそ最もそれを云ふ可き位置にある人間だと思はれて來るのだつた。

あけみ　たえこ　春木　五十番の女

滿日俳壇

蟷螂

大連 吉元 汀雨

蟷螂の登りつめたる芒かな
蟷螂に草刈鎌の光りけり
蟷螂や拔き倒されし蕁草
蟷螂の道塞ぎたる子供かな
蟷螂のはれ飛ばされしゴルフかな
蟷螂の脚折られしが哀れなり
蟷螂や草深き庭の朝じめり
蟷螂の卷き込まれたり草刈器

大連 阿部 天潮

蟷螂の生れてありし草の上
蟷螂を見失ひたる草の中
蟷螂の風に跳りて飛びにけり
蟷螂の水に落ちたる嵐かな
蟷螂や若草山の上り道
蟷螂の飛び戻りたる草穗かな
蟷螂や草の中なる醒ベンチ

大連・高木 春蔭

蟷螂や絶えてはつゞく野の徑
戰跡の徑細々さ蟷螂かな
蟷螂の登りてゐたり道しるべ
蟷螂の草に逃げ入る野路かな
蜈蚣飛ぶ野に蟷螂もゐたりけり
風に搖る蔓草に渡る蟷螂かな

奉天 田中 扇浦

蟷螂にざるゝ小犬や朝の庭
若竹の葉先たわめていぼむしり
朝露の糸瓜の蔓やいぼむしり
落ちんさす桐の一葉のいぼむしり
刈草の上に蟷螂一つかな

大連 北斗

利鎌立て黍の葉上る蟷螂かな
秋風に蟷螂の腹重たけれ
蟷螂のしばし憩ふや石祠
蟷螂の鎌磨ぎすます草の露

大連 筧 鳴鵰

糸瓜棚蟷螂に風のありにけり
蟷螂の構へて見たる小蜂かな
草深し蟷螂はたさ鎌の柄に
大蓼の葉込みに入れり子蟷螂

大連 宇都宮嵐翠

蟷螂のさりすがりたる露の草
ひつかつぐ刈草に這ふ蟷螂かな
蟷螂や草のそよぎのまゝにあり

旅順 村上 壽春

蟷螂のさまる葉裏や秋の風
蟷螂のさまる垂穗や秋の風

奉天 園部 紅花

蟷螂の黄ばみし萩に露光る

滿日俳壇募集規定

次回課題「秋の雲」「栗飯」「大豆」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切十月五日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投稿先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

新刊紹介

▲上海週報（八百七十六號）價二十錢、上海北四川路永安里一〇八六號上海週報社
▲無線電話（九月號）價五十錢、東京市日本橋區通一丁目一日本無線電話普及會
▲週間極東（第二二五號）價二十錢 大連市但馬町三十三番地極東週報社
▲滿洲評論（第三號）南京政權の行路難（橘樸）資本輸出の考察（林右近）中國に臨む我等の指針（宮志英夫）誰が中村大尉を殺した（小山貞知）價十錢、大連市山縣通大倉ビル滿洲評論者
▲農業の滿洲（九月號）價三十五錢 大連市紀伊町八十五滿洲農事協會
▲支那（秋季特輯號）價四十錢、東京市芝區南佐久間町一番地東亞同文會調査編纂部
▲棋道（九月號）價五十錢、東京市麹町區永田町二丁目一番地日本棋院
▲聯珠の友（九月號）東京市外日暮里町金杉七七二聯珠の友社
▲ナップ（九月號）藝術的方法についての感想（谷本清）プロットの新らしい任務と新しい組織方針（村山知義）創作、旱魃（宮本顯治）綿（須井一）解氷（ゴループノフ作、湯淺芳子譯）價三十五錢、東京市外落合町其社發行
▲赤色建設（創作號）ミュンツエンベルグ編輯、五ケ年計畫は成功するか？（ミュンツエンベルグ）モスコウの大逆事件の裁判（ロイド、ジョージ）價二十錢、東京市神田區西今川町五番地南蠻書房
▲中央佛教（九月號）價三十五錢、東京市牛込區矢來町五七番地中央佛教社

けふの放送

大連 JQAK

九月二十六日午後六時五十分
▲ニュース
▲獨逸語講座「テキスト第二十一課」大連語學、講師萩榮
▲レコード「胡桃割り」組曲（チヤイコウスキー作）
▲講談「義士の勢揃」（東京）桃川燕林
▲筑前琵琶「橘中佐」法日山田中旭帥
▲ラヂオ體操
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲臨時ニュース

東京 JOAK

九月二十六日午後六時三十分
▲講演「中村大尉及井杉曹長を憶ふ」參謀本部第一部長建川美次
▲放送舞踊劇「二人袴」（日比谷公會堂より）場景「住吉左衛門宅の場」高砂伊兵衛（松本幸□郎）住吉左衛門（坂東三津五郎）伜馬之助（中村福助）妻老松（藤間勘吉郎）家來鈍太郎（同藤之助）娘雛菊（中村小太郎）義太夫（豐竹巖太夫外）常磐津（常磐津文字太夫外）清元（清元梅吉外）長唄（吉村伊十郎、杵屋榮藏外）地唄（美問まさ外）鳴物（望月太左衛門外）
▲室內樂「チエロとピアノ二重奏」（一）ソナタト短調第二（ベートーヴエン作）（二）ユダス、マッカバイウスを主題とせる變奏曲（ベートーヴエン作）チエロ（ハインリッヒ・ウエルクマイステル）ピアノ（レオシロタ）

▲婦女界十月號　「女性の生活打明話號」は、斷然他誌をリードする賑やかな編輯である、先づ第一に驚かされるのは、第一附録「秋の御買物案内」第二附録「婦女界ノート」卷末大附録「病氣の回復を早める病人料理」さの附録三つも添えたことである、そのいづれもが、婦人の實生活にスグ役立つもの揃ひであることも、流石は實質本位の婦女界である、殊に卷末附録の「特輯病人料理」は一流權威十五博士外專門家が、場合によつては、藥よりも食餌療法が緊急必要なことを力說し、獻身實例を示したもので、病者の有無に拘はらず一般家庭でぜひ一讀すべき名附録である。
本文特輯「生活線に躍る彼女達には、女優、ダンサー、マネキン女給等々、凡そ現代を語る男女性の知られればならぬ、新職業女性十三人の生活表裏を大膽に發表し、近代人の感覺さ興味さを巧みに捉へてゐる、先頃問題となつた昭和天一坊事件を、戯曲「松平博士」さして、呼物さしたのは氣が利いてゐる。作者は際物上手の竹田敏彥氏で、彼のインチキ博士ぶりか躍如、七十枚の長篇に遺憾なく暴露されてゐる、探偵作家の第一人者甲賀三郎氏が、本號から「山莊の殺人事件」を連載した。今まで本當の意味での婦人向き探偵小說がなかつた。これはその最初のものである。ぜひ一讀したい作品である、この外「姉弟愛に甚きる英百合子と中野英治」「世界的嫉妬危機に立つた私」「生命拾ひをした川美子孃」等の興味讀物「生活の話」等婦人の實生活に役立つ實話手藝料理記事等はち切れる程滿載してゐる（特價六十錢、送料四錢牛、東京婦女界社發行）

（日刊）　（明治卅八年十月二十五日第三種郵便物認可）
滿洲日報
夕刊
九月二十五日
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

アメリカ、日支兩國に軍事行動中止を要望
條約には觸れず抽象的

【ワシントン廿四日發】スチムソン長官は二十四日日支兩國の軍事行動の速かなる中止を要望する通牒を作成しこれを日支兩國駐在米大公使に電送し兩國政府にそれぞれ傳達するやう命令し別にこの寫しを駐米日本大使及支那代理公使に送達した、その正文は日支共同文のもので豫想された不戰條約及九ケ國條約なる語は一も含まれて居らず抽象的なものである

米政府通牒の內容

【ワシントン二十四日發】日支兩國へのアメリカ政府の通牒內容左の如し

アメリカ政府及び人民は滿洲において過去數日間に發生せる諸事件につき如何の狀を重大なる關心を以つて注視し來れり、右事件は數個の關係條約存在しアメリカ自身その若干個に加盟し居る事につき日支政府においてこ注意を喚起せられん事を希望す、これ等諸條約は紛爭を干戈に據る事なく妥當に處置する目的を以つて作られたるものなるを以つてアメリカの希望を述べ**兩國がその軍隊をして一層大なる軍事行動に出づる事なからしめ且つその武力をして國際法規及び國際協定を滿足せしめ又穩和手段によつて達成し得べき紛爭處理を困難ならしむる惧れある如き行動を執る事なからしむるやう適宜の處置を執られん事を期待**する旨表明するはアメリカ政府として是認せらるべきものと思ふ

第十六聯隊吉林へ

步兵第十六聯隊は二十五日午前八時三十五分列車で吉林警備のため長春を出發した【長春電話】

聯盟の調査に不參加
ス長官、出淵大使に言明

【東京特電二十五日發】國際聯盟理事會は滿洲事變實情調査のため**在支米國武官を調査委員としたいとの提議に**つき出淵大使は二十三日午後スチムソン氏と會見の際米國政府の意向を質した處スチムソン氏は國際聯盟より非公式相談を受けたが自分は**滿洲における日支間の實情を熟知し居るから斯かる提議は不適當と信ずる**と述べたので出淵大使は更に今回の事件は全く事變にして**第三國の干涉には絕對反對する**旨を敷衍した處スチムソン氏も之を諒とした

經過說明

【ワシントン二十四日發】出淵駐米大使は二十四日[illegible]れて米國務長官スチムソン氏を訪ひ滿洲事件の經過を說明した日本軍の行動に關し種々意議が傳へられてゐるが日本軍は決して長春以北に進みたることなく滿洲の秩序回復と共に近く原駐地へ歸還するはずである、なほ滿洲の事態はその後に程緩和したと信ずる

聯盟との關係上勸告
米國務長官が諒解を求む

【東京二十五日發】出淵大使より外務省への公電によればスチムソン米國務長官は二十三日午後出淵大使の來訪を求め只今ジュネーヴの聯盟理事會よりアメリカ政府も日支兩國に對し理事會と同樣の勸告をなされたいとの要請を受けた、**アメリカとしては斯る公式の行爲は差し控へたいが**聯盟との關係上且つ勸告は日支双方になされるもので**日本の面目を潰すといふ譯でもないから右勸告をなす事にするがアメリカの意のある處を誤解されぬやうされたい** 勸告文は目下起草中だが理事會と同趣旨であつてアメリカは日本の立場を考慮し用語等にも愼重注意してゐる勸告文は二十四日中に手交するであらうと述べて出淵大使の諒解を求めたので出淵大使はこれを諒とし、進んで第三國の駐支武官を以て實地調査委員會を作るとの案には絕對反對であると述べて會見を終つた

事變の實情を通牒
芳澤大使がけふ聯盟に

【ジュネーヴ廿四日發】芳澤大使は本日午後聯盟に通牒を送り誇大に傳へられてゐる滿洲事變につきその實情を明かにした

一、日本が青島、芝罘を占領したとの噂は事實無根
二、日本海兵の支那領土に上陸した事實なし
三、在留日本人の保護につき支那官憲に請ひつゝあるも萬一に備へ南京在留日本婦女子に對しては上海に引揚準備中
四、日本軍が無數の都市を占領したとあるは虛報で日本軍は長春以北に進出せず又滿鐵防備上必要とする吉林派兵も同地平靜に歸すれば長春に歸還し日本軍は全く滿鐵沿線に集中されてゐるその總兵員は一萬五千名にして條約の規定を些かも越ゆるものに非ず
五、奉天市政管理は一時的のものである、沿線都市は支那當局が日本軍司令官と圓滿な關係を保つて市政に當つてゐる
六、事態平靜に歸せば緊急措置を解除す、蓋し支那側の妨げなき限り速かに原狀に復せんことを期す
七、いづれにも軍政を布いたことなし

わが聲明を聖上陛下に奏上

【東京二十五日發】滿洲事變に對する帝國政府の中外に發する聲明書は二十四日夜の閣議にて決定したるにつき政府は取敢ず侍從長を經て聖上陛下に奏上するところあつた

聯盟理事會への回答
わが軍の行動は自衞の程度
出動部隊概れ附屬地に復歸
＝けふ外務省公表＝

【東京特電廿五日發】外務省公表九月二十三日東京に到着せる國際聯盟理事會議長より通告に對する回答として帝國政府は九月二十四日在ジュネーヴ帝國全權を經て左の通り理事會議長に申し送りたり

一、理事會議長通告の第一點に關しては事變發生當初より**わが軍隊はその行動を居留民の安全、鐵道の保護及び軍隊自體の安固に局限してをり、また政府としても終始事態の惡化擴大を防ぐ方針を堅く持しをる**とともに、日支兩國間における交涉により本件の平和的解決を一日も速かにせんことを念じをり、今後もこの方針を變更する意思毫末もなし

二、なほ通告第二點は日本軍隊は現在[illegible]れ鐵道附屬地內に復歸しをり鐵道附屬地外としては警戒の必要上吉林並に奉天城內に多少の部隊及び數ケ地點に兵員を止めをるも右は何れも軍事占領にはあらず、即ち右は**在留邦人の安全及び鐵道保護の必要範圍內の最大限度にまで撤退しをるものにして**事態今後の改善に伴ひ更に能ふ限り鐵道附屬地に復歸せしむる方針なるを以て右日本政府の誠意ある回答を信頼ありたし

米長官覺書眞意
わが政府の解釋決定

【東京二十五日發】アメリカ國務長官スチムソン氏より出淵大使に手交した滿洲事變に關する書附（非公式覺書）に關して二十四日夜の臨時閣議にて幣原外相より報告あり意見交換の結果右書附の內「今後事態を如何に導き如何に淸算するかは重に日本政府の責任なり」とあるは『**事態を淸算するは日本政府も責任あり**』といふのであり「兩國の實力行使の結果生じたる事態により特殊の目的達成に利用する意思なきことを希望す」とあるは日本政府としては自我的野心のなきやう希望せるもので若し滿洲問題解決をこの點に含めたものとすれば滿蒙問題は條約上又は他の正當なる權利義務の間に起つたのでこの點につき特にスチムソン氏が意見を挿むべきはずはないが滿蒙問題の解決を本事件に依つて行はんとすることに一旦反對せる如く誤解される虞あり該問題の眞意は帝國政府の自我的野心即ち領土的野心についてスチムソン氏が意見を發表したものと解するに意見一致した

連日臨時閣議

【東京二十五日發】政府は滿洲事變に關する國際聯盟の動き並にこれが善後策が漸次重大となつて來たので二十五日の定例閣議に引續き二十六日以後も毎日閣議を續開しこの重大時局に處する萬全の策を講ずることゝなつた

地方問題として交涉
張學良氏側近要人の意見

【北平二十四日發】張學良氏の側近者は左の如く語つた

學良氏は滿洲事件を飽まで奉天政府の地方的問題として北平で解決せんとの意志を有し既に顧維鈞、湯爾和、曹汝霖氏等の東北外交委員會委員にその準備を內命した、しかし一方昨日萬福麟氏を南京に派し蔣介石氏に學良氏の意志を傳へ出來れば王正廷氏の來平を請ふたが蔣介石氏はこれを婉曲に謝絕した模樣で萬福麟氏は蔣氏の隔意なき意見を聽取して今日午後三時よりこれを中心に重要會議が開かれてゐる

香港英官憲警戒

【香港廿四日發】支那暴民三百名の日本商人襲擊事件は總領事館より英官憲の取締を要求した結果目下は表面平靜を保つてゐるが、何時暴動再發するやも知れぬので當分日本小學校を休校するに決定した

寫眞說明

（1）廿四日滿鐵線路爆破現場視察の外人記者團（2）同上日本記者團（3）爆破されたレールの破片（4）爆破犯人死體處置に關する軍司令官の告示

立、監兩院會議
決議十四項を可決

【上海特電二十五日發】立法、監察兩院は二十四日連席會議を開き

一、南京、廣東兩當局協議の上、上海に緊急救國會議を開く事
一、事變關係の外交官懲罰
一、黨務に關する紛糾解決
一、政治會議を取消し中央執行委員會が政權を行使する事

其他蔣介石氏政府彈劾の決議等十四項を通過したが廣東との妥協愈々現實の道程に上つて來た

重慶沙市兩地形勢惡化

【上海廿五日發】某所着電によれば重慶の形勢惡化し在留民は軍艦比良に避難した沙市でも軍艦堅田に避難準備中我當局では兩地の形勢緩和せずば居留民は漢口に引揚げしめ同地で保護する方針に決定した

上海各團體の反日ぶり

【上海特電廿五日發】滿洲事變の逆宣傳に呼應して地方各團體の對日宣戰布告を主張した向ふ見ずの宣言通電が續々發表されてゐるが當地抗日救國會は二十四日の會議で經濟絕交徹底につき協議し市黨部も日本軍隊驅逐請願、全黨員義勇軍參加、現地交涉反對等三十餘案を決議し、全國商會聯合會も所屬團體の對日絕交を決議し又大學救國會、中等學校學生救國會も滿洲動員に男女學生は鐵砲と繃帶を持つて參加を決定、國貨維持會其他各同業組合も[illegible]宣言を發表新聞を賑はしてゐる、尙海軍部上海兵工廠も日本品買ひ入れ停止を發表した

支那各學校開校要請

全遼寧省教育廳長は支那の各學校の急速なる開校を欲し資金職員教員等と謀りわが市政當局に要請するところあつたが教科書その他教材中に多數の排日的資料あり根本方策確立するまで回答を保留する模樣である【奉天電話】

蔣の外交失敗が滿洲事變の主因
廣東、孫科氏の聲明

【廣東廿四日發】廣東政府孫科氏は滿洲事件につき左の聲明を發表した

和平は吾人の最も望むところだが蔣介石の下野が絕對的條件だ滿洲事件は列强の支那侵略政策に因るものだが**蔣介石の外交失敗が主因**である蔣介石は表面日本に好意を示しながら一方記念週では數回に亘つて叫び往年軍隊編遣に際しても「余が十箇師の兵を持てば日本を擊つに充分だ」など、閻錫山、馮玉祥及我等に廣告したことあり、一國の元首として正氣の沙汰とは思はれぬことを平氣で廣言してゐる、日本擊つべしといふ思想や言動はとうの昔日本に見拔かれてゐる**蔣介石が國政に參與する間日支の融和出來ぬことは斷言出來る、滿洲における張學良の排日政策も實は蔣介石の煽動指揮に因る**ものである、蔣介石に盲從した張學良にも罪がある支那を危機に導いた元兇は蔣介石その人だ、故に我等は**蔣介石を除外した擧國一致政府を造つて滿洲事件の後始末をなし國を救はねばならぬ**

遼寧省政府を錦州臨時設置する
張學良氏から命令

【北平二十五日發】張學良氏は二十四日附を以て東北邊防軍司令長官公署及び遼寧省政府を臨時錦州に設置すべく命令を發した

守備第六大隊鄭家屯へ

洮南方面危機迫るの報頻りに到り長春にありし獨立守備隊第六大隊は二十五日午前二時四平街に到着直に四洮線に乘りかへ鄭家屯へ向つた【四平街電話】

森司令官はけふ四平街へ

獨立守備隊司令官森中將は幕僚とともに二十五日午前八時三十分發急行で四平街へ向つた【長春電話】

滿鐵現業員を四洮線に派遣

長春にて命を待ちつゝあつた滿鐵々道部現業員中三名は二十五日四洮線派遣を命ぜられ午前八時三十分發急行列車で任地に向つた【長春電話】

日本の爆彈で米人慘死
支那側捏造宣傳

【サンフランシスコ廿三日發】ベルリン着電として當地へ達した報道に、日本軍が投じた爆彈でアメリカ人三名が奉天で慘死したとありアメリカ各地の新聞にれいれいしく報道してゐる、右は米人の對日感情を惡化せしむるためになした支那側の宣傳と觀らる

事變調査の米國武官歸津

日支衝突事件調査の爲め去る二十日入港の貴州丸にて天津より來連した米國武官ウエセルズ、コルビー兩大尉は二十一日出帆の天潮丸にて安東に赴き同地の日支衝突狀況視察の上再び二十五日午前五時入港の天潮丸にて大連へ戾つたが兩大尉は直に大房身に赴き我が軍の兵舍を視察した、二十六日午後四時出帆の天潮丸にて歸津の筈である

人事

▲楝居俊一氏（拓務省殖産局事務官）二十五日午前八時入港のばいかる丸にて來連
▲日下辰太氏（關東廳殖産課長）同上歸連
▲龜本莊一氏（三井物産大連支店員）家族同伴來連
▲石光眞臣氏（豫備陸軍中將）吉井清春氏同伴同上來連ヤマトホテル宿泊
▲今井容氏（大連醫院病理科長）同上歸連
▲ボナビタ中佐（佛國北平公使館附武官）二十五日午前十一時半入港の盛京丸にて天津より歸連
▲ブエスチ航空少佐（佛國公使館附武官）同上
▲金丸富八郎氏（奉取信託專務）新任挨拶のため二十五日市內關係方面歷訪
▲柳生龜吉氏（東亞土木專務）同上

洮南居留民の危急迫り 刻々惡化し死の覺悟
賊團は滿鐵公所附近を包圍中
四平街に救援電話

洮南支那側有力者は日本軍の入城を滿鐵公所に對し懇請したが、滿鐵洮南公所は目下支那側の暴擧に對し自衛的態度を持するため準備中である、河野洮南公所長は電話を以て〻四平街憲兵分隊長に對し洮南居留民の危急をつげ左の如く悲壯な決意を示した

今や賊團は公所附近を取り圍み形勢刻々惡化し公所に集合せる邦人は何れも死を覺悟してゐる【四平街電話】

屯墾軍の兵變

洮南では興安屯墾軍に兵變起り在留邦人の危險が迫つて居る【四平街電話】寫眞は洮南滿鐵公所

羽山支隊洮南を占領

今曉二時鄭家屯を出發した羽山支隊は午前九時四十分洮南を占領した（四平街電通）

東支西部線の邦人は 敗殘兵を極力警戒
札免公司の婦人六名 死を決し殘留

【ハルビン特電廿五日發】滿洲里ハイラル方面の邦人は今の處は安全なるも屯墾軍が潰走せば何時如何なる敗兵の掠奪あるやさへ不明に戰々兢々としてゐる、札免公司には婦人一團六名の邦人が今尚時局を外にしてそのまゝ住み若し暴民のため慘殺されるもこれが運命だと悲壯の覺悟をなし殘留せる有樣で西部戰線異狀なしとはいはれぬ狀態にあり、チチハル在留邦人は支那官憲と連絡をとり萬一の場合に對する善後策を樹てゝ居るも危險は洮南方面における敗殘兵の處置を如何にするかにある

馬賊に怯えて 地方民避難
長春附屬地に入込む

長春を中心として附近一帶は仲秋一節を迎へる準備のため馬賊の大襲撃が豫想され人心恟々として豪農その他地方支那人で附屬地内に引上げるものは少くなかつたが日支衝突のため軍憲の移動及び警戒が嚴重を極めたため流石の馬賊も附屬地及び鐵道沿線附近から伊通縣その他の濟隊の地方に逃走姿を消した、しかし收入のなかつた彼等

暹羅兩陛下 明日御來朝

【東京二十五日發】暹羅皇帝、皇后兩陛下には米國よりの御歸途二十六日朝横濱入港のエムカナダ號で再び御來朝同夜箱根富士屋ホテルに御一泊二十七日名古屋日暹寺に御參拜の上御入洛御覽次いで京都の秋色を愛でさせられ二十八日夕刻神戸發のカナダ號で御歸國の途に就かれる御豫定である

哈市避難者 續々南下
けさ長春通過

廿四日二回に亘つてハルビンより避難して來たもの及び廿五日午前

事變の調査に 佛國武官來連

日支衝突事件を調査すべき要件を帶びて佛國公使館附武官ボナリタ中佐、フエスチ航空少佐の兩氏は廿五日午前十一時入港の盛京丸にて天津より來連したがボナリタ中佐は船中にて語る

調査の職務を以て來ましたので御訊れの日支衝突について何等意見を發表出來ないのは遺憾です私共兩名とも昨年十月赴任した許りで支那事情は詳しく知りません今晩九時半發列車で奉天へ行き關東軍司令官に會つた上行動を決定しますが今のところ何處まで行くか判りません、旅順も都合によつては見物してみやうと思ひます

內地の輿論は 益々强硬だ
對支國民同志會の 石光中將けさ來連

對支外交强硬論者として對支國民同志會をつくり各地に遊說中の豫備陸軍中將石光眞臣男は吉井清春氏を同伴二十五日午前十一時入港のばいかる丸にて來連したが船內に訪へば語る

總理大臣に會ふため一船遲れて了つた、最初のプランはハルビン間島まで行くつもりだが、時局が突然變化したから豫定通り巡るかどうか分らない、內地に於ける對支外交輿論は衝突前から頗る强硬であつたが、僕等の同志會も他の同志團體と聯合會を造つて西に東に說いて廻つた一般言論機關も擧げて目下强硬論を說いてゐるが十八日に大阪の紙面も最近は俄然强硬論に傾いたらう、僕等の主張はこの時局に際して變ることなく今後も益々論旨を强調する筈で衝突の現場を詳細調査して歸るつもりだ、大連には二日滯在の豫定で關東長官、滿鐵總裁を訪問する

六時三十六分着列車で避難して來たものは引續き八時三十分發列車で更に南下したが大部分は大連經由內地に向ふもの、如くである【長春電話】

撫順の鮮農 鏖殺計畫
守備隊急行

撫順炭礦搭連のすぐ近く小甲邦部落から遙か張家甸子部落一帶の支那部落民が今回の日支衝突事件の報復手段として槍その他兇器を準備大集團を組織各所に潜伏せる一方逃亡兵と氣脈を通 撫順縣下各所に散在する鮮農鏖殺計畫を巧なる方法を以て進めつゝありとの情報達し撫順守備隊では廿四日午後零時三十分中島曹長は兵三十名を引率現場に急行したがその成行は頗る注目されてゐる【撫順電話】

は極度に手元不如意のため高粱刈入れ後いはゆる市內潜入後の活動が思ひやられる、從つてこの冬なごは日支人の最も警戒を要することだらうと豫想されてゐる【長春電話】

敗兵討伐懇請

武裝の儘逃走した吉林兵の一部は吉長線の九站驛の下流に現はれ掠奪や婦人への暴行等を恣にしてゐるため二十四日當地方住民よりこれら逃亡兵士の討伐方をわが軍に懇請して來た【長春電話】

新臺子に鮮人 多數避難

新臺子附近には朝鮮人が相當避難して居る模樣である【奉天電話】

安東から支那 人避難し來る

日支衝突事件のため鮮人の襲撃を怖れた安東在住の支那人百二十五名は二十五日午前五時入港の天潮丸にて大連へ避難して來た、一行は婦女子が大部分で便船で天津へ歸るものであるが、稅關吏三家族

天津平穩
巡警は自發的武裝解除

二十五日午前十一時、津より入港の盛京丸にて來連した在天津內外化學肥料公司員中條浩造氏の齎す始め大部分は商人家族である

ところによれば目下天津は至つて平穩に在留邦人は頗る落ちついてゐる、寧ろ支那側で事件勃發をおそれて廿三日日本租界に接した處にある支那巡警に對して公安局より全部銃器彈藥を取り上げ自發的に武裝解除をなして彼等の輕擧を戒めて居る有樣である

陣中の閑日月
コスモス咲く裏庭で 日燒した頭に剃刀
朗らかに明けた吉林の朝

【吉林特電廿四日發】二十三日朝吉林を大丈夫と見て長春に引返した記者（五百旗頭特派員）は形勢惡化せりとの本社の電命で休む暇もなく、そのまゝ午後二時長春發列車で再び吉林の地を踏んだ、幸か不幸か遂に砲聲を聞くこともなく、外面的な平穩さのうちに其日は暮れた、無氣味な緊張味は街一杯に漲れてゐた、本社への通信を終へて午前一時寢舍に歸り寢に就いたのは三時であつた、犬の遠吠えの聲にねむり二十四日午前七時に起床十八日以來甫めて取ることの出來た安眠であつた、同夜の兵士も漸く常の氣持に返つたかコスモスの咲き亂れた裏には戰友互に撥け合つて日燒けした顏に洋剃刀を當て合つてゐる、松花江から吹き來る風と溫かな秋の太陽が兵士の身體一杯に降りそゝいでゐる、何處から來たのか一、二人の支那人散髮屋がやつて來た、玄關横の部屋で二十名餘りの兵士達がその支那人に理髮をさせた、ヂヤリ〳〵と支那人の手がスラ〳〵と運ぶ、思はぬ儲けに床屋の顏も晴れやかだ、事件突發以來不眠不休の活動を續けてゐた、宿舍の主人濱田滿鐵公所長も「昨夜やつと甫めて靜かに五時間餘り眠れた」と朗かに語り乍ら洗面所にやつて來た「ホツト一息」それが二十四日朝の吉林での或風景であつたが、しかし武裝解除は完全には終了してゐない、前途の樂觀は未だ許されたものではなく、無氣味な殺氣未だ去りやらぬ在留邦人は軍隊の駐屯を心から熱望してゐる【廿四日吉林滿鐵公所長宅にて】

大連中等學校 聯合體育會
廿六、七兩日に擧行

廿三、四兩日大連及び旅順にて擧行する筈であつた關東廳州內中等學校體育大會は時局のため中止したが大連市內にある大連一中、大連二中、大連商業、大連商工の四校では廿六日午前九時より大連運動場（陸上競技、蹴球、排球、籠球）及び二中（庭球）で二十七日午前九時より一中道場（武道）で聯合體育大會を擧行することゝなつた

けふ招魂祭
忠靈塔前で執行

大連中央公園內忠靈塔の秋季招魂祭は廿五日午前十時三十分より執行された、境內には紅白の長旗五色の吹流しなど空高くへんぽんと飜へり祭壇には辛島民政署長、永井市長代理、在鄕軍人分會、傷兵會寄贈の榊、その他供物が供へられ式は修祓より始まり水野齋主の祝詞に次いで永井祭典委員長、辛島民政署長、山西滿鐵總裁代理、遺族總代、その他の玉串奉獻あり、田中前大連市長、村井商工會議所會頭、各中等小學校生徒、警察、消防、在鄕軍人等多數の參拜もあつて非常に賑はつた【寫眞は式場】

不逞鮮人 投獄
撫順の檢擧

わが軍が吉林占領以來在吉不逞鮮人の根本的撲滅を期するため檢擧を續けてゐたことは旣報の如くであるが二十四日までに約二十五名を逮捕支那監獄に投獄した、但し頭目と稱せられる連中はいち早く逃走した模樣である【長春電話】

破獄强盜射殺

二十五日午前六時奉天監獄在監中の强盜犯人二十六名破獄し護衞巡警の携帶せる銃二挺と彈藥四十發を奪取逃走した、わが警備隊は直に追跡九名を射殺し殘餘は目下搜査中【奉天電話】

糧棧解放强要

奉天省城內外の貧民は市政公署並に總商會等の民間團體の處置宜し

滿日婦人團員へ
慰問袋街頭募集 今夜限り 奮つてお參加下さい

舊市內は午後七時本社參集
沙河口は同七時市場前參集

沙河口工場で 慰問袋を發送

沙河口鐵道工場內在鄕軍人團、社員會、青年聯盟、修養團、かすみ會外各種團體は慰問袋募集に奔走せる結果豫期以上の成績を擧げて二十四日午後十時混保貨物として二十四梱を整へ各團體代表者十餘名これに携行して奉天に向け出發した

天津まで 遡航

大連汽船會社の天潮丸は從來天津行の場合も白河の航行不便のため塘沽まで航行するのみであつたが天津總領事の希望を容れ、來る十月二日、同六日の二航海から時局柄危險ではあるが、試驗的に天津まで遡航することになつた

●●●●●日吉の値下斷行　市內浪速町日吉商店では創業二十六年來の大値下を斷行し去る二十日から三十日まで靴鞄の賣出中であるが思ひ切つた値下で賣行頗る良好である

●●●●●甘栗の一粒撰　甘栗太郎本支店では今年の一粒撰新栗を例年の通り賣出を開始し同時に內地方面への小包送りも引受けてゐるが土產には好適品として好評を博してゐる

慰安車を改造 し中間驛巡廻

滿鐵の秋季慰安車は時局の爲め十八日以來公主嶺に停めてあつたが中間驛の物資不圓滑で從業員家族が不便を忍んでゐるのに鑑みて慰安車を改造し活動寫眞其他の娯樂機關を一切中止し白米罐詰其他の必需品を積込み物資配給車として先づ奉天以南から始めて各中間驛を巡廻させることゝなりこれが爲め消費組合から木村理事が二十五日急行した

巨流河驛襲擊

北寧線巨流河驛附近を廿四日朝五十名の敗殘兵が驛を襲擊し旅客の金品を强奪した旅客の大半は奉天に引返した【奉天電話】

馬賊克戎拿捕

營口、田庄臺を襲擊した馬賊は年頭の支那娘四五名を拉致して逃走したが、遼河の上流河口子に於ては七十名の馬賊戎克四十隻を拿捕し戎克の航行の咽喉をやくして居る【營口電話】

きた傳樑棧からの給與又は安價のため何れも愁眉を開いたが、大西門外の故張作霖の遺れる三畬糧棧はこれ等の膏血を絞つて多年築き上げたるものなれば同所の貯藏米を解放施與すべしと執拗き當局に强要しつゝある【奉天電話】

天氣豫報
二十六日 南西の風（晴）一時曇

各地溫度

	廿五日午前十一時	廿四日最高
大連	二五、五	二三、九
旅順	二五、三	二六、二
營口	二六、〇	二五、五
奉天	二九、〇	二五、四
長春	二八、二	二六、二

滿潮（午前十一時三十分 午後十一時）
干潮（午前四時三十五分 午後四時三十分）
けふの小洋相場（正午）金百圓は二三八圓一五錢

暗流阿修羅館（195）

生田蝶介

挿畫　藤井耕達

水路（七）

「それはめづらしい」奉行はつくづく新左衛門の顔を見て「實は私も久方ぶりに行つた」「話には聞いて居りましたが、あれほどまでによいところとは思ひませんでした」「氣に入りましたか」新左衛門は一寸眩げにして、笑つて「あれなれば、また行つて見たくなります」「さうであらう、誰も同じぢや、どうですな、これから一緒に數寄屋橋まで來ませんか」「別にこれさいふ用事もありませんから、御奉行さへ何でしたら、お邪魔いたしませう。しかし、いろいろの事件で御多忙さ聞きましたが」

舟は並びながら兩國橋をくゞつたすぐ左手に見えるのが一ツ目の水口、その彼方が御舟藏の長尾根

「何、澤山あるやうに見えてゐるが、根は一つ、或は、二つ」奉行は云ひながら、また、新左衛門の顔を見た。

「それでは、大方、目星はついて居りますでせうか」

「まづ、あらかた」

「ついて居りますか」新左衛門、熱心にきいて「それはお目出度い」さ云つた。

「多忙さ云へば何時も多忙、ひまさ云へば、何時もひまな役でござる。かういふ偶然の機會でもなければ貴殿にお目にかゝるなどいふこさも滅多にはない、一緒に參りませう、お疲れでござらうが」さ一寸笑つて「お茶をいれさせませうから、話しておいで下さい」

二つの舟の船頭同志は、舟を並べて漕ぎながら、この二人の話をきいてゐた。きいてゐながら、一人が南町奉行であり、若い方の一人がそれに匹敵する程の侍であるこさを知つた。そして、顔を見合せた。さ、同時に（どうも）さ思つた。

（見れば見るほど）さ思つた。確にこれが、さかこゝがさか云つて摑めてゐるのではないが（どうも、三河大盡のやうな氣がする）さ、三吉は幾度も、漕ぎながら頭をひねつた。

（これが三河大盡さするさ、先刻の新町橋の方へ逃げて行つた怪しい猪牙の覆面の人は？）

三河大盡ではなかつたのであらうか、勿論、あれさこれさは着物も何もかもすつかり變つてゐる。變裝が巧で、同じ風をしてゐる時は一度も無い、さ云はれてゐる三河大盡。或は、一人の人でなく容貌の極似した數人の人が、三河大盡の名のもさに出沒してゐるのであるかも知れぬ。わけても單純な船頭の頭では、そのやうなこさはわかりつこなかつた。

二人の船頭は、新左衛門の顔を、うしろから見ては、瞳を見合せた。

舟は一度、川口に出て、外波にゆられてから、稻荷橋の方へ入つた。

稻荷橋から、中の橋。京橋の橋たもさで舟を捨てゝ、京橋の大街を歩いた。

この邊になるさ、さすがに、ほさんごが奉行の顔を知つてゐた。遭ふ人ごさに挨拶をしてすぎた。遠山は、笑顔で挨拶の代りにした。

四丁目へ折れやうとした時、背後から由比が走つて來た。

キネマと演藝

慰問義捐の映畫會

今夜から沙河口劇場で

沙河口劇場では二十五日より二十八日迄四日間午後六時より大連新聞沙河口支局及び滿洲日報西部大連支局後援で軍隊慰問義捐映畫會を擧行し收益の一部を軍隊慰問費として寄附することになつたが廿五、六日は日活、廿七八日は松竹映畫を上映する

日活現代映畫　岡田時彦、高木永二、酒井米子、梅村蓉子、夏川靜江共演、外日活現代劇部オールスターキャスト「日本橋」▲日活特作時代映畫　楠英二郎、辻峰子、櫻井京子主演「松平長七郎」▲松竹現代超特作映畫　鈴木傳明、田中絹代主演、外オールスターキャスト「若者よなぜ泣くか」▲松竹時代映畫　月形龍之助、千早晶子主演「劍道見世物師」▲松竹現代コメデー「美人暴力團」

因に入場料は三十錢（滿日及大連新聞讀者は二十錢）割引券は各新聞販賣店より配達する

熱情こめて唄ふ照井氏が　帝國軍人へ贈る「吾等日の本の民」

近代フランス歌謠歌者の第一人者照井詠三氏の義捐獨唱會は愈々明廿六日午後七時半より協和會館に開催されるが、當夜最後に唄ふ番外歌曲さして時局に鑑み帝國軍人のために唄ふ石森延男氏作詩、村岡樂童氏作曲の「われら日の本の民」歌詞は左の如し

一、碧空に輝く　日輪のごさ
光りあまねく　尊き歴史
われら日の本の民
正しくあれや
正しくあれや

二、四方に漂ふ　海原
濤に嵐に　育ちし島根
われら日の本の民
雄々しくあれや
雄々しくあれや

三、ともに手をされ　同胞
いざやこぞれよ　同胞すべて
われら日の本の民
まもれよ皇國
まもれよ皇國

觀世會月次會

觀世會々員前田仲五郎氏今般歸國さるゝ事さなつたので同氏送別を兼ね月次會を來る二十六日午後七時より薩摩町八三觀世會にて左記番組に依り開催すさ

△素謠　鶴龜、熊坂、俊寛、小督、天鼓、外獨吟、仕舞

本社特選　新棋戰（其二）

香落　四段　△坂口　允彥

二段　▲毛利　勝喜

【圖は三二玉迄の局面】

▲毛利氏　持駒　ナシ

	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一	香	桂		金		金	銀	桂	香
二		飛		銀			王	角	
三			歩	歩	歩	歩		歩	歩
四							歩		
五	歩	歩	歩						
六			銀	歩					
七	歩	歩	角		歩	歩	歩	歩	歩
八				飛					
九		桂		金	玉	金	銀	桂	香

△坂口氏　持駒　ナシ

△四八玉　▲五二金
△三八玉　▲一四歩
△一六歩　▲六四歩
△二八玉　▲六五歩
△同　銀　▲九六歩
△同　歩　▲同　香
△七六銀　▲九七歩
△九九歩　▲九二飛

【土居八段講評】△坂口君は敵の六四歩に對し普通は五八金左さ締める所であるが、廣く變化を求める意味で二八玉さ寄つたのは實戰に適した巧みな戰法である▲其時毛利君はグズ〳〵しては敵陣が整ひ機會を逸する懼れあるを以て六五歩さ開戰したのは至當の對策であるだが折角九二飛さ利用を圖つても敵金が六九に居る中は効果ない　此處は五四歩、五八金左さ上るを待つて九二飛さ始めて寄れば威力が強い。

【萩原六段解說】坂口氏三八玉さ自玉を安全な處に移し、然して毛利氏一四歩さ端の位を取らんさせし時一六歩さ受けたのは、此處迄は普通で別に大いしたこさのない處である。毛利氏の六四歩も敵が七六銀の構へ故、九筋を攻めても即ち九六歩、同歩、同香、九七歩、同香成、同桂、九六歩、八五桂の順や又、八五桂で九八飛さ廻られても七六銀の働きがあつて不利であるから、六筋より牽制して、然して端を攻める意味に六四歩も當然の指手である。坂口氏の七六銀は餘り穩かである此處は九四歩さ打ち下手八四飛、そこで七六銀さ引いて下手九七歩、上手七四歩さ指して六五歩突の變化を求めてもよい處である。

寬壽郎と澄子の握手

新興帝キネさタイアップ成るや洛西双ケ丘に一黨を引具して木の香も芳しい「嵐寬壽郎プロダクシヨン」の看板を揭げた寬壽郎が新生第一回の大作さして着手した「戶並長八郎」の相手役には太秦からエロ姐御鈴木澄子がピツクアップされた、寫眞は二人の固い固い握手

滿鐵商事部に於る 職制改正と人事異動 一兩日中に正式發表

滿鐵商事部の不況對應策としての販賣機關の充實確立のため一部職制の改正並にこれに伴ふ本社、現場機關を通じての人事異動は時局のため發表が非常に遲延したが愈々一兩日中に正式に社報を以て小川前次長の後任として撫順炭販賣會社專務谷川善次郎氏、新設の地賣課の課長として前三井物産本店無煙炭係主任田上智川氏及主任級販賣事務所長等の數名の異動が發表される筈で、この陣容一新を待つて目前の本年度需要期に活躍を期することゝなつたが、田上氏は去る廿二日ほんこん丸にて既に着連し取敢ず商事部附として庶務課に出勤してゐる

東西株市場 立會を休止

【東京廿五日發】東株では廿三日立會開始に於て諸株暴落した爲め取引員客筋の決濟困難となり此の儘繼續は不可能となつたので協議の結果廿五日立會は臨時休會に決した

【大阪廿五日發】大株は協議の結果長短期とも本日は休會と決定した、當市場は何等懸念すべきものはない樣であるが他市場が休んでゐる際當市場のみ立會へば環境が面白くないので賣物嵩み徒らに値を崩れさせる惧れあり遂に休會と決定したものである

【東京廿五日發】東株市場早受渡し行ふべき長期四十餘種銘柄の前場立會の開始の豫定であつたが此の際假令早受渡しを要するものありとしても一般諸株の休會中に立會を行ふ事は不穩當なりとの意見生じ協議の結果立會は繼休となつた

五品も前場 立會中止

東株市場は應急對策として五百萬圓の借款交涉中であるが未だ纏まらないので二十五日は公債と繰上げ受渡を爲す株式のみ立會ひ其他は休會することに決定し大株市場もこれにつれて臨時休業したので五品市場も二十五日前場立會を中止した

對外輸出悲觀で 綿糸は續落

二十五日大阪三品市場における綿糸市況は前場寄當限三圓二十錢安中限三圓擦み安先物一、二圓安と暴落十二月限は遂に九十圓臺割れを演ずる等各限共新安値となつた これは前日米棉現物三十ポイント高を入れたがけさ各限二十ポイント安の入報あり結局休日前に比し十ポイント高ながら南支における排日運動は益々惡化せると印度財界の混亂から同地方面引合絶無となる等綿糸の對外輸出は極度に悲觀すべき狀態に陷つたためであるとみられてゐる

安東の錢莊 開店

銀行の營業開始と同時に二十五日午前八時より支那街は錢莊を始め休業中の各商店は開店した、之は日本側の周到なる警備の結果今後の治安が十分に保持されることを認めたことゝ東邊業銀行を始め各銀行が營業を開始せること及び仲秋節の決濟のためと觀らる【安東電話】

特産各品 一齊下落 目先尙軟弱

日支交戰以來北滿貨物の出廻りが懸念され當地市場における特産物の相場は一時的に奔騰したが時日の經過と共にその懸念も薄らぎ漸次軟化の一途を辿つてゐるが、殊に英國の金本位制停止の報を入れて各方面とも買氣の杜絶が招來し一層惡化せしむるに至り殊に二十五日前場の市場では差當り時局の支障もなく出廻りも順調となり加ふるに買氣消失と相俟つて銀安も無關心 各品とも一齊に下落した 就中大豆は十三錢乃至八錢方の暴落を呈し、豆粕も相伴れて軟調を入れ豆油は低落、高粱又十三乃至七錢方の暴落を遁り取引高も從つて多く大豆五百二十一車、豆粕十三萬八千枚、豆油一萬五千五百罐、高粱九十五車の出來高で異常の活氣を呈した、目先尙軟弱を豫想されてゐる

事變以來の 大豆相場 大體に平調

日支事變の突發以來出廻り懸念や英國の金本位制停止による買氣杜絶等で當地の大豆相場は暴騰、暴落と起伏雜狀を呈したが、今事變勃發の十九日前後一週中における九月末日限大豆公定相場を金に換算すれば左の如くである、即ち事變突發の十九日迄は二圓六十錢前後であつたが二十日は二圓九十錢を突破し約三十錢方の大暴騰をみたわけであるが、二十日前後の狀態は金換算にすれば大體平調を示してゐる

大豆公定相場（單位銀錢）

十四日五、八三、十五日五、八五
十六日五、七二、十七日五、八六
十八日五、七六、十九日五、七四
二十日五、八七、廿一日五、七六

大豆金換算相場

十四日二、六三、十五日二、六一
十六日二、五五、十七日二、六一
十八日二、五五、十九日二、六〇
二十日二、九一、廿一日二、九九
廿二日二、八五

銀現物相場

日	相場
十四日	四五、一二
十五日	四四、六三
十六日	四四、六四
十七日	四四、六六
十八日	四四、二三
十九日	四五、二九
二十日	四九、六四
廿一日	五一、九一
廿二日	五〇、一二
廿四日	五、六〇

デンマーク 金輸出禁止

【東京二十五日發】外務省入電によればデンマークは金輸出を禁止した

移植民奬勵に 拓務省力瘤 日本青年會館に於て 來月下旬講習會を

拓務省に於ては既定方針により、いよいよ移植民の奬勵に力を注ぎ南米行移民に對する渡航奬勵金の交付を始めとして各地方における移植民奬勵の講演會或は各種出版物の配付等間接直接に之が奬勵の實際化に努めてゐる、海外渡航者の數も最近に於ては漸次増加の傾向にあるが、一層此の氣運を促進せしむる必要上、十月廿六日より卅一日迄、東京明治神宮外苑の日本青年會館に於て、大々的の移植民講習會を開催する事となつた。其聽講者は道府縣移植民事務關係職員、職業紹介事務局、職業紹介所職員、市町村吏員、移住組合、海外協會及び實業學校（農學校、商業學校、工業學校、實業補習學校、小學校等）の職員にして、講習日割及び講師は左記の通り決定した

▲第一日（二十六日）「挨拶」若槻拓務大臣「移植民政に就て」拓務省拓務局長郡山智氏「列強の海外發展」東京日日副社長岡實氏「我國に於ける海外移民の沿革」海外興業社長井上雅二氏「南米事情」大使館一等書記官野田良治氏

▲第二日（二十七日）「我國に於ける人口問題」東京朝日副社長法學博士下村宏氏「國內移住問題」農學博士東鄕實氏「最近ブラジル移民の實生活」總領事中島淸一郎氏「南洋事情」拓務技師白鳥[illegible]二氏、活動寫眞ブラジル事情映寫

▲第三日（二十八日）「渡航事務一般」拓務局第一課[illegible]芳郎氏「旅券事務一般」外務省通商局坂本龍起氏「海外[illegible]業獎勵事務一般」拓務局長一番ケ瀨佳雄氏、協議會

▲第四日（二十九日）[illegible]合、南米航路船リオデジヤネイロ丸乘船、神戸に向ひ出[illegible]民輸送に關する一般狀況[illegible]商船東京支店長[illegible]

▲第五日（三十日）神戸着[illegible]移民收容所見學「移民收容[illegible]外移住者の保健問題」[illegible]所長岡田良一氏

▲第六日（三十一日）[illegible]デジヤネイロ丸の出帆[illegible]會

個人所得税は 實情を調査して 關東廳税調委員會出席の爲 棟居拓務書記官來連語る

二十六日より開催される關東廳税制調査委員會に出席する拓務省殖産局第二課長棟居俊一氏は二十五日午前八時入港のばいかる丸にて來連したが船中にて語る

稅制會議は二十六日から五日間開かれるさうですが、法制局の佐藤氏、大藏省から石渡國稅課長が此の會議に

出席の 筈でしたが時局勃發の爲め兩氏とも間際になつて來られず內地からは私一人になりました、關東廳の稅制については會議に臨んだ上色々話を聞かなければ何も判りませんが問題となる個人所得稅は現在朝鮮のほかは臺灣、樺太、北海道全部施行してゐます、外國も稅制は個人所得稅が中心となり消費、交通兩稅が兩脇になるやうになつてゐます、併し關東州については又此處の實情について考慮しなければならないでせう、鹽務會議は各植民地關係者が集つてやつたのでしたが非常に收穫がありました、植民地及び日本內地の鹽の需給調節を圖るといふのが目的ですが關東州鹽が

青島鹽 を除いては一番安いのですから將來これを工業鹽として內地にて利用の途を講ずべく研究しました、現在日本の外國鹽輸入は年四億斤で其の內一億斤は青島鹽ですが青島鹽は十二年までは厄介な協定で縛られて居り今俄かに輸入中止するわけにいかず十二年後には關東州鹽をして青島鹽に代へまた進んで外國鹽輸入を止め鹽の自給自足を圖るべく申合せました、これについては將來關東州鹽の工業用鹽としての品質改良に努め又運輸の方法も研究しなければならないでせう

大豆關税引揚 已むを得ぬ 日下課長歸任談

關務會議及び關稅調查委員幹事會に出席のため上京中であつた關東廳日下殖產課長も棟居拓務省事務官と同船ばいかる丸にて歸連したが船中に訪へば語る

關稅會議では大豆、落花生、高粱等農產物の關稅引上の問題がありましたがこの會議では結局引上げることに決議しました、あの問題については大連商議から引上阻止の陳情もあり滿洲側の反對も聞きましたが農村保護の爲めに副產業として內地に於いて大豆、落花生等の栽培を奬勵する爲めに關稅引上は必要だらうと云ふことになつたのです 併しこの會議で定まつてもなほ稅制整理委員會にもかけねばな[illegible]

中央卸賣市場の 卸賣人辭退問題 委員をあげて更らに研究 成り行き注目さる

過般來大連市設中央卸賣市場の卸賣人組合が經費負擔に堪へぬので市場を解散し新たに賃貸借契約を結んで市場建物と敷地を使用したいと要請したるも、市當局より社會事業委員會の決議に基き拒絶されたのは既報の通りである、これに對し組合側では直に役員會を開き卸賣人を辭退することにより市場を

脫退する ことを申合せ、二十二日總會を開いて諮つたところ、卸賣人辭退には大體異論なかつたが、元來支那人側は現市場敷地を利用せざれば商賣立ち行かぬ事情があるので、この市場利用に關する諒解を得ることを主張して議纏まらなかつた、そこで翌二十三日總會を再開したが前日と同樣に意見の一致をみるに至らず結局役員十名のほか日本人側、支那人側より各三名都合十六名の委員をあげて「卸賣人辭退後における市場敷地使用に關すること」につき

研究を重 ねることゝなつた、而して右委員において具體案を得次第近く總會に諮る筈でその成行は注目されてゐる

三四日中に 具體案を 總會にかける

右について滿部組合長は語る

御承知の通り組合は金に詰つてゐるのに、今後も賣上げが益々減り毎期赤字を出すことが確實に見込まれるので我々は卸賣人をやめるほかないといふ結論に達したのです、そこで一昨々日總會で相談したところ、支那人側に代理出席が多くて纏めたのち市場敷地が利用出來るかどうかといふことに引掛つて一昨日の總會でも右の點で纏まらず、結局十六名の委員をあげて研究して貰ふことになつたがいづれ三四日中に總會に具體案をかける運びになるでせう

なほ卸賣人をやめたるのち市當局が市營單一制を實施する場合、現卸賣人の卸賣人營業補償に對する態度につき質したところ左の如く語つた

我々がやめたのち市營單一制になつても補償して頂きたいといふやうなことは問題にしてゐません、やめる以上は斷念してゐます、尤もその場合、場外で卸行爲を行つてゐる我々の營業をも市が差止め得るかどうかといふやうなことは別問題だと思ひます

國際監査役に 三輪環氏

國際運輸會社監査役西田猪之助氏は先般滿鐵監理部考査課長となつたので二十五日午前十時より國際本社に於て監査役更迭の臨時總會を開催し西田氏は辭任し後任監查役に監理部の三輪環氏が就任した

時半よりヤマトホテルの午餐會を催し村井會頭を首め役員多數を招待し稅制整理に關する懇談會をした

經濟絶交で 工場閉鎖 職工排日に利用

【上海廿四日發】反日會の看板を塗り替へた抗日救國會は本日の會議で從業實業基金（太番物一匹につき七兩半、細番十兩）の徵收によつて輸入を許してゐた日本綿の輸入を絶對禁止することに決し[illegible]旨發令し實業基金制を廢止した、これがため日本綿糸は絶對的[illegible]とする支那側メリヤス工場など[illegible]閉鎖の已むなきに至つたが、[illegible]會は職工には貸銀を支拂はず[illegible]のみを與へてこれを排日運動に利用すると命令し工場側でも已むなくこれに應じた

明日仲秋節で 各市場休會

明二十六日は仲秋節につき特産、鈔、商品各市場は一齊休會する外支那側各銀行も休業する

物價 吳服類

今秋の吳服類は一般に秋に比し一割以上の[illegible]であるが、これは原[illegible]低落並に需給關係に[illegible]ものですなはち綿布類は昨秋[illegible]し、一割丸帶地は二割、羽二重[illegible]割、木綿類一割乃至五割安で[illegible]ただ銘仙類のみは五分高であるこれは原糸たる絹紡糸の昂騰に[illegible]る、而して一般狀勢を見るに[illegible]並に卸小賣商店とも非常の[illegible]擁つてゐる實狀にあるので向後[illegible]れ以上の低落はどうかと考へら[illegible]る程度にあるが、ただ絹紡糸の[illegible]高なるは關係工場の生產制限に[illegible]るものであるから低落の可能[illegible]分ありと見られてゐる、今期[illegible]物の當市小賣値左の如し（三越[illegible]服店調べ、單位一反當圓）

銘仙縞標準物 三、[illegible]
同メ切絣同 三、[illegible]
標樣銘仙同 三、[illegible]
お　縞同 九、〇[illegible]
同絣同 一〇、[illegible]
小紋錦紗同 九、[illegible]
モスリン同 三、〇〇—三、[illegible]
綿糸織同 五、[illegible]
綿ネル白同（大巾一尺） 〇、一〇—〇、[illegible]
富士絹同（同） 〇、[illegible]
丸帶染物同 九、[illegible]

市場電報

市況

特産 出廻り順調で 大豆暴落

錢鈔 當市軟調

株式 內地市場休業

滿鐵株 當市も休市

商品 綿糸は續落

爲替相場

手形交換高

各地特産發送高

貨物在庫頭埠

滿洲日報

我政府滿洲事變に關し 廿五日中外に方針聲明

臨時緊急閣議にて決定

【東京廿四日發】廿四日の臨時緊急閣議は午後五時四十五分開會、滿洲事變に關する帝國政府の中外に發すべき聲明を決定し同七時四十分一先づ休憩晩餐を共にした後直ちに再開國際聯盟理事會に處する芳澤代表に發すべき訓令につき協議した

帝國政府聲明書の內容

帝國政府は常に日支兩國の親善を厚くし共存共榮の實を擧ぐる事を一定の方針とし終始これが實現を期して苦心努力し來れり、不幸にして過去數年間中國官民の言動は屢次我國民的感情を激するものあり、殊に我國の最も緊密なる利害關係を有する滿蒙地方において最近不快なる事件頻發し玆に我友好公正なる政策も中國側より同一の精神を以て酬ゆるところとならざるが如き印象をわが國民一般の心理に與へ物情騷然たるに當り偶々九月十八日夜半奉天附近において中國軍隊の一部は南滿洲鐵道の線路を破壞し我が守備隊を攻擊し之と衝突するに至れり、當時滿鐵沿線を守備せる日本軍の勢力は總計僅かに千四百に過ぎざりしに反しその四邊には二十二萬の中國軍隊あり事態俄かに急迫を告げこれと共に同地方に居住する百萬の帝國臣民も亦重大なる不安の狀に陷りたるに省み我軍隊は機先を制して危險の原因を芟除するの必要を認め、此の目的のため迅速に行動を開始して抵抗を排除し附近に駐屯する中國軍隊の武裝を解き地方治安の維持については、中國の自治機關を督勵してその任に當らしめたり、我軍隊は前記の目的を遂行するや概ね鐵道附屬地內に歸還集結し、目下附屬地外にありては警戒のため奉天城內及吉林に若干の部隊並に數個の地點に少數の兵員を配置すと雖も、何れも軍事占領に非ず、或は帝國官憲が營口稅關又は鹽務署を占領せりといひ或は四平街、鄭家屯間又は奉天、新民屯間の中國鐵道を管理せりといふが如き流說は全然誤電に止まり長春以北又は間島に我軍隊の出動せりと言ふも事實無根なり、帝國政府は九月廿九日緊急閣議を開き、此上事態を擴大せしめざるに極力努むるの方針を決し、陸軍大臣よりこれを滿洲駐屯軍司令官に訓令せり、九月廿一日長春より吉林に一部隊出動せるも、これ同地方の軍事占領を行はんがためにあらずして滿鐵に對する側面よりの脅威を除かんとせしむるに外ならず、從つてこの目的を達するに至らば、我出動部隊は直に長春に歸還する筈なり、なほ九月廿一日に至り滿鐵沿線の不安に鑑みて、朝鮮駐屯軍より混成一旅團兵員四千を新たに滿洲駐屯軍司令官の麾下に屬せしめたるも、滿洲駐屯軍の總兵數はなほ條約所定の制限內に止まり、もとより對外關係における事態を擴大せるものと言ふべからず、帝國政府が滿洲において何等の領土的慾望を有せざるは玆に反覆縷說するの要なし、わが期待するところは、畢竟帝國臣民が安んじて各般の平和的事業に從事しその資本又は勞力を以つて地方の開發に參加するの機會を得せしむるにあり、自國並に自國臣民の正當に享有する權利を擁護するは、政府當然の職責にして、滿鐵に對する危害を排除せんとするもまたこの趣旨に外ならず、帝國政府は素より日華善隣の誼みを重んずるにおいて既定の方針を確守するものなるが故に、今次の不祥事をして國交の破壞に至らしめず、更に進んで禍根を將來に絕つべき建設的方策を講ぜんがため、誠意中國政府と協力するの覺悟を有す、之に依りて兩國間現下の難局を打開し禍を轉じて福と爲すことを得ば帝國政府の欣幸之に如かざるなり

張學良氏 不眠症

二十四日軍司令部に達した情報によれば張學良氏は滿洲事變を心痛し目下不眠症に惱んでゐると【奉天電話】

聯盟理事會に對しては 干涉拒絕の意思を回答

廿四日夜深更に及んだ臨時閣議

【東京廿四日發】滿洲事變第二次聲明及び國際聯盟理事會への回答案を決定する臨時閣議は廿四日午後五時四十五分より首相官邸に開會、若槻首相以下各閣僚出席先づ幣原外相より滿洲事變に對する日本政府の意向ならびに事實の眞相につきて各國が誤解して居る向きもあるから此の際具體的なる聲明書を發表する事が緊要なる事と考へると述べ別項の如き聲明書を朗讀しこれに對し各閣僚より質問あつた後決定の上一先づ休憩晩餐後再開、引續き幣原外相より曩に南京政府宋子文氏より提唱し來れる共同委員會組織に關し說明し宋子文氏は概本的基礎に日支兩國間の問題解決をこの際圖りたいとの事であつた、よつて政府にても直に閣議の決定を得て日支兩國間の提案を根本的に解決せんとする支那の意思ならば其の提唱に應じても良い旨を決定し直に回答したる處其の後宋子文氏は滿洲事變は今日迄地方的なるものと解釋し居ると現狀に於ては事態が非常に擴大して居るがために共同委員會の組織を以て折衝を進める事は最早困難となつた、從つて先の共同委員會の設定に關し提示したる點はこれを撤回するとの拒絕を申出た旨を報告する處あつた、次いで國際聯盟理事會に於ける日支代表の論議につき詳細に說明し議長レロウ氏より日本政府に對してなしたる要請の說明を終りたる後愈々聯盟理事會に對する回答案につき協議に入り若槻首相以下幣原外相、南陸相の間に意見の交換があつて其の內容を決定した、卽ち其の回答の趣旨精神に於いては第二次聲明と同工異曲なるものにして政府は**滿洲事件の發生は地方的問題として日支兩國間の折衝によつて解決すべきものである事を確信し特に國際聯盟の干涉についてはこれを拒絕するの意思なる事を瞭らかに**したものであるが、續いて米國々務長官スチムソン氏より出淵駐米大使に手交したる覺書に對する各閣僚の意見あり安保海相より長江筋の情況に關して報告あり午後十一時二十分漸く散會した

米政府は沈默を守り 公式行動を執らない

ス國務長官の非公式覺書

【東京廿四日發】滿洲事件に關する米國務長官スチムソン氏の非公式覺書が出淵大使を通じ本日外務省に到着した、その內容左の如し

アメリカ政府は滿洲に對する日本人の感情敏感なるを熟知しをり且つ聯盟が行動に出でをり、**米政府としては日本政府の立場及び國論を推察し沈默を守り又公式行動をとる意思を持たぬ**、ただ時局に關する米政府の意向を記せる書面を手交し貴政府の適宜なる措置を待望す、卽ち成るべく速かに占領を解除し時局の鎭靜に努められたい、右は決して米政府より日本政府に對する公式申出でなく非公式提言である、書附內容左の如し滿洲の事態は道德的、法律的、政治的に多數國政府に關係するものにして日支兩國間に限られたものでない、卽ち不戰條約、九ケ國條約の意義を如何に見るかの問題である、米政府は日本政府がこれら條約の適用問題を生ずるが如き事態作成に加擔する如き意圖はなかつた、從つて**當政府は滿洲事件に對し何等斷定を下し又急遽態度を決する事を欲しないが**今後の事態を如何に導くかは日本政府の責任にあり、日支兩國とも兵力行使の結果生じたる事態をもつてその目的達成に利用するなからんを期す

米國務長官頻に 滿洲條約を研究

【ワシントン廿三日發】スチムソン氏は目下滿洲問題の研究に沒頭し滿洲關係の諸條約を精讀してゐるが、記者に對して語る

日本が滿洲を永久に占領する意志なきことを聲言しないので種々の說が行はれて居るといふが日本大使館ではかゝる說は臆說で日本は滿洲が支那の領土であることを承認し且つ支那の領土保全を尊重することを言明してゐる

米の態度 聯盟筋の觀測

【ジュネーヴ廿三日發】國際聯盟總長の求めに應じ電話でアメリカの態度を言明したが聯盟筋ではアメリカは理事會の討論に容喙するやうな事はしまいがアメリカの主張せる不戰條約及び一九二二年締結せる支那に對する四ケ國條約に關係あるが故に滿洲事件には相當の關心を持つてゐると觀てゐる

滿洲事變明確に判明せぬ 外務次官答辯

【東京特電廿四日發】ロンドン來電、廿三日の下院で外務次官は議員の質問に對し

日本軍の奉天占領事情は未だ明確に判明するに至らない

と答へた

滿洲事變畫報

(上)四平街の臨時飛行場設置作業
(下)遼遠に向ふ我軍用列車＝門達站にて【廿三日午後六時山口本社特派員撮影】

全支の學生に對し 絕對的排日を命令

義勇軍組織法發布

【南京二十五日發】國民政府は中央黨部の制定した義勇軍組織法を政府令として本日發布し政府は自らが全各學校生徒に絕對的排日を命ずるに至つた

命令の要項

【南京二十五日發】國民政府は全國大學及び地方政府教育廳に左の排日運動參加を命じた

一、學生は演說隊を組織し日支問題の宣傳をなすべし
二、排日運動に職員引率の上參加すべし
三、軍事教練を擴大充實し何時にても軍事に參加し得る準備せよ
四、學生の行動は國民政府より隨時支持す
三、所屬各團體に軍事訓練を行はしむ
四、對日絕交を全國に通電する

學生救國會 動員令請願

【上海特電二十五日發】大學校救國會は昨日の會議で國民政府に動員令を下すやう代表を派して請願する事、其他を決議したが中等學校學生の抗日救國聯合會も昨日成立、男學生は軍事訓練を受け抗日の準備を爲し女學生は看護婦の實習を爲し救國基金を募集して日貨檢査を履行する事に決した、向ふ見ずの學生の宣傳は執拗に民衆を激昂させるであらう、尙赴京請願團はその請願を爲す筈
一、東北失職長官、外交官を嚴懲する
一、對日秘密條約の締結を爲さざる事

對日經濟絕交を 全國に通電

全支商會聯合會が

【上海特電二十五日發】全國商會聯合會は二十四日緊急會議を開いて左の諸項を決議した
一、全國商會聯合會に對し各團體と聯合して國民大會を開き共に國難を救へと通電す
二、政府を督促して實力を集中し日本に對する有効な方略宣布を請ふ

青島支那紙の 捏造宣傳に警告

【青島特電廿四日發】支那新聞は日本海軍の靑島占領、龍口に陸戰隊上陸等の誇大なる記事報道に對し日本官憲から直に警告を發した處支那側は直に取締方を嚴命した

ロシア政府が密に 東支鐵乘取策

幹部に赤系人物採用

ソウエート政府は今回の事件で支那側の混亂狀態の機に乘じ東支鐵道の乘取策を講じつゝあり、その一例として東鐵の支那側高級幹部を斥けて赤系人物を以て之に代へるの新採用を實行してゐる事實がある【奉天電話】

南京政府の 國民に告ぐる書

條約を無視した暴言

【上海廿四日發】國民政府は廿三日附國民に告ぐるの書を發表した

我國は今や危急存亡の秋で日本の滿洲における蠻行は國際慣例條約を蹂躙し我領土を公然占領し人民を殺害し我人民を凌辱しつゝある、これは世界文明國に對する脅威である、依つて國民政府は國際聯盟に愬へ公正なる解決を得べく努力しをり且つ日本軍との衝突を避くるやう嚴重命令した、政府は地方官憲に日本人保護を命じたこれは責任ある文明國人の態度でこれを以つて野蠻暴行に對抗し文明國としての確立を期するものである、政府は最後の決心をなし居り決して國民の期待に背くものでない、國民同胞一致奮起せよ

東北獨自の 立場を保持

張學良氏要人を集め 對日策を愼重審議中

【北平特電二十四日發】張學良氏は奉天事件の對策に關し榮臻氏以下要人と愼重審議中で二十三日萬福麟、鮑文樾等を南京に派し事件の經過を報告すると共に直接蔣介石氏の意嚮を探らせる事になつたが、之を以て直に事件解決を中央に移すものと見るのは僞早で必要の場合は表面的交渉を中央に委することあるも單なる外交々涉では到底解決し難き現實の諸問題については依然東北獨自の立場と見解に

中央執行委員 改選延期

【上海廿五日發】國民黨中央執行委員會は全委員の改選を行ふべく第四次國民黨全國代表大會を十月十日開會の豫定なりしも時局に鑑み十一月十二日に延期した

一、地方問題として解決するを得ず
一、出兵を請願し之に武裝參加す

靑島は靜穩

【靑島特電廿三日發】支那官憲筋も此際日本に何等かの口實を與へるは不利なりと考へ新聞記事の浮説の關係上極力國民の妄動を取締る態にした、又一般市民は昂奮の模樣なく膠濟鐵道は表面の處在異狀を認めぬ

基き直接日本と折衝せんとする意嚮を持つてゐる樣である、併しまだ具體的には何等の腹案なく先づ日本の出方如何を瞰めた上徐ろに對策を練らんとするらしい

陳友仁氏 近く抗議

【廣東特電二十三日發】廣東政府外交部公報、陳友仁氏は滿洲事件に關し近く日本政府に抗議を提出するが「今回の變は陳氏滯日中、幣原外相が言明した滿洲における支那領土權を認める政策と矛盾するではないか」と難詰する筈

外務を鞭撻 交涉に努力

【東京二十四日發】陸軍首腦部は本日午前九時半から首腦部會議を開き重要協議を遂げ軍部としては最早これ以上事態を擴大せしめざる政府の方針に從ひ今後は外務當局を鞭撻し懸案解決に進むに決定した

日本軍ハルビンを 占領したとの虛電

南京政府聯盟へ打電

【ジュネーヴ二十三日發】國際聯盟支那代表は本日南京政府より日本軍がハルビンを占領したとの電報通を接受し直に右の電報を聯盟事務總長サー、エリック、ドラモンド氏に通達して各理事國代表者に對し配布すべきことを要求した

獨立守備隊司令部 廿五日四平街に移動する

長春警備に當つてゐた獨立守備隊司令官森中將以下の幕僚は二十五日午前十一時發貨物第六十六列車で南下四平街に司令部を移すことに決定した【長春電話】

守備隊の一部隊を 洮南方面へ急派

形勢險惡化したゝめ

二十四日洮南地方の形勢惡化したので關東軍司令部では長春駐屯の獨立守備隊第六大隊の二、三、四の三個中隊及び機關銃隊、鄭家屯駐屯の羽山支隊に出動を命じ長春部隊は上田中佐總指揮の下に午後十時發列車で現地へ向つた【長春電話】

洮南無警察狀態 邦人は引揚げ準備中

洮南支那側代表者は二十四日午後三時河野滿鐵公所長を訪問し「目下巡警は丸腰にて無警察狀態なり支那軍隊もすでに移駐して居るを以て日本軍の來駐を希望す」と申出でたわが居留民は目下引揚げ準備中で洮南は危險狀態にある【四平街電話】

新民北方に 敗兵一個旅

新民屯郵便局よりの報告によれば新民屯北方十八支里の所に昌圖からの支那逃亡兵約一個旅が彷徨して居るその中の一隊は二十四日午前八時北寧線の列車を襲擊したがわが飛行機爆擊に恐れて退却した【奉天電話】

滿鐵線の破壞は 一週間前に命令

王以哲旅長が部下に

奉天から北平に向つた支那將校の談によれば今回の事變は既に一週間前に王以哲旅長が滿鐵線破壞の實行を部下に命令してゐたと【奉天電話】

吉林軍隱匿 武器引渡

吉林軍顧問大迫中佐は二十四日來奉したがその談によれば吉林軍當局は當初軍使を我軍に派し目下擁護の武器を引渡すことを應諾しながら愈々引渡しの段になると誠意を缺き武裝解除を實行しないので我第二師團長は吉林省政府主席代理に嚴重なる警告を發した、その結果吉林軍は今日まで隱匿してゐたところの小銃、機關銃、野砲等約一千名分に相當する多數の武器を引渡した【奉天電話】

多門師團長

吉林にある多門第二師團長は幕僚を從へ二十四日午後一時二十分から吉林占領地帶の視察を行ひ占領地の警備狀態を始め各要所武裝解除武器の保管狀態等の視察を爲した【長春電話】

苅萱靑島へ

旅順在港中の第十六驅逐隊苅萱は津田司令官の召電に依り二十四日午前九時靑島に向け出港した

家庭

慰問袋受付けに本部は大多忙

二十四日までに集つた個數と應募者の氏名

さきに滿日婦人團慰問袋募集が發表されると同時に早くも申込が殺到して袋の發送に配布に係員は轉手古舞ひ續けてゐるが、去る二十四日迄に本社滿日婦人團本部まで慰問袋を屆けられた人及團體の數は百五十四、慰問袋數は五百七十七個の多數に上り、本部では受付に大多忙を極めてゐます、應募者及個數は次の通りです

廿三日 一個宛林清、中村福一、中田義一大平氏、山口二三子、片岡秀子、小松不二子、古賀ヨシ、瀧川スヤ、奧川ヨシ、川野浜子、豐原千鶴、堤田光江

西村玲子、西村晴夫、堤田タキ▲二個宛石田庄一、阿部トク、加藤シヅエ、伊藤ヤス、川島義次▲五個宛福永かめ、遠藤眞▲七個山本和子▲九個無名氏▲十個石川萬次郎▲十一個宛大連▲藝女生、石田氏▲十三個山本靜江▲二十二個北村席▲五十個國柱會婦人部

二十四日 一個宛無名氏、尾關房子、神谷菊子、今村氏、肥後花江、中西義夫、曾和弘明、曾和公、池見正信、山田節子、藤田太郎、大瀬木富子、佐藤光子、大瀬木新衛、戸田秀雄、山本氏、長谷川新作、松村隆雄、森リウ、前澤龍子、前澤誠一、杉浦三次、古賀元、由良玄太郎、江森レイ、山本氏、森寅二、永田雅男、直塚ステ、西川マス、川上シヅエ、村角イク、中澤ミヨ、吉村氏、高梨氏、永田俊夫、飯野曉子、金井クラ、金井ミヱ、山本恒喜、大塚平八郎、小林フミ、小林順之助、落合美枝子、落合靜子、淺野洋服店、久保芳子、國光はる、地田正之助、大橋ヨノ、海津八重子、長谷川タツ、長倉末吉、西尾キク、國光スミエ、國子エク、菊野もり、瓶子萬龜、木村耐七、入江スグ子、鈴木セキ、齋藤吉子、川邊セキ子、齋藤康信、齋藤一信、滋野カノ、山口一夫、川邊春美、山崎誠六、福山尋、栗栖義和、倉重忠弘、倉重照子、西山幹治、峰兼子、西岡秀、武末つる子、永田徳次郎、和田萱、恒吉悦子、波城渭次、鹿島澤子、鈴木好夫、尾道友吉、津山氏、直井睦子、近藤イサ、光井佐和乃、中西輝子、淺井セキ、原田芳江、園田澤子、鶴田月子▲二個宛鎌田トミ、外山ノシ、河井幸子、小村ハル、植田春枝、南極屋、中川テル、山崎卯助、辻利ユリ、尾崎氏、西堀正、塚本典正、吉川氏、古賀ふじえ、古賀トシ子、金森氏、高見千代子、朝長忠太郎、土方鈴代、花臺儀助、土師正治、倉富忠夫、藤田重利▲三個宛池田菊枝、和田氏▲四個宛

澤田一家、藤井秀良▲五個宛高畠正敏、右近熊吉、無名氏、前野そめ、森川さし▲六個鍋田覺治、高桑一家▲七個中村みさ▲十個宛齋藤直枝、滿砂料理店、入江節子、菱川藥房▲十一個伊尾喜健▲十五個橫田梅子▲十七個土方鈴代扱分▲三十個旅順キリスト教婦人會▲百七十九個大連連鎖街バーカフエー組合▲二百個遍照院龍華婦人會▲合計百五十四名、慰問袋五百七十七個

慰問品募集

一、種類　タオル、ハンカチ、石鹸、便箋、鉛筆、切手、はがき、軍手、靴下、煙草、キヤラメル、繪葉書、ちり紙其他腐敗せず歡ばれるもの

一、金額　最低二十錢見當の品物

一、期日　第一回締切九月末日限

一、取扱箇所　大連は滿日社内滿日婦人團本部▲旅順は旅順滿日支社▲金州は滿日金州支局▲普蘭店は滿日普蘭店支局▲貔子窩は滿日貔子窩支局▲周水子は滿日周水子販賣店▲城子疃は滿日城子疃販賣店

附記…慰問袋は前記取扱箇所にありますから御受取り下さい

主催　滿日婦人團
後援　滿洲日報社

寄附金

二十三日夜市内常盤橋、大山通、伊勢町、連鎖商店の街頭に於て滿日婦人團慰問袋募集の際の現金寄附者は左の諸氏です

▲二圓也二宮▲一圓宛永吉フジ、相田、三木喜三郎、原文江、石本、矢野▲六十錢執行永郎▲五十錢宛石渡繁胤、平川新吉、富江與吉、永田清一、玄成澤、日高喜三郎、新村富次郎、今本ヒロ、谷口正一、籾田ヒノ、青木古澤、寺尾、佐藤、菊池、鹽澤又澤他一名、大樹、西野保吉▲四十錢田口氏▲三十錢宛雁すカヅ子、宮崎、三村、田中ユリ▲二十五錢宛古川初枝、古川作平小森▲二十錢宛山本清一郎、田邊、古賀野、平山純喜、高野みつ、森壽雄、久保井爲定、青山友吉、奧村一雄、水尾、木村、濱田、松尾、大友、市橋トヨ子村山、黑崎しづ子、田中又次▲十錢宛軍艦淀一水兵、坂本、松澤、森澤、時任秀明、山澤進、大連新聞社員、力武、北村▲他に篤志家四十一名分十五圓五錢也▲合計百三名、金額四十圓也

更に慰問袋の作製に……

餘念ない彌生高女生と婦人團員

滿日婦人團慰問袋の應募者は日に日に激増し、本社内婦人團本部には刻々申込みが殺到して去る二十二、三の兩日にわたつて百餘の團員が作製した袋は飛ぶやうに捌けて二十四日朝にはあますところ數百しかなくなつたので急遽附近の婦人團を集めると共に午後から大連彌生高女生有志約三十名の應援を得て同日午後五時迄に更に約二千の慰問袋を作製しました【寫眞は彌生高女並に團員の一部が慰問袋作製に餘念ないところ】

大掃除のときに姙婦ご用心

殊に流産や早産は二、三ケ月の方に多い

大掃除の日が近づきますと平常充分注意して居られても、つひ忙しいため身體を無理するやうになりやすいのです、殊に姙婦の流産や早産は懷姙二、三ケ月に多く、そのころが最も大切なのですから掃除するにしても尻もちついたり、或は高い所に手を延ばして物を下したり、上げたりして無理しない樣に注意して流産早産を未然に防ぎたいものです、この二ケ月三月の頃は羊水が多く從つて胎兒も動き易く、無理すると胎兒の位置が轉換したりするので危險です、五ケ月以上になりますと臍帶がのび（長いのになると五十糎もあるのです）姙婦が無理したため胎兒の位置が變りその變る時長い臍帶のため臍帶纏絡といつて首が捲かれ折角立派に成長してゐた胎兒も死産となることがあるのです、臍帶纏絡となりましても早くそれが判つてゐると出産の場合の手當で死産は免れるのです、この臍帶も一と卷位のもあれば三廻りも捲けてゐる事もあるのです、又身體を無理し或は

外障は なくとも、この臍帶纏絡といふのはあつて腕などに捲きついてゐる場合もあるのですさへ首に捲きついてゐなくとも永く斯うして纏絡してますとお産が引くものです、ひどいのになりますと臨月近くになつて胎盤早期剝離といつて胎兒出産後に出る筈の胎盤が剝奪され、子宮内出血となり母子ともに助からぬ事があるのです、これなども餘り身體を無理にしすぎた結果です、これらの危險を防ぐには先づ姙婦は腹帶をなし胎兒が動かぬ樣に無理しないといふことが最も大切です、少し

異常と 感じた場合は産婆なり醫者に早く診察して貰ふことです（大連敷島町佐志産科醫談）

井杉氏弔慰金

早川正雄氏取扱の井杉氏弔慰金はその後左の如く寄附があつた
▲金十圓竹中政一氏▲五圓藤根壽吉氏、竹内精一氏、篠崎嘉郎氏、莊晋一氏、太田信三氏、鈴木兼重氏、莊國四郎氏、鈴木芳太郎氏、山華龜五郎氏、小松圓吉氏、常隆二氏、首藤定氏、大連神道各教聯合會▲四圓五十錢、大連神明高等女學校二年梅組有志▲三圓石田藤八氏、大西清氏▲二圓平田駿一郎氏、秩父岡太郎氏、柴田博陽氏▲一圓賀川雄氏▲小計金九十四圓五十錢▲累計金百八十一圓也

恩田家の慶事

前大連市會議長恩田熊壽郎氏次男陽氏は今回坂井慶治氏夫妻の媒妁で實業家伊東三吉氏の長女靜江孃と婚約整ひ來る二十七日大連神社に於て華燭の典を擧げると

童話　鐵砲（二）

政本いさむ

島主も家來も、あつけにとられてポカンと立つたきり男の後姿を見てゐました。

男は見物人の間を通つて、いそいそと船の方へ歸りました。見物人は男の顏と不思議な鐵砲とを見くらべながらきよろきよろ立つてゐるだけでした。

男の姿が見えなくなつた頃、思ひ出したやうに島主は家來を連れて歸りました。

「ありや何といふもんだい」
「さあ、えらい恐ろしいもんぢや

島の人々はわいわいいひながらぞろぞろ島主の後から歸りました

島主は歸るとすぐ一間にとぢこもつてじつと考へてゐましたが、早速主だつた家來達を集めていろいろ相談することになりました。家來達は島主のうちのお座敷にずらつと輪になりました。

「お呼びしたのは外のことでもないが、今日見たあのポルトガル人の鐵砲について方々の考へを承りたい」

島主は家來達を見廻しました。

者儀仰天致して御座います」
「拙者も」

それをどうしようといふのか」
と島主がいひました。

で御座います」
「それをどうするのぢや」
「戰爭に使ひます。あれを使へば向ふ所敵なしで御座います」
「如何にも左樣ぢや」
「いや拙者は別の考へが御座います」
「何か」
「あれを買込むにしては、とても經濟がつゞくまいと考へます。それよりも一つあれを造る方法を習つては如何で御座います。かゝる貴重な武器は只我々のみが持つて使用するには、あまりに勿體ないことで御座います。むしろ國家のために致すのが何よりと考へますが」

一座は靜まり返つてゐました。
「それが何よりだ。左樣致せば

翌日島主は一人の家來を連れてポルトガルの船に行つて船長に、鐵砲を一挺わけて貰ひたい、そしてついでにその造り方を教へて貰ひたいと賴みました。

「そんなことは出來ない」

船長はきつぱりことわつてしまひました。

奉行はいろいろ賴んでみたが、どうしても駄目なんです。

「それ程ほしいなら、わけてもやらうが、實に高價なものだぞ」
「いくらでもいゝから」
と島主がいひました。
「一挺で二千兩、如何で御座るか」
「二千兩？」

奉行はあいた口がふさがりませんでした。

滿日各地版

負傷を部下に知らせず奮戰した後藤少尉
撫順北方橫道河子附近における わが軍の激戰詳報

【撫順】既電、今回の日支事變突發以來撫順守備隊附にて始めて名譽の負傷をした後藤少尉奮戰の詳細を探聞するに次の如し

撫順背後地橫道河子（撫順城北方約四里）附近一帶には今尙奉軍の逃亡兵蟠據附近鮮支農民を苦しめる外何時如何なる事を企つるやも計り難いのでその實狀偵察の

任務を 帶び後藤少尉は部下八名の騎馬隊を以つて將校斥候隊を組織營門を出たのは二十四日午前七時永安橋撫順城を通過同午前九時二十分撫順北方二里の地點「佟家坟」部落に於て敵將校の引率せる支那側將校斥候二十名の一隊を發見するや敵は突如後藤隊に發砲挑戰せし爲めに吾軍やむなく應戰立所に是を擊破するや敵は算を亂して「會元堡」方面に潰走した後藤少尉は普通の逃亡兵でなく支那軍亦察せしむる以上同附近に支那逃亡兵の大集團ある事は瞭なりとの見地のもとに危險を犯して尙偵察を續け行く內「會元堡」に至るや支那兵約五十名附近の谷山間等より出現發砲するので茲に亦交戰となり約四十分の

激戰の 後敵陣漸く亂れその本據と思はれる橫道河子方面に再び遁走した、吾軍はかうなると是非同地の現況をたしかめる必要あり是を追擊しつゝ撫順北方約三里半の「亂泥窪兒」に至るや銃擊をきゝつけ彼處此處より支那武裝兵約百名現はれ來り橫道河子附近に至るや敵兵益々激增茲に於て日軍の僅か八騎なるを侮り逆襲後藤隊を鏖殺の擧に出でた茲に於て後藤少尉は決然少數の部下を激勵眞先にたつて奮戰悲壯なる戰鬪は約一時間餘に亘つて續けられた爲に同午前十一時二十分後藤少尉は下半身に盲貫銃創を負ふに至つたが部下の士氣に關するを以つて自ら創口を縛し是を告げず從容迫擊亦追擊敵兵約二十名を斃し遂に之を擊破當初目的の橫道河子を中心とする

敵狀を 手に取る如く偵察歸還の途についた、その途中流石の鬼少尉も張りつめた氣も漸くゆるみ落馬した際吾が兵卒は洗ふが如き鮮血に軍服を染め打倒れたる同少尉を發見始めてその負傷を知つた、かくて貴重なる報告をもたらし後藤隊の撫順城へ歸着したのは午後二時半、同三時撫順守備隊に還へり同少尉は直に滿鐵醫院に於て內野博士執刀のもとに應急手術を行ひ官民有志多數に送られ軍醫附添の上同三時五十分發列車にて奉天衛戍病院に入院した、同少尉名譽の負傷の報一度傳はるや在撫大衆市民は常に危險なる第一線の奔流に投じ吾が撫順市民の生命財產を擁護してくれた同少尉の勇敢なる行動に感激してゐる

わが軍の占領した撫順城南門

ズボンの中に鮮血の塊り
感激なくして聞かれぬ 後藤少尉の奮戰談

【撫順】別稿撫順獨立守備隊の背後地集團的敗殘兵の現狀偵察に赴き單騎騎を進め雲集する敵兵を克く擊退名譽の負傷したる後藤少尉は岡山の人撫順守備隊にあること既に六年明春二月は中尉に定期昇進する亦劍道の達人目下同隊初年兵教官にあるが廿四日午後六時隊に川上守備隊長を訪へば同大尉は後藤少尉の超人的豪勇さに舌を捲きつゝ語る

第一回の鳩通信のあつたのが二十四日午前十時半、その後是非第二回目の情報がなければならぬに何等の消息がないので敵を追擊餘りに深入し過ぎ後藤隊は全滅したのではないかと氣が氣でなく私は寢食もそこ〳〵撫順へ行つて見た形勢若し非なれば同城にある手兵二十名を引率私自身急行する考へであつた、處が一兵卒が汗馬を走らせ後藤少尉の負傷を傳へ來た、私はすぐ渾河々畔に行くから同少尉にそこで待つやうに命令永安橋北岸に走つた所が後藤少尉は右太腿部に盲貫銃創を受け軍服のズボンは鮮血で洗はれ兩手でも握りきれぬ位の血の塊りでズボン內に出來てゐるにも拘はらず勇敢にも乘馬のまゝやつて來た、後から兵に聽けば撫順城の北一里位の地點まで他の兵は後藤少尉の負傷を知らなかつたとの事だ、たゞ平素の少尉に似ず山間岳陵[?]發見した少尉の云ふにはあの戰鬪の時俺がやられたと云へば吾が隊の士氣に關する故絶對口外しなかつたとの事である、赤渾河北岸で私が他の兵は乘馬のまゝ川を乘きれ（後その他の船通行の爲新設永安橋の一部模樣替中の爲）後藤少尉のみは下馬看護卒に護られ橋を渡れ」と云つたが何としても承知せぬ、同じやうに彈丸雨飛のなかをくぐつて來た部下と同じく乘馬のまゝ倒れても川を乘切ると云つて隊に歸り守備隊長室で貴官に敵狀報告の渡るまでは隊と行動を共にしますと頑張りますので私は傷口に泥水等の這入るのを憂へ一通りでは少尉が承知せぬので聲を勵まし「中隊長命令、後藤少尉は下馬せよ」と命令した所やつと馬から降り看護卒にまもられ橋を渡つた、そこには自動車を用意してあつた直に少尉を乘せてやらうとしたが茲でも「まだ當初の使命たる報告を終るまでは、斥候隊と行動を共にします」と頑としてきかぬ仕方がないから私は又「中隊長命令、後藤少尉は自動車に乘り病院に行けッ報告は病院できく」と私は少尉の馬を奪ひそれに乘つたその時の少尉の恨めしさうな顏相當議論もはく人であるが私が「中隊長命令」とさへ云へば絶對服從する人であるそして休中の內野博士に出て貰ひ西山軍醫と共に診て貰つたが普通のものならすぐその場で倒れて了ふ位の急所の盲貫銃創である爲應急手術後奉天衛戍病院に送つたやうな譯だが私が軍人生活を始めてから是位責任觀念の強い代表的軍人を見た事もなければ後藤少尉位剛膽な古武士そのまゝの將校を見た事もないと

「朝鮮軍」が流言の原因
時局をめぐるナンセンス

【撫順】既報の如く支那街一帶の居住民が鮮人の襲擊の流言の爲風聲鶴唳にもおのゝき騷ぎ幾ら日本官憲が諭しても心から安心し得なかつた根強い蜚語の原因が二十四日午前漸く判明したと云ふのは日支兩新聞の大活字で報道されてゐた「朝鮮軍の出動」とか「朝鮮師團の北行」とか記事を見軍隊組織の內容を知らぬ所から右朝鮮軍は鮮人を以て組織する素晴らしい兵力と紀律のある軍隊で例の萬寶山事件等の復讐に來征するものと早合點しそんなに強い朝鮮軍の來襲が今日明日の內にあるかの如く次から次へと喧傳された結果であると、時局の產んだナンセンスとしては少し度が強すぎる

日支銀行團懇談會（安東で）

心からの慰問袋 續々募集に應ず
滿日婦人團の活動

【金州】ひさ慶滿日婦人團主催我社後援の慰問袋募集が發表さるゝや各方面共大喜びでこれに應じてゐるが我が金州でも當支局に於て取扱ひを開始した廿四日早々率先六袋加世田五南子外五名、五袋本丸昌子外四名、一袋江頭富美子、二袋鹿島藤田の兩氏、二袋岩田鐵子同咲子、二十袋金州驛の申込あり尙續々と募集に應ずる模樣であるが、滿洲の曠野に不眠不休連日轉戰しつゝある我が軍隊や警察官の勞を慰むる心情に燃えてゐるかと言ふ事がうかゞはれるこの心からなる慰問袋の配付を受けた將士はさぞかし喜悅の餘り感淚に咽ぶことだらうと思ふ今後の應募者に對しては遂て發表してある通りであるが特に內容は左の品物に意を置いて貰ひたい、尙慰問袋は當支局に用意してあるから遠慮なく申越を乞ふと

△チリ紙△ハンカチ△鉛筆、便箋△封筒△石鹸△タオル△切手△官製はがき△靴下△手袋△キヤラメル△チヨコレート△外腐敗せぬ菓子△飴△繪はがき等△腐敗し易い品物は絶對に避け△特に將士の歡ぶものを選び△現金の應募は絶對にお斷り因に第一回の締切は今月三十日である

奉天のところ〴〵
火蓋が切られてから早や數日 何處の街々をまはつてみても『もう大丈夫でせう』

【奉天】澄み亘つた秋の夜も更けやらんとする頃俄に聞えるドンの砲聲、續いて起る豆を煎るが如き銃聲、ヤア戰爭が始まつたのだ戰爭だ……そのどこともなく聞え續いてオートバイ、自動車の來往盛になりどの店も申し合せたやうに戶をキッチリ締める街は暗くなるがこの凄い音に市內は愈々動搖し始める續いて聞える砲聲、銃聲……日支兩國の戰ひの火蓋は切られて早數日、もう大丈夫でせうもう大丈夫です……何處へ行つても口癖のやうな問答をしてホッとする樣子

×

奉天小西門內の市政公所では愈市政を布くため日支首腦者相集り協議をなして金融機關の復活、食糧品不足對策……等市政のお膳立ての準備は着々進められる、準備金のない兌換紙幣の價格維持にはカラクリ的な維持方法にたけてゐる流石支那側でさへ困り切つてゐたのに之を引受けてその價格を完全に維持せんとする……その方法たるや支那側以上六ケ敷しい、だがこの方法がつけば始めて從來うるさい程耳にした眞の金融維持が出來る譯なのである

×

城內の物價は殊に騰貴し平常の五倍乃至は十倍……それでも生きんがためには食はなければならぬ、さなくとも疲弊こんぱいしてゐる折柄さて省民の蒙る痛手は容易なものではない、一時戶を緊く締めてゐた城內の各店でも廿一日來ポツリ〳〵開業してゐるその多くは飲食店、雜貨店、理髮店の如きものである、無論貨幣の價格安定がつかぬので大規模な商取引が行はれるやうな道理はない、行商的な小賣りが始まつてゐるまでだ

×

大西門大街、小西門大街……城內等相變らず人通りが多い、商埠地にさへ絶對入れてはならぬと八ケ間敷い問題となつてゐた附屬地內のバスは、今は商埠地のみか城內を氣持よくつきぬけて小東邊門まで往復してゐる、飛行場、北大營までの見物人が絶え間ない、今度憲兵隊側の警備の助力の一として城內で働いてゐた四千名の巡警の中成績の良好なものをピックアップして千二百名を使用し道路の交通整理に當らしめたが廿一日始まつたばかりに廿二日は申し合せたやうにその姿を一人も見せない又同縣罷業かなあ……位に想像されたが實は瀋陽縣長が辭任したこと、背後にアレコレ云ふものがあつて一齊にやめたのだと云ふのであつたが間もなく暗雲ははれて一齊に動き出した

×

時局で支那側の學校は授業が出來ぬやむを得ないさすればそれまでゞあるがこの絶好シーズンに空しく失はれる貴重な時間はどれほどであらうかと心配してゐるものもある、中國人を敎育してゐる南滿中學堂では日支開戰來業を休み生徒を郷里に歸らし當分授業を見合せてゐる中等學校の生徒だけに之を解し何れも騷がず靜かに成り行きを見てゐる

廿二日十三時廿分突然關東軍司令部を訪れた美しい二人の女性があつた何れも驛前朝日軒のウエイトレスで節子に澄子の二人「これは輕少でお恥しい次第ですが國家のために働いて下さる兵隊さんに……」と大枚十圓を差出してしとやかに申出る、軍司令部でもその赤い溫い心を酌み喜んで受け入れる、僅か十圓ではあるがそれは朝日軒の九名の女給さんが少しづゝ貯へた尊いお金、そこにはほんとな心がこもつてゐる

×

奉天で噂の種となつてゐるのは北大營に東大營、北大營も燒き拂はれて學良氏の榮華も今は夢、東大營も兵舍こそあるが營庭に殘された多數の野砲、狼狽して逃走した形跡を如實に物語る兵舍內のチリ〳〵バラ〳〵の現狀……廿一日は眞夜中北大營に敵の大逆襲を受け我が軍は多大の損害を受けたと流言蜚語が飛ぶそれだけ北大營は忘れられぬ記憶の一となつて腦裏に刻み込まれてゐる

大洋票暴騰

【遼陽】奉天事變の突發と母國東京附近に於ける地震の影響で遼陽地方に於ける大洋票相場著るしく騰貴し廿三日は百三十四元を唱へたが午後百六十一二元に騰貴廿四日は更に騰して百六十七八元を唱へ居るも錢舖は現物の交換に應ぜず仲秋節後の相場は漸次下向を豫想されてゐる

新義州の警備

【安東】鴨綠江右岸一帶の警備に就ては平北警察部に於て特に警察官の增員を行ひ萬全を期して居るが今日までの所未だ表面的に事故の發生を見ざるも時局の推移に伴ひ對岸支那側では日本軍の侵入せんことを極度に惧れ種々の流言が盛に行はれ官民共に恟々として居る有樣で何時如何なる事件の突發せんやも計り知れざるを以て平北側江岸に於ける警備網は最も至嚴を期する必要があるので平北警察部長は二十二日附江岸第一線に立つ警察官一般に對し大要左の如き意味の訓示を發し督勵を加ふる處があつた

江岸警備に就ては最も秩序ある統制の下に一致協力し緊張事に膺り晝夜嚴重對岸の情勢を監視すると共にその推移如何に依りては躊躇することなく斷乎として（中略）臨機の處置を講じ以て鮮內の治安に些の微動だも及ぼさざる樣十全を期すべし

遼陽城內警備

【遼陽】楊縣長は廿三日午後部下各課長公安局各分局長を召集して旅館等に於て群をなし謠言をなす者は之を逮捕し縣政府に引致して軍法に照して處罰すべく尙各商店にして金融を亂し物價吊上げを嚴禁する旨を協議し即日より他の事項と共に實施した

▲來往軍人は人數の多寡に係らず一律に城內立入を禁ず
▲平康里及第一兩揚並に劇場は當分禁止す
▲各地茶莊等は營業を禁止す
▲旅館、客棧來往客人及現住客人は一律に投宿を禁す

貴院議員一行

【安東】貴族院議員視察團一行は大久保子爵を團長として廿四日午後七時五十五分安東驛着安義官民の出迎へを受け安東ホテルに投じ午後八時二十分よりホテル食堂における官民合同の茶話會に臨んだがその席上米澤領事より今回の日支衝突より今日までの顚末及び安東の事變勃發以來の狀況報告等あり終つて懇談をなし午後九時解散した

北大營攻擊の苦戰を語る▼

奉天獨立守備隊の奮戰

【奉天】北大營攻擊で第一線の中央部隊にあつて奮戰をなした奉天獨立守備隊第四中隊長高橋大尉は語る

吾が中隊は北大營西南端の第一歩兵舍の外部にある高粱畑より右側より敵の猛射を受けながら腰部の上まで達する深い溝もものかはかき渡り兵舍外にある第一土壁に辿り着いた、その際左側にありし第三中隊も野田中尉の率ゆる一小隊がその兵舍の南端に迂廻し正門に向つたのであるが全く暗中の飛躍でそれとも判らず野田中尉が行方不明となつたといふので一時は何れも心配の色に包まれてゐた、敵は兵舍内より機關銃と云はず、小銃といはずあらんかぎりの全力を注いで猛射を試みてゐるので土壁までは辿りついたもの丶一時は惡戰苦鬪に陷つた、上らんとすれば辷り、辷つては上り漸く土壁を乘り越えて兵舍の側にある壁まで來たが敵兵は壁を利用して更に猛烈に射擊を續け容易に内部に入ることを得ず玆に於て手榴彈を以て兵舍に次から次へと浴びせかけた處流石の敵兵もタヂ／＼となつて退いたので第三中隊は第三兵舍方面より吾が中隊は中央より第一中隊は南部より壁を飛び越えて内部に躍り込んだ、かくして第一、二、三兵舍なども完全に占領し東方營庭に出た暗中他中隊との聯絡には隨分苦しみ努力したが努力の割合には仲々その效果が少なかつたやうに思つた、吾が中隊は第一中隊と力を合せ正門から無電臺の方に進み北大營の旅團、聯隊本部を衝き一方第三中隊は同大營の西方より背後をつき之に迫り壯烈な射擊戰を行ひ遂に北大營を十九日朝三時完全に占領することが出來た、この激戰で支那側の多數死傷者を出した事は勿論吾が部下よりも戰死者二名、負傷者十二名を出したのである

占領地を見學

【營口】當地新聞記者は小栗中尉引率の下に目下占領中の練軍營に至り占領當時先頭第一に營内に突入したる勇敢なる古川中尉の占領當時の實地講話並に戰利品の見學及營内に收容中の捕虜二百餘名の營内生活狀態を視察した

四鄭間を管理

【四平街】我軍は去る二十一日午前二時逸早く四洮線占領を宣言しその武裝を解除せしめたる四平街滿兵分隊長林大尉は爾來四平街より鄭家屯に亘る同鐵道を完全に管理し警備に任じてゐる、在滿同邦は多年の積憤を晴らしたと涙を流して歡喜しつゝあり尙同鐵道從業員は滿鐵の人員を以て是に當る筈なるも一般の動搖を慮り從來通り四洮局從業員を以て勤務せしめ滿鐵の要人は目下四平街にて待機の姿勢である

在鮮支那人動搖

製材工場の從業員等 缺勤して作業は困難

【安東】新義州府内は事變發生以來極めて平穩狀態を維持し治安上何等の異狀を認めなかつたが昨今府内の製材工場に從業する支那人勞働者の間に漸く動搖を始め一昨日頃からそれが稍表面的に現はるゝに至り二十三日午前中の現狀では各工場を通じ支那人從業員の休業するもの二割乃至三割、甚だしきは五割に及んで工場作業の上に著るしき支障を來す事となつた、是等休業者の中には對岸は寧ろ危險につき芝罘方面へ引揚げんとするものもあり家族中これに肯ぜず躊躇まらんとするもの丶大部分は去就に迷つてゐるが兎も角も工場に出て働く事に甚だしき危惧を抱いて居る彼等の中には今回の事變を過般の鮮支人衝突事件と同一の如くに誤信し此際鮮内に居る事が支那地に趁るよりは却つて安全である事に想到しないものか大部分を占めてゐる模樣であるそれのみならず一面に於て流言を放ち彼ら支那人を陰に威嚇するものがあるのではないかと臆測さるゝ點もあるので當局は早くも内偵を進めてゐる、右につき新義州製材組合にては二十三日午前急遽役員會を開き之れが善後策として取敢ず警察當局の保護取締りを求むる事に決し横江組合長は正午田中署長を訪ひ懇請する所があつた、仍つて同署に於ては早速警戒班の編成替を行ひ工場地帶に之を配備して嚴重なる取締と保護に任じ支那人の動搖防止に努むる事となつたが結氷期を前に控へた製材界の繁忙期に臨んでゐる矢先とて當業者は成行を憂慮してゐる

支那兵の密偵

【鳳凰城】今朝未明當地支那街と附屬地との中間鳳凰川第二鳳凰橋附近に拳銃所持の支那兵密偵六名潛伏しゐるとの情報に接した我が警備隊大村中隊では本田軍曹以下十二名が直に武裝解除に向つたところ、既に支那街方面に潛入した後であつたので、尙引續き捜索中である。右の支那兵六名の後方には相當の部隊があり當地に接近して居るもの丶如くである

開原縣長逃亡す

住民に安全だと言ひ置き 何處ともなく姿を消す

【開原】遼寧省中猛烈な排日家佟王開原縣長は九月十九日午前八時王通譯を開原警察署に派し叩頭百拜して城内を武力攻擊せざらんことを哀願し同時に尹公安隊長の名を以て開原城内住民に對し

「我國民政府は適當措置を講じ短期間に交涉解決を告げ中日國交は舊狀に復すべきを以て謠言に迷はされず安居樂業せよ」

と通達し翌二十日何處ともなく姿を消したが廿三日は遂に管下住民を置去りにして遠く鐵嶺方面に向つたとの噂あり開原城内外在住華民は縣長が自己の安全を計るが爲め住民保護の責任を拋つて顧みざるを憤慨して居る現下の開原城内は怪縣長尹公安隊長とも所在不明であり附屬地周圍に在る約一千名の公安隊員も兎角名を馬賊討伐に藉りて移動せんとする傾向ありて城内住民は不安に驅られ一日も早く日本軍の來駐せんことを希望して居るといふ

開原

慰問袋作製

開原婦人會は同會主催で忠勇なる將士に慰問袋贈呈の計畫ありしところ今回開原全體にて募集することになつたことを聞き同會會員は九月廿四日午前九時より滿鐵倶樂部に集合し慰問袋を作製し應募の準備中尙同會は全市の募集に對し極力應援することにして居る、尙佛敎婦人團は大連布敎所の慫慂に依り慰問袋を募集しつゝありと何れも優しい心盡しである

司令官の謝電

開原邦人大會の決議要旨と死傷將士の慰問及び勤勞將士の慰問電に對し九月廿三日同司令官より左の謝電が到着した

貴電謝す一同士氣旺盛任務に邁進しあり　森守備隊司令官

講武學堂生

奉天城内講武學堂學生隊は九月十九日より二三十名宛開原縣柴河堡を通過し北山城子に向ひつゝあるが今日迄の數約百名に達せりとの噂がある

四平街

武運長久祈願

二十四日當四平街神社において國威宣揚祭を擧行し同時に目下出動兵士の武運長久と一般在滿邦人の安泰を祈禱せる由

本溪湖

西松氏慰靈祭

本溪湖旭町大連新聞支局長西松廣馬氏の長男秀(二三)は所澤陸軍飛行學校機關科主任教官として前途を囑望されたる有爲の靑年將校であつたが、去る九月四日高等飛行演習中不幸操縱に故障を生じて墜落重傷を負ひ、其後急遽上京せる父君の手厚き看護も及ばず遂に九月十日午後九時十分あたら惜むべき幾春秋を殘して他界した、危篤の報天聽に達するや陸軍航空兵少佐に昇進從六位勳六等に敍せられ遺骨は二十日市民有志多數の出迎へを受けて父君の手により當地へ到着、二十四日午前十時より小學校講堂に於て慰靈祭が擧行されたが、官民多數の參列あり一同この有爲なりし靑年將校の死を悼んだ

貴院議員一行

廿三日當地視察の筈なりし貴族院議員滿蒙視察團は豫定より遲れ廿五日午前十一時半本溪湖着の奉天行急行にて到着した

戰死者追悼會

曹洞宗太德寺にては二十四日午後一時より時局戰死者追悼法會を執行したが時節柄多數の參會者があつた

安東

軍警巡警慰勞

今度の事變に對し安東に於ける軍警軍必死の活動は實に目覺ましいものがあるが此の勞苦に酬ゆる爲め安東地方事務所では二十三日午後出動せる各團體に對し慰問品を送り其の勞を犒ふ處あつた

祭日の取引所

安東取引所は二十四日は秋季皇靈祭當日にて休例休業となつて居るが特に時局の影響を受け相場激動の折柄當日前場第一節だけ開市した

司令部移轉

安東守備司令部は廿四日[illegible]より驛前安東ホテルに移轉

遼陽

秋季皇靈祭

遼陽神社では二十四日午前九時から秋季皇靈祭を執行した

秋季招魂祭

遼陽忠魂碑の秋季招魂祭は二十四日午前十時半から碑前に於て嚴肅に執行され官民有志の參拜も多數であつた

營口

新聞記事說明

岩田大隊長は當地の新聞記者を大隊本部に召集し軍隊の行動に關する新聞記事に就き說明を與へ寺尾副官よりは右に關する詳細なる說明あり情報主任小栗中尉及岩本中尉も列席し說明した

大隊長視察

獨立守備隊第三大隊長岩田中佐は廿三日河北一帶における守備狀況視察のため寺尾副官ほか數名の將校と共に河北を視察即日歸營した

情報部を設置

大隊本部にては情報部を編成し小栗中尉主任となり高崎通譯生、縄内軍曹、田中軍曹、是永書記生、川島梅吉、高橋信次郎其他の諸氏それ／＼任命された

旅順

避難者到着

旅順在住者にして奧地方へ出稼中の者は既報の如く廿二日八名の方家屯居住者歸來を始めに廿三日は奉天工廠に稼いでゐた鶯城子居住の者四名、醫科大學學生三名が歸來した

傳染病發生

▲月見町五六　中村茂(三〇)二十二日赤痢疑似と診斷さる▲鮫島町一　有馬虎雄(四二)同上▲敦賀町三二　田中アサ(一四)同上

市中の噂

廿二日昭和園に開催された非常在滿邦人旅順大會は未だかつて見ない白熱的大盛況を呈し既報の縉士以外飛び入りとして更に「保障占領の意義」と題し奧村莊五郎氏「負債返還」と題し中國米吉氏が獅子吼する▲以て如何に市民の間には東北軍に對する蓄積したウップンが然であつたかを證するに餘りある▲岡野榮次郎氏の如きは遂に臨席警察官から注意を與へられると云ふ仕末だ竹中延太郎君が百二十餘度の血壓をも顧みず我が既得權益の貫徹を論じ降壇するや白面の一青年が起ち上つて「ヨイショ／＼」と四股を踏み出す光景▲控へ室はいづれも肩を怒らし意氣軒昂の有樣は市民大會の空氣と全然別物だそこへ本職ソッチノケで大連から聽聞に押かけたゴルフ服の吟松謡伯「奧地の大會と旅順大連の大會は熱度が違ふ……」と如何にも不滿そう當夜一靑年を拉致した警察の態度に市民は一齊に非難の聲をあげる監督官としての立場からは無理からぬとは云へ大會の性質から見て熱狂者の出る事も亦當然?……▲あれが奧地であつたらそれこそ群衆と警官の間に不祥事が突發したかも別らぬ▲當夜の大會がいづれも全支那に對する我が行動に非ずして一部東北軍に對する自衞的手段に他ならぬ事がハッキリと認識されてゐた

華興公司農場の避難者
馬賊に包圍され人質
身代金十萬元の交渉纏らず
坪井滿鐵社員殘る

二十二日通遼西方華興公司農場の（大倉組經營）邦人十三名避難途中にて虐殺說傳へられるも、その眞相は余糧堡西方十五支里の鄭山達に於て馬賊約百名に包圍され護衛の巡警八名と交戰し巡警撃退され邦人は全部人質となつた、賊は附近の部落に侵入した、この情報は邦人一行の携帶せる鳩便により華興公司農場の知るところとなり直に支那巡警と共に現場に急行し交渉したが、身代金十萬元を要求し交渉纏らずよつて邦人は滿鐵坪井清氏一名を人質に殘置し農場に引揚げた【鄭家屯電話】

滿鐵への情報

鄭家屯公所より滿鐵本社への入電によれば白音太來滿鐵農場員及び華興公司社員十名は廿二日滿鐵社員坪井戶崎兩氏に引率され通遼に向つたが途中余糧堡の西方二十支里の地點において約百名の馬賊に遭遇し人質として一旦拉致されたが坪井氏一名を殘して他は全部無事農場に歸還した

八面城も包圍さる

二十四日午後一時頃百二十名の馬賊八面城に來襲し市街を包圍して危險せまるとの急報ありこれが救援のため鄭家屯のわが軍隊出動する【四平街電話】

後方に敗殘兵六百

四洮線八面城に約六百名の馬賊襲來するとの報あり、わが軍では廿四日午後一時さりあへず二十名の守備兵を派し撃退せしめたが賊の後方には約六百名の敗殘兵がゐる【四平街電話】

漢口租界は
陸戰隊で警備中
日支人が入れ交はる

【漢口廿四日發】二十三日の滿洲事件追悼會以來市內各所で武裝支那軍隊の挑戰的排日行動行はれ人心惡化し租界內の支那人は日支交戰近しとの謠言に脅えて續々租界外に移轉すると共に租界外の邦人も續々入り込み租界境界線は陸戰隊で警備中である

副島博士避難

【上海廿三日發】國民政府顧問副島博士南陽丸で本日午前十一時當地着語る

南京城內は日本人を見つけ次第叩き殺せと叫び群衆が押寄せるので危險きはまりなく日沒を待つて漸く下關に逃れた人もあり私は國府からの引揚げ勸告があつたので引揚げた譯である國府も國家の面目を考へて邦人保護にあたつてゐるやうだ

日本記者團
引揚げ

【上海廿三日發】身邊の危機漸迫し日本記者團の南京滯在不可能となりたるため記者團は二十三日午前下關の日淸汽船ハルクに避難するに至つた滿鐵事件突發するや南京支那記者團は日本排斥を聲明し各官衙は我等が訪問するも材料なしと門前拂ひをすると共に身邊に密偵を附し記者より報道機關を奪ひ記者の任務遂行を不可能ならしめてゐる

杭州の排日
劍付鐵砲の
武裝で殺到

【上海廿三日發】居留民二十七名をつれ上海に引揚げた杭州領事米內山庸夫氏は語る

杭州の排日運動は殊に猛烈で劍付鐵砲で武裝した警官が學生の先に立ち領事館に殺到し物凄かつた杭州の近在には二十四名の邦人がゐるが其の安否が氣遣はれてゐる

香港の暴行
更に頻發
國旗燒棄さる

【香港特電二十四日發】廿三日邦人小學生數名放課後歸途支那人暴漢のために毆打又は胸を蹴られた事件あり又通行中の邦人婦女子が投石又は侮辱さる〻者續々、小學校が秋季皇靈祭で校門に掲げた國旗を何者にか燒棄され、邦字新聞「香港日報」は配達夫廿四日夕暴漢のため所持の新聞全部破棄された

全市休業し
市民大會
廿六日上海で

【上海特電二十三日發】二十二日開催された各界の大會に於て二十六日市民大會を行ひ全市休業の上排日氣勢を煽るべく計畫を進めてゐる

處分問題は
愼重協議
鄉委員長語る

【東京二十四日發】拒絕された支那水災見舞品の處分問題に就ては同協會で協議中なるも鄉委員長は慰問使から何等情報に接しないため何ともきめにくい、返電が遅れるのを見ると支那側との折衝の餘地があるのだらうと思ふ何うしても支那側で受取らなければ積荷の儘歸港せしむるの外ない天城丸歸着後の處分は各方面の義捐によるものだから會員總會を開き愼重協議する

奉天電燈廠の
委任經營は誤傳
高橋滿電常務歸連談

奉天電燈廠市政移管その他要務につき軍部と打合せのため赴奉中の滿電高橋常務は二十五日朝歸來したが語る

奉天電燈廠を滿電が委任經營すると新聞記事に間違へて傳へられた爲め奉天市政公所では支那側に氣兼し氣づかつてゐましたが、あれは滿電がやるのでなく軍部の命令で滿電より人を借し現在の市政管理の下に經營するのです、バス補給の件については目下必要ないと云ふので未だは東方から車臺は送らぬことに決しました、現在城內の治安は保たれてゐますが、支那側金融機關が未だ閉鎖したま〻なので經濟活動の圓滑を期するには今後相當の手段を要しませう

戰跡見物注意

南嶺及び寬城子戰跡を見物希望者は長春憲兵分隊の許可を受けなければ如何なる者も絕對に入れざることゝなつて居るから注意されたし【長春電話】

奉天城外の
暴民擊退
守備兵出動

奉天省城內の治安維持は漸くその緒に就いたが城外は殆ど無警察狀態であつて就中兵工廠職工の多數居住する大東門外は最も甚だしく暴民中に匪賊や逃亡兵が加はり晝夜の別なく掠奪が行はれてゐるが廿五日朝十時半約三百名の暴民の

陸上選手權大會
無期延期さる
派遣選手は推薦する

滿洲體育協會では來る十月四日午後一時より大連運動場に於て全日本陸上競技選手權及び明治神宮競技大會豫選會兼滿洲陸上競技選手權大會を開催する筈であつたが滿洲事件の勃發により關東州外奧地各方面に散在する選手の參加不可能となり全滿洲を包含する同大會所期の目的達成不可能となつたので同協會主事林田學氏は各役員と協議の結果同大會は無期延期となつた、因に神宮大會及び日本選手權大會には協會側で推薦の上派遣されることとなるであらう

長途の旅に疲れて
廿四日避難者來連
ハルビンから第一回の約百名
二輛增結し壽司詰

二十四日午後八時大連着列車はハルビンからの第一回避難民約百名や沿線各地から乘り込んだ避難家族達それに奉天を引揚げて來た支那人避難民等を滿載し二三等各一輛づつ增加したのになほ立錐の餘地もなき

滿員　であつた、大連驛プラットフォームはこれ等避難民の出迎ひ人がゴツタ返しその中に大連民政署は高張提灯を掲げて何くれと世話をしてゐた、方面委員までが應援して整理をすると云ふ騒ぎである、ハルビンからの避難者は長途の旅に何れも憔悴の色を見せてゐるのも氣の毒である、身の廻り一杯に積上げた荷物や四五人の子供にとりまかれて途方に暮てゐる婦人も多い、一婦人は語る

奉天の　事件については十八日の夜何事か起つてゐると云ふ噂が傳はりましたが、十九日の朝になつて日支軍の衝突があつたと云ふ知らせがあつたので皆非常に心配しました、それでも市中は大したこともありませんでしたし、邦人が迫害されたと云ふやうなこともありませんでしたので多少安心してゐましたが、二十一日にあの爆彈騒ぎがありましたので兎も角家族だけは引揚げやうと云ふことになつて私達は取るものも取り敢へず二十三日夜あちらを立つて來ました、途中別に

危險も　なく今朝長春につきました、奉天から朝鮮經由でお歸りになつた方も多うございました、あちらは今の處危險と云つてもまだ表面に現はれてゐるのではありませんので市中の方は大部分引揚げを見合せて居られますが何事か勃發するのだらうと云ふ噂が流布され事實一般の人がそう信じてゐるので子供のあるものは心配でとても住んで居られません

弔慰金を寄せ
可憐な義憤
小學生と女學生から

目下早川正雄氏によつて募集されつゝある井杉氏弔慰金に左の書面を添へて申込んだ可憐な小學生と女學生があつた

去る七月の終り參謀本部附の中村大尉と同件して、蒙古の邊りを視察して居た井杉さんが、中村大尉と一緒に支那兵の爲めに殺されました事は前から聞いて知つて居ました。井杉さんの一家はお父様が亡くなつて淋しい事だらうと存じます、新聞で見ますと、此の事を非常に軍部の方が怒つて居るやうです、何も罪もない二人を殺して何も知らぬ顏をしてゐる等とは、實にけしからないと僕も深く思ひました。こゝへ添へて置きました二圓は僕がお母さんからもらつたお小づかひですが、どうか井杉さんの一家に送りとゞけて下さい、井杉さんの一家の前途を祝福致します。

九月二十二日
大連嶺前尋常小學校
第六年生　天滿經昌

◇　◇

故中村大尉一行にお加はりになつて、支那官兵の爲め悲壯な最後をお遂げになつたと云ふ事を先生より承りまして、私達一同は御遺族樣方に大變御同情申上げます。

これは誠に少なうございますが御靈前におそなへ下さいませ。

大連神明高等女學校
二年梅組有志

錦州避難者
營口へ
豫定を變更

錦州在住、邦人四十名は北寧線で奉天に避難して來る豫定であつたが滿鐵子から營口に向つた模樣である【奉天電話】

一隊が省城近くに現れたのでわが守備兵一個中隊急行して之を擊退した【奉天電話】

本年流行の
最新型編み物は？

三越、英國屋技藝部外一流大家考案の「新型毛絲編物」極彩色寫眞六十九種入りの美本附錄つき「婦人倶樂部」十月號を御覽下さい。

地方委員選擧
延期を通達
その他はその儘適用

滿鐵沿線各地における地方委員選擧は時局のため延期すべく總裁の決裁を得たので各地に通達することゝなつた、選擧期日は未定であるが選擧權行使に必要なる條件即ち九月二十八日までに戶數割を完納したものに限ることはそのまゝ適用すると

煙草値上は
銀高から
暴利ではない

長春では銀の暴騰につれ煙草の値上げをなし時節柄非難の聲を浴せられてゐるが、これに對し久末輸入組合理事は語る

英國政府にて去る廿一日突然兌換停止を斷行したため銀の暴騰を來たしこれが影響を蒙るもの少からざるも就中英米トラストの發賣の煙草の如きはその賣價が銀建なるため華商側は何等の影響なきも邦商の如きはその仕入に銀を以てしこれを金建にて販賣するがため結果に於て値上げすることゝなり今回の如きも時局に際し斯る値上げを行ふは如何にも時局に藉口し暴利をむさぼる如く見られる恐れあり、營業者としては甚だ心外に思はれるものである【長春電話】

交流島一帶
空氣惡化
極力監視中

目下燈臺建設工事中の貔子窩北西方復縣に隣接せる西中島双頂山へ材料其他を積載し二十四日金州丸にて歸旅せる金行旅順海務支局長の語る處によると

交流島を中心とせる該地方一帶は從來貔子窩との交通二日に一度發動機船又は傳書鳩によつて行はれつゝあるが、今回の時局を知つて以來支那人一同の對日感情一變し著しく扱ひ惡く遂日反抗的態度をもつに至り駐在の我が警察官は極力これが監視に努めてゐる

因に同地方は大日本鹽業會社經營の大鹽田地で同會社員約二十餘名駐在し一二名の家族もゐるが目下の處何等の異狀を認めないと

避難旅客は
二割引
大連旅館組合

大連旅館組合は二十四日午後三時から遼東ホテルで臨時總會を開催し目下の時局に鑑み奧地よりの避難旅客及び一般旅客に對して從來の規定より宿泊料二割引の申合せ從事のものは室料二割引を申合せ從事員にも其の主旨を申渡し尙避難旅客に對しては親切第一主義で奉仕じ我が同胞の不慮の災厄を慰め帝國臣民として奉公の一端を示すと

慰問袋の
街頭募集
昨夜も活動

滿日婦人團員の街頭に於ける慰問袋募集の第二夜は二十四日午後七時より二十數名の熱心な團員によつて前夜の通り浪速町、連鎖街、常盤橋方面に目ざましい活躍振を示した、商店街の人通りは前夜の半ばにも及ばなかつたにかゝはらず、團員の熱心と努力とは遂に第一夜にまさる成績を示して慰問袋約七百を配布し金員四十餘圓の寄附を獲て午後十時近く一同本社に引上げた、團中に婦人が加はつて熱心に募集に當つた事は特に行人の注目と感激を誘つたやうであつた

早慶漕艇戰

【東京廿四日發】本年度大學專門學校エイトオワシエル選手權ボートレースは慶大對早大の間に本日午後四時半擧行六艇身の差で早大

六大學リーグ
二A對一で
帝大快勝
對法政決勝戰

【東京二十四日發】法政帝大決勝戰は二十四日午後二時法政先攻で開始今秋リーグ戰で始めて補回戰を演じ結局二A對一で帝大優勝四時五十三分閉戰

バッテリー　法政　若林、倉　帝大＝高橋、片桐

（先攻）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
法政	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
帝大	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2A

の勝ちとなり秩父宮盃を獲得した、斯くて早大はオリムピック出場選手第一候補となつた譯である

常盤橋で籠拔

廿四日午前四時ごろ市內薩摩町附近を風呂敷包みをかゝへて徘徊中の同派出所詰池巡査が發見引致取調べた結果この男は目下住所不定の岸健藏（三七）と言ひ廿三日午前十時頃小崗子露天市場古衣商復興永方より高田織外數點（價格四十五圓）の衣類を自宅にて妻と相談した上代金を支拂ふからと店員を同伴西公園町に赴く途中常盤橋瓦斯會社前にて店員をまいて籠拔け逃走しかれて搜査中の者であつたことが判明した、なほ岸は今月上旬旅順刑務所を出所したばかりの前科七犯を有する者であると

拐帶店員取押

原籍青森縣北津輕郡五所川原當時東京市本所區菊川町一丁目材木商久保三郎方店員佐々木憲四郎（二）は主家の集金六百圓を拐帶して原籍栃木縣那須郡三野村當時東京市本所區柳原三丁目高耕材木商店員藤田崎（二五）を伴ひ廿五日入港のばいかる丸にて逃亡して來たのを水上署員に差押へられたが藤田は水上署員の取調に對して橫領事件には關係ないと稱してゐる目下照會中

埠頭荷役全休

二十六日は仲秋節で埠頭荷役作業は全休である

安樂椅子

滿鐵の杉本祕書役、近々に各方面から集つてくる總裁宛の機密電報、情報等の翻譯や發信で時局以來大抵每晩十二時頃までゐるのころといふ事務繁忙さで「お疲れだらう」といふと

……◇……

ナアに君、外務省などゝ比較したら滿鐵なんか呑氣なもんさ、人手にうんと餘裕があるんだからね、今は何うなつてゐるか知らぬが日露戰役當時の外務省の仕事なんて忙しかつたものサ、六七ヘで机上に山と積まれた世界各國から集まる情報、指令の電報を取扱つたもので徹夜なんか二年間程問題でなかつたよ。

……◇……

重要な情報は一々大臣が陛下に上奏するので叮嚀に毛筆で淨書して差出したものだ、そして機密文書等は今日のやうにタイピストに打たせたりしないで一々おれ達が書いたのだがそれに較べると滿鐵なんか機關も人手も揃つて居り有難いものさ。

無事だつた〳〵！

廿四日夜大連驛着の哈市避難者

曙の鐘（60）

倉田潮　河野想多畫

浅草の夜（七）

淺駒と春木とは本當に事務員風の女を一人づゝ與へられて、小部屋に引きあげた。春木の女はまだ子供みたいなよし子といふデパアトに出てゐる女だつた。そのデパアトは上野や本郷邊では可成り有名な大きい店で、女店員も三百人から使つてゐるところだつた。

「私、五十番てのよ。胸に五十番て番號をつけてるから店ではさう呼ぶのよ。今度店へ電話をかけて五十番て呼んで下されば何處へでも行くわ」

とよし子は語つた。春木は冗談のやうに訊いて見た。

「何うして君は晝務めをしてゐるのに、夜までこんなことをして働かうつて氣持になつたんだね」

「面白い上に御金がされるからよ」

「そんなに御金をとつて何うするんだい」

「使ふのよ」

「何と？ 御母さんとでもやるのかい」

「ママは國にゐるのよ。私一人で東京に逃げて了つたんだから、家なんか何んな風になつてるか知らないのよ。だから私、家になぞ金をやりはしないわ。自分一人で自分の若さの爲めに使ふのよ」

「若さの爲に金をつかふ――そんなことつまんないぢやないか」

「でも、愉快にいろ〳〵な男の人と其の日其の日の戀をして、御金を取つて歸るんでせう。つまり若さの爲めの不勞利得みたいなものぢあないの。だから私、それを自分の若さの爲にバラまいてやるのよ」

「ぢや、こんなとこへ來ることを少しもいやだとは思はないんだね」

「いやだなんて思ふもんですか。古いわれ、おぢさん。私、これでも産兒制限後の新しい女性だわよ。古い女はにんしんすることで、卑屈なしつこみ思案な人間になつて了つたんぢやないの。だが、何うりながらこの私は、貞操なんてものゝいらない時代に生れついた女なのよ。小蝶のやうに樂しくいろ〳〵の戀をして、小蝶のやうに悔ひもなく死んで行きたい――これが私の考へなのよ。どう、おぢさん、その氣持が解つて」

春木は返事も出來なかつた。私達は誇張して云つてゐるのだらうと思つてゐたのに、だん〳〵話してゐると誇張ではなく地金であるらしいことが解つて來た。この女はたえ子とは反對な女であり、あけみとも大變違つた處があつた。或は新しい日本の地から生れて來た最も新しい女ではないかと春木は考へるのだつた。このよし子から見ればたえ子やあけみなぞは笑ふにたへた人間であるかもしれなかつた。しかし、春木から云はせれば彼自身が舊式な人間である爲かもしれないが、貞操の片影をも止めないこのよし子を愛する氣持にはなれなかつた。

翌朝早くその女達は忙しげに家に歸つて行つた。春木と淺駒とはその家を出てからしらけた氣持を醉ひにまぎらさうと、店を開いてゐるバアや小料理を見ついて歩いたが、朝が非常に早いので起きてゐる家は一軒もなかつた。で、吉原歸りの客を相手の丸ぢよう屋に行つて、そこで朝酒をのみ初めた。鐘に詰つてゐるたまらないやうな氣分が醉ひに洗はれて消えて行くのがよい心持だつた。二人は盃を重ねた。

醉ひが廻つて來ると、春木は自不足の爲か妙に狂つたやうな氣持がして來た。昨夜淺駒があんな話をして最後に剛太郎のもとへ訪ねて行くと云つたが、その結果淺駒が剛太郎を殺して了ひはしないかとも彼は思つた。が、すぐ其の心配しすぎを彼は恥じて消して了つた。と、今度は淺駒でなく自分が大山邸を訪れて行つて、心ゆくまで怒りを漏らして來たい、己こそ最もそれを云ふ可き位置にある人間だと思はれて來るのだつた。

あけみ　たえ子　春木　五十番の女　SOW

滿日俳壇

蟷螂

大連　吉元　汀雨

蟷螂の狩りつめたる芒かな
蟷螂に草刈鎌の光りけり
蟷螂や拔き倒されし箒草
蟷螂の道乘ぎたる子供かな
蟷螂のはれ飛ばされしゴルフかな
蟷螂の脚折られしが哀れなり
蟷螂や草ぬき庭の朝じめり
蟷螂の卷き込まれたり草刈器

大連　阿部　天潮

蟷螂の生れてありし草の上
蟷螂を見失ひたる草の中
蟷螂の風に煽りて飛びにけり
蟷螂の水に落ちたる風かな
蟷螂や若草山の上り道
蟷螂の飛び戻りたる草穗かな
蟷螂や草の中なる鐵ベンチ

大連　高木　春隆

蟷螂や絶えてはつゞく野の徑
戰跡の徑細々と蟷螂かな
蟷螂の狩りてゐたり道しるべ
蟷螂の草に逃げ入る野路かな
蜈蚣飛ぶ野に蟷螂もゐたりけり
風に搖る蔓草に渡る蟷螂かな

奉天　田中　扇浦

蟷螂にざろゝ小犬や朝の庭
若竹の葉先たわめていぼむしり
朝露の糸瓜の蔓やいぼむしり
落ちんとす桐の一葉のいぼむしり
刈草の上に蟷螂一つかな

大連　北斗

利鎌立て黍の葉上る蟷螂かな
秋風に蟷螂の腹重たけれ
蟷螂のしばし憩ふや石祠
蟷螂の鎌磨ぎすます草の露

大連　莧　鳴鹿

糸瓜棚蟷螂に風のありにけり
蟷螂の構へて見たる小蜂かな
草深し蟷螂はたと鎌の柄に
犬蓼の葉込みに入れり子蟷螂

大連　宇都宮　風翠

蟷螂のとりすがりたる露の草
ひつかつぐ刈草に這ふ蟷螂かな
蟷螂や草のそよぎのまゝにあり

旅順　村上　青春

蟷螂のとまる葉裏や秋の風
蟷螂のとまる垂穗や秋の風

奉天　園部　紅花

蟷螂の黄ばみし萩に露光る

滿日俳壇募集規定

次回課題「秋の雲」「栗飯」「大豆」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切十月五日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投稿先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

新刊紹介

▲上海週報（八百七十六號）價二十錢、上海北四川路永安里一〇八六號上海週報社
▲無線電話（九月號）價五十錢、東京市日本橋區通一丁目一日本無線電話普及會
▲週間極東（第二一五號）價二十錢 大連市但馬町三十三番地極東週報社
▲滿洲評論（第三號）南京政權の行路難（植民）資本輸出の考察（林右近）中國に臨む我等の指針（吉志英夫）誰が中村大尉を殺した（小山貞知）價十錢、大連市山縣通大倉ビル滿洲評論社
▲支那（秋季特輯號）價四十錢、東京市芝區南佐久間町一番地東亞同文會調査編纂部
▲農業の滿洲（九月號）價三十五錢 大連市紀伊町八十五滿洲農事協會
▲棋道（九月號）價五十錢、東京市麹町區永田町二丁目一番地日本棋院
▲聯珠の友（九月號）東京市外□□里町金杉七七二聯珠の友社
▲ナップ（九月號）藝術的方法についての感想（谷本清）プロットの新らしい任務と新しい組織方針（村山知義）創作、旱魃（宮本顯治）綿（須井一）解氷（ゴルブノフ作、湯淺芳子譯）價三十五錢、東京市外落合町其社發行
▲赤色建設（創作號）ミュンツェンベルグ編輯、五ケ年計畫は成功するか？（ミュンツェンベルグ）モスコウの大逆事件の裁判（ロイド、ジョージ）價二十錢、東京市神田區西今川町五番地南蠻書房
▲中央佛教（九月號）價三十五錢、東京市牛込區來町五十七番地中央佛教社

けふの放送

大連　JQAK

九月二十六日午後六時五十分
▲ニユース
▲獨逸語講座「テキスト第二十一課」大連語學 講師萩榮
▲レコード「胡桃割り」組曲（チヤイコウスキー作）
▲講談「義士の勢揃」（東京）桃川燕林
▲筑前琵琶「橘中佐」法日山田中旭師
▲ラヂオ體操
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲臨時ニユース

東京　JOAK

九月二十六日午後六時三十分
▲講演「中村大尉及井杉曹長を憶ふ」參謀本部第一部長建川美次
▲放送舞臺劇「二人袴」（日比谷公會堂より）場景「住吉左衛門宅の場」高砂伊兵衛（松本幸□郎）住吉左衛門（坂東三津五郎）悴馬之助（中村福助）妻老松（□□□郎）家來鈍太郎（同藤之助）娘雛菊（中村小太郎）義太夫（豐竹嶽太夫外）常磐津（常磐津文字太夫外）清元（清元梅吉外）長唄（吉村伊十郎、杵屋榮蔵外）地唄（美間まさ外）鳴物（望月太左衛門外）
▲室内樂「チエロとピアノ二重奏」（一）ソナタト短調第二（ベートーヴエン作）（二）ユダス、マッカバイウスを主題とせる變奏曲（ベートーヴエン作）チエロ（ハインリッヒ・ウエルクマイステル）ピアノ（レオシロタ）

▲婦女界十月號　「女性の生活打明話號」は、斷然他誌をリードする賑やかな編輯である。先づ第一に驚かされるのは、第一附錄「秋の御買物案内」第二附錄「婦女界ノート」卷末大附錄「病氣の回復を早める病人料理」と附錄三つも添えたことである。そのいづれもが、婦人の實生活にスグ役立つもの揃ひであることも、流石は實質本位の婦女界である。殊に卷末附錄の「特輯病人料理」は一流權威十五博士外專門家が、場合によつては、藥よりも食餌療法が緊急必要なことを力説し、献身實例を示したもので、病者の有無に拘はらず一般家庭でぜひ一讀すべき名附錄である。

本文特輯「生活線に踊る彼女達」には、女優、ダンサー、マネキン女給等々、凡そ現代を語る男女性の知られざる生活表裏を大膽に發表し、新職業女性十三人の生活表裏を大膽に發表し、近代人の感覺と興味さを巧みに捉へてゐる、先頃問題となつた昭和天一坊事件を、戯曲「松平博士」として、呼物とした。作者は探物上手の竹田敏彦氏で、彼のインチキ博士ぶりが如實に描き出されてゐる。探偵作家の第一人者甲賀三郎氏が、本號から「山莊の殺人事件」を連載した。今まで本當の意味での婦人向き探偵小説がなかつた。これはその最初のものである。ぜひ一讀したい作品である。この外「姉弟愛に甚きる英百合子さん中野英治」「世界的歌姫宮川美子孃」等の興味讀物「生活の危機に立つた私」「生命拾ひをした話」等婦人の實生活に役立つ實話、手藝料理記事等はち切れる程滿載してゐる（特價六十錢、送料四錢、東京婦女界社發行）